

第五十九回帝國議會
衆議院

地租法案外六件委員會會議錄(速記)第十六回

會議

昭和六年二月二十一日(土曜日)午後一時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 本田 恒之君

理事 西脇 晉君

理事 永田善三郎君

理事 中村 繼男君

理事 高橋熊次郎君

理事 清水 銀藏君

清水 長郷君

松井文太郎君

本多眞喜雄君

楠木 忠正君

一柳仲次郎君

内田 信也君

武田德三郎君

東郷 實君

岡田 忠彦君

松谷與二郎君

同日委員八田宗吉君辭任ニ付其ノ補闕
トシテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セ
リ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 井上準之助君

海軍大臣 男爵安保 清種君

出席政府委員左ノ如シ

內務省地方局長 次田大三郎君

內務書記官 岡田 周造君

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏省主稅局長 青木 得三君

大藏省銀行局長 大久保偵次君

大藏書記官 川越 丈雄君

大藏書記官 野津高次郎君

專賣局部長 佐々木謙一郎君

海軍主計中將 加藤 亮一君

海軍少將 堀 悌吉君

海軍主計大佐 佐々木重藏君

農林省蠶絲局長 小平 權一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地租法案(政府提出)

營業收益稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)

都市計畫法中改正法律案(政府提出)

○本田委員長 是ヨリ開會致シマス

○松谷委員 大藏大臣ニ御尋スルノデ

アリマスガ、私共ハ無產黨トシテ、全

無產大衆ヲ代表致シマシテ、其立場カ

ラ御質問申上ゲルノデアリマシテ、今

マデノ政友會、民政黨ノ方々ノ御質問

トハ大分立場ガ違ッテ居リマスカラ、十

分此立場ヲ御理解下サイマシテ、何卒

懇切明快ナル御答辯ガ願ヒタイト云フ

コトヲ豫メ申上ゲテ置キマス、先ヅ第

一ニ御質問申上ゲタイノハ、是ハ屢、本

會議、豫算會議等デ御説明ニナッタノデ

ゴザイマスアレドモ、次ニ御質問申上

ゲル前提トナル次第デアリマスカラ、

付託議案

地租法案(政府提出)

營業收益稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)

都市計畫法中改正法律案(政府提出)

耕地整理法中改正法律案(政府提出)

此點ヲ併セテ御答辯ガ願ヒタイ、ソレ

ハ政府ハ倫敦會議ノ結果餘シ得タル所

ノ軍縮剩餘金ハ、主トシテ國民ノ負擔

ノ輕減ニ充テルト云フコトヲ、濱口總

理大臣、井上大藏大臣、ソレカラ海軍

大臣等ニ於テ再三聲明セラレテアリマ

ス、所ガ其軍縮剩餘金ト云フモノハ、

五億八百萬圓ノ中三億七千四百萬圓ト

云フ殆ド大部分ヲ海軍ノ補充計畫ニ廻

サレテ、サウシテ僅ニ一億三千四百萬

圓シカ減稅ニ振當テラレテ居ラヌノデ

アリマス、是ハ明ニ曩ノ聲明ヲ裏切ラ

レテ、國民ヲ欺瞞シタモノト言フ外ナ

イノデアリマスガ、此點ニ關シテ大藏

大臣ハ前ノ聲明ヲ裏切ッタモノデナイ

ト云フ御考デアルカ、其點ヲ一ツ御答

辯ガ願ヒタイノデアリマス

○井上國務大臣 主トシテ減稅ニ用ヒ

マス、是ハ私自分ノ頭デ非常ニ事務ナ

事務的デアルダケ若シアナタガ御

批評下サツタラ、或ハ非常ナ曲解ダト云

フヤウナ御批評ガアルカモ知レマセヌ

ガ、何モ主トシテト云フコトニ、エラ

イ重キヲ置イタ意味デモナカッタノデ
ス、吾々ノ主トシテト云フ言葉ノ出テ
來マシタノハ斯ウ云フ事ニナツテ居リ
マス、第一五億八百萬圓ト云フ留保財
源ハ、アレハ艦艇ノ補充費ニ取ツテアル
ノデ、他ノモノニハ何モアノ使途ハ充
當シテナイノデアリマス、サウ大體御
承知下サイマス、五億八百萬圓ノ中
カラ艦艇製造費ト云フモノヲ差引クコ
トハ、是ハ當然ノ義ダト斯ウ云フコト
ニナリマス、ソレナラバ今度ノ補充計
畫デドウナルカト云フト、艦艇費ハ二
億七千四百萬圓ニナツテ居リマス、サウ
シテソレヲ差引イタモノガ今度ドウナ
ルカト云ヘバ、主ニ減稅ニ充當サレテ
居リマシテ、後ノ五億八百萬圓ノ留保
財源ニ豫想シテ居ナイモノ、即チ吾々
ガアノ豫算ヲ取リマシタ時ニ何等ノ考
モシテ居ナイ、例ヘバ航空隊ノ増設、
増勢、或ハ内容ノ充實ト云フヤウナコ
トハ、大體御承知デゴザイマセウガ、
途中カラ段々海軍ト協定シテ這入ッテ
來タモノデアアル、斯ウ云フコトニ御覽
下サイマス、主トシテト云フ字ガサ
ウ世ノ中ヲ欺クト云フ意味ニモ取レヌ
ノデアリマス、サウ御承知ヲ願ヒマス、
隨テ私ガ繰返シテ申シマス、五億八
百萬圓ハ何ノ費用ノ爲ニ取ツテアッタカ
ト云フト、艦艇製造費、斯ウ云フコト
ニナツテ居ルノデアリマスカラ、其處ダ

ケハ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス
○松谷委員 甚ダ胡麻化シ的ノヤウニ
シカ聞エヌノデアリマス、艦艇費トシ
テ二億幾萬圓ヲ使フナラバ、ソレハ軍
縮剩餘金ノ中ニハイラスノデアリマシ
タカ、當然五億八百萬圓ノ中カラ艦艇
費ヲ除イテ——二億幾萬圓ト云フ艦艇
費ガ當然取ラレルト云フナラバ、二億
幾萬圓ト云フモノヲ主トシテ、ト云フ
御説明デアアルナラバ分ツテ居リマスガ、
五億八百萬圓ト云フモノハ最初カラ聲
明サレテ居ルノデアリマス、然ルニ拘
ラズ、今艦艇費二億幾萬圓ヲ當然差引
イテ、其残りヲ主トシテ減稅ニ充テル
ト云フヤウニ承ツテ居リマスガ、ソレナ
ラバ艦艇費ヲ差引イテ之ヲ國民ノ負擔
輕減ニ充テルト何故初メカラ聲明セラ
レナカッタカ
○井上國務大臣 内輪ノ話ヲ申上ゲマ
スト、海軍ト大藏省ノ間デハ、艦艇費
ガ幾ラ、航空隊ノ増設ノ費用ガ幾ラ、
斯ウ云フ風ニ小分ケガシテアリマス
ガ、財政狀態ガ許サヌ爲ニ、必要已ム
ヲ得ザル艦艇費ニ對スル留保財源ダケ
ヲ藏ツテ居ッタ、サウシテ倫敦軍縮會議
ニ依ツテ其艦艇ノ噸數ガ御承知ノ如ク
減ツテ居ル、サウ云フ狀態ノ下ニ五億八
百萬圓ガ茲ニ藏ツテアッタ、ソレナラバ
豫期サレタ艦艇費ガ幾ラカト申シマス
ト、其モノモ減ツテ居ル、ソレヲ二億七

千四百萬圓ト取ツテ、其残りガ、航空隊
——所謂留保財源ニ豫期サレテ居ナイ
モノニ——減稅ト豫期サレテ居ナイモ
ノニ振充テラレタノデアリマス、隨テ
留保財源ガドウ云フ性質ノモノデアッ
タカト云フコトヲ、アナタノ仰シヤル
ヤウニ細カク、茲ニ話スヤウニ申シタ
ナラバ、宜シカッタノデアリマスガ、私
ノ申シタノハ唯留保財源ト言ッタ言葉
デアリマス
○松谷委員 甚ダ是ハ胡麻化シ的ノ言
葉デアリマシテ、留保財源五億八百萬
圓ハ、再三再四、私共ハ耳ニ舐舐ノ出
來ル程聞イテ居リマス、所ガ艦艇費ガ
軍縮剩餘金ノ中ニハイラナイノデアアル
ト云フナラバ、初メカラ二億何萬圓ヲ
減稅スルト仰シヤツテ置ケバ宜シイ、詰
リ軍縮剩餘金ノ中ニ之モハイツテ居ル、
併ナガラ海軍カラ要求ガアッタカラ、ソ
レハ減稅ニ充テルコトガ出來ナカッタ、
斯ウ云フ後ノ事情ニ因ルナラバ、ソレ
モ承ツテ置イテ、政府ノ苦衷ヲ御察シス
ル、然ルニ初メカラ五億八百萬圓アル
ガ、併ナガラ艦艇費ハ引クベキモノデ
ハナカッタト云フコトハ、欺瞞のデアアル
ト思ヒマス、其點ヲハッキリ、艦艇費二
億何千萬圓モ減稅スル積リデアッタガ、
併ナガラ海軍カラ要求ガアッテ已ムヲ
得ズソレヲ減稅ニ充テルコトガ出來ナ
カッタ御答辯下サルナラバ、極メテ明

快デアラウト存ジマス
○井上國務大臣 事實ハ私ガ説明シテ
居ル通りデ、批評ハアナタノ御勝手デ
アリマスガ、五億八百萬圓ト云フモノ
ハ艦艇ニ限ツタ留保財源デアリマシタ
ノデアリマス、ソレデアアルカラ其中ニ
二億七千四百萬圓ト云フ艦艇ニ關係ス
ル費用ハ當然取ラレル金デアリマス、
二億七千四百萬圓ト云フ艦艇製造ニ關
スルモノハ當然取ラレル、若シ軍縮ガ
ナカリセバ尙ホソレ以上ニ此中カラ取
ラレルノデアリマス、主力艦ノ代換建
造ガアレバ、五億八百萬圓デモ或ハ足
リル足ラスト云フコトハ別デアリマス
ガ、餘程餘計取ラレル、所ガ主力艦ノ
代換建造ガナクナリ、補助艦モ減タト
云フコトニナリマシタカラ、事務的ニ
云ヘバ五億八百萬圓ノ中カラ二億七千
四百萬圓ハ當然引カレル、サウ考ヘマ
スト、後ノ殘ガ二億三千萬圓許リニナ
リマスガ、ソレダケノ金ヲ減稅ニ出來
ルダケ餘計ヤラウ、斯ウ云フコトデヤ
タノデアリマス、御批評ハ兎モ角、事
實ハ其通りデアリマスカラ……
○松谷委員 私ハ此問題ハ後ニ重大性
ヲ持ツテ居リマスカラ成ベクスンナリ
行キタイト考ヘテ居ッタノデアリマス、
ソレデアリマスカラ私ハ少シモ批評ガ
マシイコトヲ申上ゲテ居ルノデアアリ
マセス、ソレデ現ニ政府ハ軍縮剩餘金

○井上國務大臣　只今申上ゲタヤウナ
結論トシテ、左様ニ御取リ下サツテ少シ
モ差支ゴザイマセヌ

○松谷委員　ソレデハ私共ハ然ラバ政
府ハ再三軍縮剩餘金ハ五億八百萬圓ト
聲明セラレタノガ間違デアツテ、實ハ二
億三千萬圓シカ軍縮剩餘金ガナカッタ

トハ、只今ノ御答辯ト大分違フノデ
アリマスガ、是ハ争ノナイ世間公知
ノ事實デアルノデアリマス、サウスル
ト初カラ倫敦會議ニ臨マル、ニ當リ
マシテ、初メカラ軍縮金ト云フモノハ
二億三千萬圓シカナカタト云フコト
ハ、初メカラノ軍縮會議ニ臨マル、時
カラノ話デアッタカドウカト云フコト
ヲ一應御聽シテ置キマス

○井上國務大臣 何レニ重キヲ置イタカト云フコトハ申シ兼ネマスガ、只今申シマシタヤウニ二億三千何百萬圓ノ中ヲ、或ハ航空隊トカ、所謂國防ニ缺陷ナカラシムル意味ニ於テ、一方ニハ國民ノ負擔輕減ヲスル意味ニ於テ使フト云フ風ニ能ク按配シタ、斯ウ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、ドチラニ重キヲ置イタト云フヤウナ御答ヲ申上ゲルコトデハナイノデアリマス

○松谷委員 頻リニ政府ハ二億何千萬

テ、サウ云フ人達ニ毎日接近ヲシテ居ル、三河島へ行ッテ御覽ナサイ、僅カ三疊ノ間ニ二夫婦九人ノ家族ガ住ンデ居ルト云フヤウナ状態デアリマス、尾久、日暮里、龜戸、其他砂町トカ大島邊ニ行ッテ御覽ナサイ、實ニ其日ノ生活ニモ皆困ッテ居ル、殆ド食フヤ食ハズノ有様デアル、政府デハ失業者ノ數ハ三十五萬ト發表セラレタガ、是ハ成程統計ノ上カラハサウカモ知レ、マセヌ、私ガ一例ヲ舉ゲルナラ、其數ノ間違ッテ居ルコ

トハ極メテ明瞭デアル、或ル三河島ノ大工ノ家ニ行ッテ、オ前ノ所ニ失業者ガ何人アルカト言ッタ所ガ、失業者ガ三人アリマス、現ニ私ノ如キハ昨年ノ八月カラ今日マデニ五日シカ仕事ニ出ナイ状態デアル、斯ウ言ッタ所ガ、ソレデハオ前ハ失業者デナイデハナイカ、大工ト云フ職ガアッテ、五日デモ仕事ニ出レバ失業者デハナイデヤナイカト言ッテ、失業者ノ中ニ加ヘラレテ居リマセヌ、又是ハ工場デ職首サレタ職工ガ、空俵屋ニナッテ居ル、所ガ其賣上代金ヲ差引クト、殆ド何モ儲ガナクナル、酷イ日ニハ損ヲスル、損ヲスルカラ遂ニ出ナイ、ソレモ失業者ト届出タ、所ガ調査員ハ、オ前ハ空俵屋ト云フ商賣ヲヤッテ居ルカラソレハ失業者デナイ、斯ウ云フ風ニ、政府ノ言フ儘ニ調べタノガ三十五萬デアル、若シ斯ウ云フノヲ加ヘルナラバ、恐ラク私共ノ調査ノ如ク百五十萬ト云フ失業者ガアルコトハ極メテ明瞭デアルト私ハ考ヘル、斯ウ云フ饑エタ者ノ澤山居ル時ニ、セメテ五億八百萬圓ト云フモノハ之ヲ減税ニ振向ケラレテ、民力ノ涵養ニ努メラレルノガ爲政家トシテ爲スベキコトデハナカラウカ、然ルニ海軍ノ恫喝ニ遭ッテ、加藤軍令部長ノ同意ヲ得タトカ得ナイトカ、遂ニ辭表ヲ叩キ附ケラレタ結果、軍事參議會ノ開催トナリ、政府ハ一札ヲ入レテ、是ダケ海軍ノ費用ニ充テルカラ是デ我慢ヲシテ呉レト云ッタコトハモウ世間周知ノ事實デハナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、大藏大臣ハ何故ニ其時ニ一身ヲ賭シテ、國民ノ爲ニウント突張ラナカッタカ、飢エタル者ヲ救フ考ヲ何故起サレナカッタカ、一度三河島ニ行ッテ御覽ナサイト心カラ申上ゲテ置キマス、此點ニ關スル大藏大臣ノ御所見ヲ御同致シマス

○井上國務大臣 國民ノ負擔輕減ノ必要ナルコトハ今更申上ゲルマデモナイノデアリマシテ、軍縮會議ガ倫敦ニ開カレタ其一ツノ目的ハ、國民ノ負擔輕減ニアルノデアリマス、併ナガラ國防ニ缺陷ガアリナガラ、之ヲ顧ミナイコトハ、其國ノ生存上如何デアリマセウカ、國防ニ缺陷ガアリナガラ、他ノ仕事ヲヤラウト云フコトハ吾々ニハ御同意ノ出來ナイ所デアリマス、隨ッテ軍縮ヲスルコトガ國民ノ負擔輕減デアルト云フ、其精神ニ於テハ更ニ異存ガアリマセヌ、又其方針デ行ッタノデアリマス、併ナガラ軍縮ニ依ル最小限度ノ軍備ノ維持モスル必要ガナイ、全部ノ金ヲ國民負擔ニ充テヨ、斯ウ云フ御意見デアリマスナラバ、ソレハ松谷君ノ御意見デアッテ、日本國トシテハ國防ノ缺陷ヲ見ナガラ全部負擔輕減ニ充テルコトハ出來ナイノデアリマス、若シアナ

タガ五億八百萬圓全部海軍ニ使フ必要ノナイ金デアルト云フナラバ、私ガ先刻カラ度々説明致シマス如ク、五億八百萬圓全部ガ剩餘金デハナイ、其中ニハ海軍ニ必要ナルモノガアッテ、ソレニ使ッタ後ノモノガ即チ剩ル金デアリマス、斯ウ云フ風ニ御承知下サルナラバ能ク御理解下サルコト、思ヒマス

○松谷委員 甚ダ答辯ガ不誠意ダト私ハ衷心思ヒマス、國防々々ト仰シヤイマスケレドモ、幾ラ立派ナ鎧兜ヲ著テ居ッテモ、瘦セテ腹ガ減ッテ、ヒヨロヒヨロデハ戰ハ出來ヌデアリマセヌカ、只今ノ御答辯ハ此點ヲ十分ニ御考ヘニナラナイ所ノ御意見デアルト考ヘマス、併シ只今申上ゲタヤウニ、後ニ澤山質問ガ殘ッテ居リマスカラ、サウ執拗ニハ申シマセヌ、更ニ次ノ問題ニ移リタイト思ヒマスガ、現在ニ於テ三億七千四百萬圓ト云フモノヲ、空軍ノ擴張費、制限外ノ艦艇ノ建造ニ今度五億八百萬圓ノ中デ、充テラレル、是ハ更ニ御尋シナケレバナラスガ、軍縮會議ノ結果、制限外ノモノハ幾ラ造ッテモ宜イ、空軍ノ如キハ何等ノ制限ガナイカラシテ、幾ラデモ造ル、サウ云フヤウナ風デ御造リニナルナラバ、米國モ造ルデアリマセウシ、英國モ、獨逸モ佛蘭西モ造ル、サウ云フ風ニドン／＼空軍ナリ、制限外ノ艦艇ヲ造ルコトニナッ

タナラバ、其結果又海軍ノ軍艦ノ競争、空軍ノ競争ガ起キルヤウナ状態ニナリハシマイカ、是ハ甚ダ古イ統計デアリマシテ、現在ニ於テハドウカ分リマセヌガ、昭和三年ダト覺エテ居リマス、是ハ日本ノ金ニ直シタノデアリマスケレドモ、英國デハ豫算ガ七十二億三萬圓、其中十億九千四百萬圓、十五「バーセント」ノ軍事費ヲ使ッテ居リマス、米國ノ如キハ總豫算ガ七十六億二百萬圓、軍事費ハ十六億千五百萬圓、二十「バーセント」、獨逸ノ如キハアノ周圍敵國ノ中ニ居リナガラ、豫算總額ハ四十八億千七百萬圓デ、軍事費ハタッタ三億千八百萬圓、七「バーセント」シカ使ッテ居ラナイ、マダ佛蘭西、伊太利ノ如キ澤山アリマスケレドモ、ソレハ讀上ゲマセヌガ、少クトモ若シ日本ガ制限外ノ艦艇、空軍ヲドン／＼造ッタナラバ、非常ニ國力ノ充實シテ居ッテ、總豫算七十二億萬圓ヲ使ヘル英國、若クハ米國ノ如キ、七十六億萬圓モ使ヘルヤウナ國ハ、日本ガ一隻飛行機ヲ造ッテ居ル中ニ、七隻モ造ルデヤナイカ、サウナレバ空軍ノ擴張ニモ亦負ケテシマヒハシナイカト云フ虞ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、政府トシテハ日本デ是ダケ空軍ヲ擴張シ、制限外艦艇ヲ造ッテモ、外國ハ造ラナイト云フ御見込デ、所謂豫算ヲ立テラレタカ否ヤト云フコ

トヲ御尋致シマス

○井上國務大臣 御質問ノ御趣意ハ御尤デアリマシテ、遠イ將來ヲ考ヘテ見マシタナラバ、或ハ御懸念ノヤウナコトガ、實現セストハ限リマセヌ、華盛頓會議ノ場合ニ、主力艦ノ制限ダケ致シマスト其後ノ狀態ヲ見マス補助艦ノ製艦競争ト云フモノガ出來タ譯デ、今度ノ倫敦軍縮會議ヲ開カナケレバナラヌヤウニナッタノデアリマス、隨テ制限外ノ航空隊ノ如キモ、或ハ今後數年ノ間ニ競争ガ始マツテ、又再ビ航空隊ノ爲ニ軍縮會議ヲ開カナケレバナラヌヤウナ時ガ來ストハ何人モ判斷ノ付カヌ所デアリマス、併シソレナラバ只今ドウデアル、或ハ日本ガ是ダケ造ッタラドウデアルカト申シマス、私ハ海軍大臣ガ答ヘルコトガ正シイト思ヒマス

ガ、實ハ歷代ノ内閣、三四年前カラシテ、航空隊ノ擴張ノ爲ニ非常ナ經費ヲ要求サレテ居ッタノデアリマスケレドモ、航空隊ノ擴張ハ、財政狀態ノ爲ニ、海軍當局者ノ言フヤウニハ十分出スコトガ出來ナカッタ、從テ今日日本ノ航空隊ノ狀態ハ、外國ニ比較致シマシタナラバズト劣勢デアル、劣ッテ居ル爲ニ、今度ノ海軍補充計畫等ヲ立テマシタ、其爲ニ外國ニソレダケノ競争ヲサセルト云フヤウナコトハ私ハナイト考ヘテ居リマス、又倫敦軍縮會議ノ結果ガ、

可ナリ目前ノ事情カラ申シマス、平和氣分、世界ノ協調ヲ保ツト云フ氣分ニナリマシテ、左様ナ軍備擴張ノヤウナ空氣ハ少シモ認メテ居リマセヌノデアリマス、其點ハドウゾ御承知ヲ願ヒマス

○松谷委員

現ニ私ノ聞イテ居ル範圍

デハ、此處ニ新聞モ何モ持ッテ居リマセヌガ、米國デハ昨年ノ暮ニ空軍ノ擴張ノ計畫ヲ發表シタヤウニ承ッテ居リマスカ、サウ云フコトハナイノデアリマスカ、ソレヲ一ツ御尋ラシテ置キマス、モウ一ツハ現在ニ於テ平和氣分ガ漲ッテ居ルカラ、戰爭ノ虞ナドハナイ、私ハ立派ナ答辯ダト思フ、是ハ是非速記ニ明確ニ御止メ置ヲ願ヒタイ、無論サウデアラウト思フ、果シテ然ラバ日本ニ於テ軍縮ノ五億八百萬圓ソツクリ持ッテ來テ、モウ少シ減ラシテモ宜イデヤアリマセヌカ、然ルニ拘ラズ海軍ノ恫喝ニ會ッテ、内閣ノ存立ガ危イト云フノデ、俄ニ五億八百萬圓ノ中、三億何ボ約四億ニ近イ金ヲ持ッテ行カレタ、全然答辯ガ矛盾シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、其點ヲ明快ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○井上國務大臣

私ノ申シタコトヲモ

ウ一逼申上ゲテ置キマスガ、昨年ノ暮ニ華盛頓政府ガ非常ナ空軍ノ擴張計畫ヲ實現シタカ否ヤハ、何レ他日海軍大

臣ガ參リマシタラバ御答致スデアリマセウガ、唯、今アナタノ御言葉ヲ能ク訂シテ置キマスガ、日本ガ此補充計畫ニアリマス位ノ航空隊ヲ拵ヘマシテモ、相手方ニ持ッテ行ッテ航空隊ノ競争ヲセシメルヤウナコトハ今日考ヘテ居リマセスト申上ゲマシタノデ、アナタハ現在ノ狀態デハ戰爭氣分ハ更ニナイ、ソレナラ尙ホ一層海軍ノ擴張ヲ止メタラ宜イデヤナイカ、ソレハアナタノ御聽間違ヒデ、私ハ日本ノ航空隊ガ非常ニ遅レテ居ルカラ、今度ノ補充計畫ニ提出致シマシタ位ノ擴張ヲ致シマシテモ、直チニ相手方ヲシテ競争セシメルヤウナコトハアリマスマイト申上ゲタノデアリマスカ、其點ハ一ツ御承知ヲ願ッテ置キマス、ソレカラ海軍カ

○松谷委員

米國デ空軍擴張ニ四億幾

ラヲ使ハレテ居ルト云フコトハ、私共ノ聞イタ範圍デハ最早公知ノ事實デア

臣モ殆下答辯ニ窮シテ居ラレタヤウニ私ハ御見受申シタ、斯ノ如キ大ナル豫算ヲ取ツテ、更ニ海軍ノ軍縮剩餘金ノ五億八百萬圓ノ中デ、三億七千萬圓モ使ッテ、サウシテ國民ヲ饑エシメ、百五十萬人カラ饑エタル人ヲ出スト云フガ如キハ、甚ダ私ハ爲政者トシテ取ラナイ所デアリマス、斯ノ如ク現ニ米國ニ於テ空軍擴張ヲヤツテ居ル時ニ當リマシテ、此儘ニシテ置イテ、更ニ米國ガ増スカラ日本ガ増サネバナラス、ソレデハ英國ガ増ス、日本ガ増ス……、終ニハドウナルノデアラウカ、終ニハ此減稅ト云フモノモ近キ將來ニ於テハ取消サナケレバナラスヤウナ時期ニ到達シハセヌカト云フコトヲ私共ハ非常ニ憂フル者デアリマス、此點ニ關シテ減稅ハ、只今ノ御見込——ト云フヨリモアナタノ見通シ、只今デハナイ、私ハアナタノ見通シ、大藏大臣ノ見通シトシテ、減稅ハ一時的ニアラズ、永久ニ此減稅ヲ保チ得ルモノデアルト云フ見通シヲ付ケラレタカドウカト云フコトヲ御尋シタイト思ヒマス

○井上國務大臣 吾々位ノ程度ノ人間ト致シマシテハ、人間並ノ年代ノ見極メホカ勿論付キマセヌノデアリマス、併ナガラ吾々ガ財政計畫ヲ樹テ、減稅案ヲ立テマス上ノ見込ト致シマシテハ、今松谷君モ御尋ノヤウニ、見込ハ

立ッテ居ル、是ハ減稅ヲ致シマシテモ差支ナイ、斯ウ云フ見込ヲ立テ、居ルト、斯ウ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、勿論神ナラス身ノ、永久トカト云フヤウナコトニ對シテハ、私ハ責任ヲ持テヌノデアリマス

○松谷委員 私ハサウ永イ、百年後トカ、千年後ノ見込ヲ聽イテ居ル譯デアリマセヌ、此減稅ト云フモノハ、後ニモ御尋致シマスガ、少クトモ五六箇年間ノ減稅ノヤウニ思ハレテ居リマスガ、此減稅案ヲ御出シニナツタ程度ノ御見通シダケヲ承レバ結構デアリマス

○井上國務大臣 只今申上ゲタ通りノコトデ御承知ヲ願ヒマス、大丈夫ト考ヘマス

○松谷委員 今度ノ軍縮ニ基ク留保財源ノ五億八百萬圓ノ中ノ一億三千四百萬圓ト云フ減稅ハ、昭和十二年度デ終了シテ、其財源ガナクナルヤウニ考ヘラレマスガ、其後ノ減稅モ引續キ御ヤリニナル御考デアルカ、ソレトモ昭和十二年度ヲ以テ打切ラレル御考デアルカト云フコトヲ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○井上國務大臣 勿論減稅ハ財政計畫ノ上カラ行キマシタラ、何年度限リトカ、何年度マデト云フコトハナイノデアリマス、ズツ將來ニ互ッテノ二千五百萬圓ノ減稅デゴザイマス

○松谷委員 其財源ハ何處カラ出ルノデアリマスカ、少クトモ政府ノ示サレタ所ノ減稅案及ビ地租改正要綱ト云フノニ基クト、少クトモ十二年度デ以テ、其他ノ見込ガ附イテ居ラヌヤウニ書カレテ居リマスガ、財源ハ然ラバ何處カラ持ッテ來ラレルノデアルカ、其點ヲ御伺シテ置キマス

○井上國務大臣 御手許ニ概計表ト申シマス、大體財政計畫ノ經常歲入ガ幾ラ、臨時歲入ガ幾ラ、一方ニハ歲出ガ經常ト臨時ニ分ケマシテ幾ラトアル、即チ入ト出ノ均衡ヲ得テ居リマス、彼ノ表ノ中ニハ最早二千五百萬圓ハズツト將來マデ引イテシマツデアリマスカラ、サウ御承知ヲ願ッテ置キマス

○松谷委員 其點ハ尙ホ私ノ方デモ能ク調査シマシテ更ニ御質問ヲ申上ゲタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ次ニ御尋ヲスルノハ、本年ノ一月二十八日ノ豫算總會ニ於テ、大口君カラ昭和十二年以降ニ六千萬圓ト云フ金ガアル、是ハ海軍ノ補充計畫ニ充テラレルヤウニ言ハレテ居リマス、初メノ内ハ大藏大臣ハ、サウ云フ金ハ一文モナイト御答辯ニナツタノデアリマスケレドモ、其後大口君ノ追窮ガ劇シカッタ爲カ、ソレハ間違デアッタト御取消ニナツテ、六千萬圓ト云フ隱サレタ財源ヲ發見シタ、新聞紙上ノ如キハ非常ニ之ヲ以テ、海軍

デモサウ云フ財源ガ隱サレタルノデアッタカ、一安心シタト云フヤウニ、海軍當局ノ談トシテ載ッテ居リマス、斯ウ云フ風ニ大口君ノヤウナ質問ノ上手ナ人ガ、丁度吾々ガ遠足ニ行ッテ芋デモ掘ルヤウニ、掘リ方ノ上手ナ者ガ掘ルト、大キナ六千萬圓、八千萬圓ト云フ財源ガコロコロ出ルヤウデハ(笑聲)甚ダ私ハ結構ナ事ダト考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フモノガアツテ、今後更ニ減稅ニ振向ケラレルヤウナ財源ガ御アリニナルナラバ、此際上手ナ人バカリデナシニ、私共ニモチツトハ拾ハシテ貰フヤウニ、アルナラバモウ少シ御示シガ願ヒタイ

○井上國務大臣 大口君カラ詰問サレテ、到頭私ガ已ムヲ得ズ白狀シタト申サレマシタガ、サウ云フ惡意ガアツタ譯デモ何デモナイノデアリマシテ、若シ私ニ強ヒテ申シマスナラバ、五億八百萬圓ノ留保財源ト云フモノハ、凡ソ當途ガアツテ、艦艇製造ナラ艦艇製造ト云フコトニナツテ居リマス、併ナガラ六千萬圓ト云フ金ハ左様ナ意味ノ留保財源ニ非ズシテ、先般委員會ニ於テ内田君カラ御質問ノアリマシタ如ク、今度ノ海軍ノ補充計畫ノ大體ハ十一年デ終ルノデアリマス、然ラバ十二年後ハドウナルカト云フ意味ニ於キマシテ、十一年度マデハ計畫ガアリマスガ、十二年

以後ハ計畫ガアリマセヌカラ、左様ナ
金ガ自然ト其處ニ殘テ居ル、斯ウ云フ
意味デアリマスカラ、私ガ若シ大口君
ノ二度目ノ御問ニ對シテ到頭白狀シタ
ト仰シヤルナラバ、サウ云フ風ニ御諒
解ヲ願ッテ置キマス、ソレナラバ其他ニ
何カ御拾ヒ下サル財源ガアルカト云フ
ト、モウ全ク何ニモ御拾ヒ下サルヤウ
ナ財源ハゴザイマセヌ(拍手)如何ニ大
口サンガ御質問上手デ私ヲ御責メ下サ
リマシテモ、モウ御拾ヒ下サルヤウナ
財源ハチットモゴザイマセヌ

○松谷委員 其點ハ宜シウゴザイマ
ス、次ニ御尋スルノハ、税制整理ヲヤ
ル意思ガアルカト云フコトヲ、大藏大
臣ハ再三御發表ニナッテ居リマスガ、政
府ノ整理方針ノ大綱ハ、凡ソドウ云フ
風ナ見解ニ基イテ整理セラレルカト
云フ大綱ヲ一應御示シガ願ヒタイ、就
中其中デ中産階級以下ノ減税竝ニ免税
點ヲ引上ゲラル、ノ意思ガオアリニナ
ルカドウカ、ソレカラ政府事業ノ商品
ノ値下ゲヲ斷行セラレル御意思ガアル
カナイカト云フコトヲ御尋致シマス

○井上國務大臣 税制整理ノ考ハ、大
藏省關係ノ主税局其他デ皆相當ニ持
寄ッテ持ッテ居リマス、隨テ廣汎ナ意味
ニ於テ税制整理ヲ一遍ヤラウト云フコ
トハ考ヘテ居リマスガ、只今ノ御問ノ
ヤウニ、今茲ニ具體的ニ申上ゲテ斯ウ

シタイ、ア、シタイト云フヤウニ、確
定的ニ申上ゲル程纏マッテ居リマセヌ、
無產黨ヲ代表サレテノ御意見デアリマ
スナラバ、何カノ機會ニ承ッテ置クコト
ガ出來マスレバ、吾々ノ多大ノ參考ニ
ナル次第デアリマス、ソレカラ最後ノ
商品ノ値段ト云フコトニ付テハ、例ヘ
バ煙草ノ如キ、鹽ノ如キモノモ、餘裕
ガアリマスレバ、是ハ當然下ゲナケレ
バナラヌモノト考ヘテ居リマス、消費
税ヲ引下ゲレバ、ソレノ釣合上煙草ノ
値段モ下ゲルノガ本當デヤナイカト云
フコトハ、税制整理ノ上ニハ起サンケ
レバナラヌ當然ノコトデアリマス

○松谷委員 税制整理ノ大綱位ヲ御示
下サラスト云フコトハ甚ダ遺憾ニ考ヘ
マス、政府デモ税制整理ヲヤルノコト
仰シヤル以上ハ、少クトモ大綱位ガ御
在リニナラナケレバ、雲ヲ掴ムヤウナ
考デ、税制整理ヲヤルノコト云フヤウ
ナ意見ヲ發表セラレルモノデハナイ、
少クトモ税制整理ヲヤルト言ッテ聲明
サレタ以上ハ、凡ソノ大綱ガマダ分ラ
ヌヤウデハ、税制整理ト云フヤウナコ
トハ私ハ立タナイト考ヘマス、併ナガ
ラ之ヲ此處デ示セト言ハレテモ、御困
リデセウガ、サウ云フ方針ガマダ決定
シテ居ラヌト云フガ如キ御答辯ハ、甚
ダ不誠意ナ御答辯トシテ吾々ハ受入ル
ルコトハ出來マセヌ、併ナガラ口ヲ割ッ

テ言ハスヤウナ、サウ云フコトハヤレ
マセヌシ、已ムヲ得マセヌカラ、其點
デ置キマセウ、併ナガラ中産階級以下
ノ減税竝ニ免税點ヲ引上ゲル考デヤ
テ居ルトカ、或ハ相續税ノ如キ税金ヲ
モウ少シ取立テ、中産階級以下ノ免
税點ヲ引上ゲル意思ガアルカナイカ位
ハ、十分今日ニ於テ御考ガアッテ然ル
ベシ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスカ
ラシテ、其點ヲ一ツ十分ニ御答辯ヲ願
ヒタイ、ソレカラ又政府事業ノ中ノ煙
草ダトカ、鹽ダトカニ致シテモ、今度
政府ノ御發表ニナッタ所ノ所謂金解禁
ノ斷行、其他消費節約等ヲナサレタ結
果、生産費ト云フモノハ隨分減ジテ居
ラウト考ヘマス、生産費ガ減ジテ居ル
ナラバ、煙草ナリ鹽ナリノ値下ヲセラ
レルノハ當然ノヤウニ私ハ考ヘテ居リ
マス、生産費ガ減ジテモ、今ノ所デハ
値下ヲスル者ガナイト承ッテ宜シイノ
デアリマスカ、其點ヲ御伺ヒ致シマス

○井上國務大臣 御質問ハ御尤デアリ
マスルガ、値段ヲ下ゲントスレバ茲ニ
金ガナケリヤナラス、即チ財源ガナク
チャナラスコトニナルノデアリマス、
財源ヲ他ニ求ムルカ、歳出ヲ減ラスカ、
ドツチカスルヨリ外ニナイノデアリマ
スルガ、度々繰返シテ申上ゲルヤウニ、
昭和六年度ノ豫算ヲ拵ヘマス時ニハ、
非常ニ急激ニ税ガ減リマシテ、左様ナ

餘地ヲ見付ケルコトガ出來ナカッタト
云フコトヲ度々繰返シテ申シテ居ル次
第デアリマス、將來ノコトハ先刻御答
申シタヤウナ次第デアリマス
尙ホ所謂下層ノ税ヲ減ラセ、或ハ相
續税ヲ餘計取レト云フヤウナコトハ、
苟モ税制ノ整理ヲセントスル人ハ當然
考ヘル所デゴザイマス、併ナガラソレ
ナラバ相續税ヲ幾ラノ率ニ上ゲルカ、
何ト釣合ヲ取ッテ何處マデ行クカ、左様
ナ明確ナコトハ、此際ニ於テ左程詳細
ニ申上ゲテモ、マダ不確定ナコトヲ申
上ゲマシテ、却テ世人ノ誤解ヲ招クヤ
ウナコトガアッテハナラスノデアリマ
スカラ、其點ハ一ツ左様御承知ヲ願ッテ
置キマス

○松谷委員 只今ノ大藏大臣ノ御答辯
デ、私ハ稍満足致シマス、中産階級以
下ノ減税、免税點ノ引上ゲ、又相續税
ヲ増シテ取ル取ラヌト云フコトハ、大
藏當局トシテ、爲政者トシテハ當然考
ヘナケレバナラヌコトダガ、此處デ幾
ラ幾ラ減シテ、幾ラ々々相續税ヲ釣上
ゲルト云フコトハ申上ゲラレマセヌト
云フ御答辯ニ對シテハ、私ハ誠意ヲ以
テ感謝ノ意ヲ表シテ置ク次第デアリマ
ス、此點ノ質問ハ是デ打切ッテ置キマ
ス

更ニモウ一ツ御尋シタイノハ、本年
度ノ減税ノ割當デアリマスガ、是ハ本

年度ハ確カ九百萬圓デアット思ヒマシタガ、七年度以降ハ毎年約二千五百萬圓ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、何故ニ昭和六年度ダケ九百萬圓トシ、七年度以降ハ何故ニ二千五百萬圓ト多クセラレタノデアルカ、其點ヲ御聞キ致シマス

○井上國務大臣 是ハ留保財源ノ五億八百萬圓ノ、昭和六年度カラ昭和十一年度マデノ年度割ガゴザイマス、其年度割ガ昭和六年度ハ僅カ千八百萬圓デアアル、隨テソレヲ九百萬圓程減稅ニ使ヒ、九百萬圓程海軍ノ補充計畫ノ方ニ使ツタノデアリマス

○松谷委員 併ナガラ少クトモ全額ニ於テ、一億三千四百萬圓ト云フ金ガアルノデアリマスカラ、其割振リ位ハ政府ノ財政的手段デ、幾ラデモ割振リガ付クモノダト考ヘマス、是ハ是バカリデナク、割振リヲ付ケラレタ例ハ澤山アルト記憶シテ居リマス、私ハ財政家デアリマセヌカラ、一々例ヲ舉ゲテ申シマセヌガ、恐ラクハアラウト思ヒマス、現ニ本年度ノ如キハ實ニ不景氣ノ極點ニ達シテ居ル、破産、倒産、夜逃ゲ其他工場閉鎖ヲスルモノ、銀行ノ如キハ現ニ支拂停止ヲシテ居ル銀行ガ隨分アルデハゴザイマセヌカ、租稅ノ不納、滯納ノ如キモ實ニ夥シイ數ニ上ツテ居ル、而モ政府ハ何ト聲明セラレタカト

言ヒマス、不景氣モモウ底ヲ突イタノデアアル、來年度カラ段々好クナルノダト再三御聲明ニナツテ居ルデハゴザイマセヌカ、果シテ然ラバ今年度ノヤウナ一番苦シイ時ニ、タツタ九百萬圓デ、アナタノ仰シヤルヤウニ景氣ガ好クナル時分ニ、二千五百萬圓宛モ減稅ヲセラレルト云フノハ、少クトモ此財

界ヲ見通シテ逆ニセラレタヤウニ考ヘルガ、其點ニ關スル大藏大臣ノ御所見ヲ承リタイ

○井上國務大臣 歳入ノ建方ハ、或ル年ニ入ルダケノ金ヲ以テ、其年ノ歳出ニ充テルノデアリマス、若シ假ニ昭和五年度ニ金ガ入ルコトガ多クテ、其入ッタ金ガ何千萬圓カ残リマスレバ、其次ノ年ニモ其金ヲ使フコトガ出來ルノデアリマスケレドモ、今年ノ如ク其年ニ入ル金ヲ以テ、其年ニ使フト致シマスナラバ、千八百萬圓ノ金ガ昭和六年度ニチャント豫定サレ、昭和六年度ニハ千八百萬圓ノ歳入ガアリ、一方ニハソレヲ歳出ニ持ツテ行ク、斯ウ云フ工合ニ、其金ヲ以テ九百萬圓ダケ減稅スレバ、歳入ガ九百萬圓ダケ減リマス、サウシテ財源ノ均衡ヲ得サシテ行クノデアリマシテ、今松谷君ノ言ハレル如ク、後ニ取レル稅ヲ前ノ方ニ持ツテ來ル、私ハ昭和七八年度ニ於テハ、景氣ガ變ル變ラスト云フコトハ申サヌノデアリマ

スガ、假ニアナタノ推定ノ如ク景氣ガ變ルトシテ、其年ニ減稅セヌデモ宜イカラ、今年減稅シロト仰シヤルガ、日本ノ財政計畫デハ、過去ニ殘ッタ金ガアリマスレバ、ソレガ出來マスガ、殘ッタ金ガナイ場合ニ、將來ニ於テ取レル金ヲ豫想シテノ減稅ハ出來ナイコトニナツテ居リマス

○松谷委員 是ハ私ハ大藏大臣トシテ甚ダ不誠意ナ御答辯ダト考ヘマス、何故カト言ヘバ、入ルヲ計ツテ、入ッタ金テ出スノデアアル、ソレハ私ハ能ク分ツテ居リマス、併ナガラアナタ方ノ「ペ

ン」一ツノ曲方ニ依ツテ、一時借換モ出來レバ、短期ノ公債モ發行シテ、次年度ニ取レル金ヲ前ニ廻スコトモ出來ル、私ノ言フノハ何故ソレ位ノ財政的手腕ヲ振ツテ、此ドン底ニアアル一番苦シイ時ヲ救済シテ戴ケナカッタカト云フコトヲ御尋シテ居ルノデアリマス、且又大藏大臣ハ、今ハ不景氣ノドン底デ、來年カラハ景氣ガ好クナルト仰シヤッタト申シタ言葉ヲ私ノ推定ダト仰シヤッタガ、ソレハ私ノ意見デハアリマセヌ、アナタガ仰シヤッタノデアアル、是ハ速記録ニモ載ツテ居リマス、最早不景氣ハ底ヲ突イタト云フコトヲアナタハ何デモ仰シヤッタノデアアルガ、底ヲ突クト云フコトハ、不景氣ハ今ガドン底デアッテ、是カラハ景氣ガ段々好クナルト云

フコトデハゴザイマセヌカ、少クトモサウ云フ以上ハ、三億七千四百萬圓ト云フ金ハチャント取ツテアル金デアリマスカラ、是ヲ一時借入レルナリ、短期ノ公債ヲ發行スルナリ、幾ラデモ出來ルト私ハ考ヘマス、少クトモ此位ノ手腕ハ、一番ドン底ニアツテ苦ンデ居ル者ニ對シテハ盡シテ戴キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレダケノ誠意ヲ以テ、此減稅案ヲ作ラレタカ、全然誠意ヲ持タレナカッタカト云フコトヲオ尋致シマス

○井上國務大臣 誠意不誠意ヲ御疑ヒニナラレマシテ、答辯モ甚ダ致シ兼ネ

今日ハ金ヲ借りテデモ減稅シロ、ソレガ誠意アルヤリ方デアルト云ハレマス、ソコハ私ハ考ガ違ヒマス、國ノ財政上、假リニ例ヲ申セバ、一方デ五千萬圓ナリ一億圓ナリノ金ヲ借りテ、其借リタ金デ減稅スルト云フコトハドウデアリマセウカ、ソレモ一ツノ方法デアリカモ知レマセヌガ、吾々ノ財政ノ建方トシテハ、左様ナ事ハ國ノ財政ノ見地カラ到底出來ナイノデアアル、斯ウ考ヘテ、此減稅ハ即チ歳入ノアル範圍内ニ於テ總テノ計畫ガ出來テ居ルノデゴザイマス

○松谷委員 私ハサウ云フ實例ガアルヤウニ考ヘテ居リマスケレドモ、私ハ

別ニ財政通デモナク、實際ノ狀勢ヲ知リマセスカラ深クハ御問ヒ致シマセヌガ、少クトモ是ハ五年間ナリ、六年間取ル金ガ一億三千四百萬圓ト云フ金ガチャント其處ニ備付ケテアル、ソレヲヤリ繰リスルダケノ話デアル、アナタハソシナ事ヲ仰シヤルガ、收入減ノ場合ニハ、短期公債ノ募集ヤ、借入金ヲドン／＼ナサツテ居ルデヤアリマセヌカ、アノ短期公債ヤ借入金ヲ何故御ヤリナサラナカッタカ、入ル金デナケレバ使ヘナイナラバ、短期公債モ借入金モ出來ナイデヤナイカ、ソレハ始終御ヤリニナツテ居ルデヤアリマセヌカ、短期ノ債券ヲ發行シ、又ハ一時借入金ヲ借入レテ諸拂ヲシテ居ラレル、ソレヲ何故ニ此場合ニノミ適用ガ出來ナイカト云フコトヲ御尋ネシテ居ルノデアリマヌ

○井上國務大臣

ドウ御答申シテ宜シイノデアリマスカ、留保財源ノ五億八百萬圓ト云フ金ハ現金デ何處ニモ積ンデ居ル金デヤナイノデアリマス、若シアナタノ御考ニナツテ居ルヤウニ、一億三千四百萬圓ト云フ金ガ何處カニ積ンデアルトスレバ、其金ヲ以テ減税ヲスルナラバ、アナタノ仰シヤル通り昭和六年度ニ於テ一億三千四百萬圓ト云フ減税ヲシテ行クト云フコトモ確カニ一案デアリマスガ、此一億三千四百萬圓

ト云フ金ハ、私ガ前段申シマシタ通り年々租税ニ依ツテ取レルト豫想シテ居ル合計デアリマス、ソレハ昭和六年度へ行ツテ千八百萬圓取レルノデアリマス、ソコデ以テ千八百萬圓ノ中九百萬圓ダケ取レルト云フ豫想デ取ツテ、九百萬圓ダケ海軍ノ補充ニ使ツテ、サウシテ九百萬圓ダケ税ヲ取ラヌコトニスル、取ルベキ税ヲ取ラヌコトニスルノデアルカラ減税デアリマス、其年へ來テ、取ルベキ金ヲ以テ初メテ減税ヲスルノデアリマスカラ、其處ニ誤解ガアルノデハアリマスマイカ、今ノ御説ノヤウニ、一方ニウント公債募集ナリ、金ヲ借りテ減税ヲシロト云フコトハ、是ハ一案デアリマセウ、又左様ナ議論ヲ稱ヘル人モアリマス、斯様ナ世界の不景氣、日本ノ經濟界ノ變動期ニハ、唯其時代ニ住ンデ居ル人バカリデ之ヲ負擔スルト云フコトハ餘リ酷イカラ、茲ニ一億圓ナリ二億圓ナリノ公債ヲ何年間ニ募ツテ、僅カ短期間ノ減税ヲシタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ議論モアルノデアリマスケレドモ、ソレデハ私等ハ餘リ宜シクナイト思ツテ賛成シナカッタノデアリマス

○松谷委員

此留保財源ト云フモノハ、何カ銀行ニデモ積ンデ居ルトデモ思ツテ居ルヤウニ仰シヤイマスケレドモ、私ハソシナ考ハチットモアリマ

セヌ、サウ云フ誤解ヲシテ居ルノデヤアリマセヌ、併ナガラ留保財源ト云フモノガアツテ、是ハ海軍ニ使フ金トシテチャント法律デ定メテアツテ、ドウシテモナクチャナラヌ金デアル、今年來年再來年ト云フ風ニ、チャント割振りサレテ居ル、其金ノ事ヲ申上ゲタノデアリマシテ、大藏大臣ノ御教ヘ下スッタヤウニ、私ハ誤解ハナイ積リデアリマス、其點ハ豫メ御諒承ヲ願ツテ置キマヌガ、ソレデヤ斯ウ云フ事ニ例ヲ變ヘテ申上ゲレバ御分リニナルカモ知レマセヌ、毎年租税ナリ其他ノ收入ガ十三億ナリ十四億入ルガ、ソレハ第一期、第二期ト云フ期間ガアツテ、順々デナイト此十四億ト云フ歳入ハナイ、假リニ今年六月マデニハ、金ガ七億圓シカ收入シテナイ所ヘ、其時八億圓ドウシテモ拂ハナケレバナラヌ金ガアル時ニハ、政府ハ一時借入金ヲナサルコトヲ御認メ下サイマスト私ハ考ヘマス、是ハ同一年度内デアアルカラシテ、借入金ガ出來ルト仰シヤルカモ知レマセヌガ、僅カ三年カ四年ノコトデアリマスカラ、順ニ送ツテ行ツテ、少シジ、ノ借入金ヲ翌年度ニシテモ、少シモ私ハ差支ハナイト思フ、ソレ位ノ財政的ノ遺繰リハ私ノ如キ會計法ハ知リマセズ、又豫算ノ組方モ知ラス全然素人デアツテモ、出來サウナモノダト思フ、ソレヲナゼナ

サラヌカト云フコトヲ御聽キシテ居ルノデアリマス

○井上國務大臣 日本ノ會計法、日本ノ法制ハ、只今松谷氏ノ言ハレルヤウナコトハ出來ナイヤウデアリマス、サウ云フ風ニハ出來テ居リマセヌノデ、左様ナコトヲ致スコトハ、日本ノ法制ハ許シマセヌヤウデアリマス

○松谷委員 短期公債ノ借入金出來マセヌカ、其點ヲ御尋ネ致シマス

○井上國務大臣 是ハ大藏省證券デアリマスカラバ、其年度ノ決算ノ出來ルマデバ、ソレヲ繰越シテ行クトハ許シマセヌノデアリマス

○松谷委員 公債ノ發行ハ出來マセヌカ

○井上國務大臣 若シ議會ノ協賛ヲ經マシテ、或ル程度ノ公債ノ發行額ヲ、用途ヲ示シテ協賛ヲ經マシタラバ出來マス、又前年カラ事業ト公債ノ繰延ガアツテ、公債ガ發行シテナイト云フヤウナコトガアツタラ、發行ガ出來マスケレドモ、唯大藏大臣ガ勝手ニ公債ヲ發行スルコトハ、一切許サレテ居ラスノデアリマス

○松谷委員

總テ何デモ大藏大臣ガ私ハ勝手ニヤレト言フノデハナイ、此豫算デモ、議會ノ協賛ヲ經ナケレバ出來ヌノデアリマシテ、サウ云フ詰ラヌコトヲ聽イテ居ルノデアリマセヌ、少クトモ財政的ニ、斯ウ云フ風ニ立テ、

行ク場合ハ、公債モ斯ウ云フコトノ爲ニ要ル金ダト云フテ御使ヒニナルナラバ、議會モ喜ンデ承認スルコト、私ハ思フ、且又私ハ申上ゲテ置キマス、現ニ失業公債トカ何トカ言ッテ——私共アノ失業公債ナルモノハ、ソレ程下層階級ニハ何等均霑シナイモノダト、私ハ實際思ッテ居リマスガ、政府ガ失業公債ニアレ程御使ヒニナル金デアッタナラバ、現ニ目ニ見エテ、五年ナリ六年ナリノ中ニ入ル金ノ爲ニ公債ヲ發行セラルナラバ、國民モ喜ンデ私ハ出スモノト考ヘマス、ソレ位ノ誠意ヲ御示シニナランコトヲ私ハ希望シテ置ク、希望ノミデハアリマセス、ソレ位ノコトハ出來ルデヤナイカト言ッテ御尋ネシタノデアリマスガ、大藏大臣ハソレ程ノ誠意ヲ示サレスト云フコトデアリマスカラ、是レ以上私ハ議論ヲスル必要ハナイ、現在ニ於テサウ云フ御考ヘリマス、併ナガラ織物ト云ヒ、砂糖ト云ヒ、今日ノ如ク價格ノ下ツタ時、僅カ——僅カト申シマスカ二千五百萬圓ヲ即チ振向ケテ見テモ、今日ノ物價下落ノ場合ノ低下率ト比ベテ見ルト、左程其點ニ於テハ必要ヲ感ゼヌノデハナイカト云フ考モ一方ニ起リマス、一方ニハ地租營業收益稅モ、是マデモウ少シ下ゲナクテハイカヌ、此今ノ農村ノ狀態、又中小商工業者ノ狀態カラ申スト、營業收益稅モ下ゲテ行カナケレバイケナイトイフ問題モ、長年ノ問題デアリマシテ、隨テ只今申上ゲタヤウナ考カラシテ、必ズシモ消費稅バカリニ二千五百萬圓ヲ向ケズニ、地租營業收益稅モ入レテ此減稅案ヲ立テタノデアリマス、何處ニ根據ガアルカ何處ニドウ云フ數字の根據ガアッテドウトカ云フ御質問ニナリマス、唯私ガ今申上ゲタヤウナ次第デ、此四ツヲ取ッテ減稅ノ稅目トシタノデアリマス

○松谷委員 私ノ御尋スルノハ、サウ云フ經緯デナクシテ、根本ノ方針ガ所有課稅デアル資本家地主ニ多ク向ケラレテ居ッテ、大衆課稅、就中無產階級ノ負擔スル稅金ガ少イ、ソレガイケナイト私共ハ考ヘルノデアリマス、ソレハドウデアラウカト云フ御尋デアリマス、就中ハ半年度ノ場合デアリマスガ、昭和六年度即チ本年度ノ分ノ如キハ、就中酷イ、本年度ニ於テハ九百一十一萬圓、此中デ地租ガ六百七十七萬圓、營業收益稅ガ百二十一萬圓、合計七百九十八萬圓、ソレニ反シマシテ織物消費稅ハ九十一萬圓、砂糖消費稅ハ二十萬圓、合計百一十二萬圓、即チ資本家地主ノ負擔トナルベキ減稅ガ七百九十八萬圓デハ割七分六厘、一般大衆稅、就中無產階級ノ負擔スル所ノ稅金ガ百一十二萬圓、タッタ一割二分四厘シカ下ゲテアリマセス、是デ見ルト殆ド大藏當局ナリ政府當局ノ頭ト云フモノハ、地主ナリ資本家ナリニハ八割七分六厘モ下ゲテヤッテ、一般大衆タル無產階級ニハタッタ一割二分四厘デアル、餘リニ私ハ現下ノ情勢ヲ無視シタモノデハナイカ、失業救濟失業者救濟ト大キナ口デ、太鼓ヲドン／＼叩カレルケレドモソレナラバナゼアベコベニシナイノカ、資本家トカ地主トカニハ八割七分六厘モ下ゲテヤッテ、無產階級ニハタッタ一割二分四厘、之ヲ一人頭無產大衆ニ割ッたらドレダケニナルノデスカ、胡麻鹽ヲ振撒イタト云フガ、胡麻鹽ドコロノ話デハアリマセス、殆ド大衆ニ向ッテ百十二萬圓、之ヲ下ゲテヤッテ何ノ足シニナルカ、是コソホンノ申譯デアリマセスカ、モウ少シ豫算ノ建方ナリ、總テ斯ウ云フ減稅ヲ爲サル場合ニハ、モウ少シ其點ニ十分ナル、御留意ガ願ヒタイ、政府當局ハ此點ニ關シテ就中本年度ノ減稅ニ對シテ、資本家地主ニ對シテ特ニ八割七分下ゲテヤラナケレバナラズ、一般大衆タル就中無產階級ニハ一割二分四厘デ宜カッタノデアルト云フ御見込ヲ立テラレタ根據ヲ御尋ネ致シマス

○井上國務大臣 資本家擁護——無產者ニ對スル考ガ足リナイト申サレマスガ、今日ノ農村ノ狀態、今日ノ中小產業者ノ商賣ノ狀態ト云フコトヲ一方ニ

十八萬圓、斯ウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマシテ、其割合ヲ見ルト、所有課稅即チ資本家地主ノ負擔ノ減稅ガ六割強、大衆課稅タル所ノ砂糖消費稅其他ノ合計ガ四割弱、是デ見ルト此減稅案ナルモノハ主トシテ資本家地主ノ減稅ニ充テラレテ居ッテ、大衆課稅デアル所ノ一般無產階級ノ最も多ク負擔スル所ノ大衆課稅ニ於テ、四割弱シカヤッテナイガ、此所謂方策ノ建方ハ如何ナル考デ立テラレタノデアアルカ、ヤハリ資本家地主ヲ擁護スル故ニ、斯ウ云フ割振ヲ作ラレタノデアアルカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネ致シマス

○井上國務大臣 此減稅ヲ致シマス所謂稅ノ種目ニ付キマシテハ、餘程苦心ヲシタノデアリマシテ、或ル考デハ消費稅バカリヲ一ツ減稅シタラ宜カラウ、斯ウ云フ考モ起シマシタコトモアリマス、併ナガラ織物ト云ヒ、砂糖ト云ヒ、今日ノ如ク價格ノ下ツタ時、僅カ——僅カト申シマスカ二千五百萬圓ヲ即チ振向ケテ見テモ、今日ノ物價下落ノ場合ノ低下率ト比ベテ見ルト、左程其點ニ於テハ必要ヲ感ゼヌノデハナイカト云フ考モ一方ニ起リマス、一方ニハ地租營業收益稅モ、是マデモウ少シ下ゲナクテハイカヌ、此今ノ農村ノ狀態、又中小商工業者ノ狀態カラ申スト、營業收益稅モ下ゲテ行カナケレバイケナ

考へ、一方ニハ絹絲——織物消費税ハ階級ノ受ケル利益ハ、零デハアリマセ

絹絲ニ限リマセヌガ、絹織物ガ大部分ヌカ、私ハ其意味カラ見テモ、政府ハ

デアリマスガ、サウ云フ物ガ今日ハ價何時デモ無産大衆ヲ眼中ニ置カズニ、

格ガ非常ニ下ッテ——半値ニモ下ッテ居資本家地主ノ擁護ニノミ努メテ居ルト

ルト云フヤウナコト、砂糖モ何割下ッテ思フ、況ヤ只今申上ゲマシタヤウニ、

吾々ハ斯様ナ種目ヲ取ッテ税ヲ下ゲル昭和六年度ニ於テ、砂糖消費税ハ二十

コトガ非常ニ宜イト考ヘマス、同ジ織物一萬圓、織物消費税ハ九十一萬圓ト云

税ニ致シマシテモ、御承知ノ如ク今日フコトデアリマスナラバ、此點カラ見

木綿ハ無税デアリマス、織物消費税ニテモ、一割二分四厘ノ中ニスラ織物消

於キマシテモ、大體ノ種目ニ付テハ税費税ノ掛ル人ガアルノデアルカラ、今

ヲ下ゲ、下等ノ種目ニ對シテハ無税ノ度ノ減税ハ殆ド全部中産階級ノ爲ノ減

種類ヲ殖ヤシタ次第デアリマスカラ、糖消費税ニ十一萬圓ヲ下ゲラレテ、

必ズシモ松谷サンノ言ハレルヤウナコレダケニ當ルカ、今度ノ減税ハ、中産

トヲ全然考ヘズニヤッタト云フコトノ階級以上ノ爲ノ減税デアッテ、無産階級

誹リモナイデアラウト考ヘテ居リマスハ全然眼中ニ置イテ居ラナイ、實ニ片

○松谷委員 只今私ハ次ニ質問スベキ手落モ片手落、地主資本家擁護、中産

條項ニ入りマシタカラ、直ニ之ニ牽聯階級以上ノ絹織物ヲ著ル人ダケニ限ラ

シテ申上ゲマスガ、一體織物消費税ヲレタコトハ、甚ダ遺憾ト思ヒマス(誤

解ダレト呼フ者アリ)ゴカイカ、シカイタカ私ハ存ジマセヌガ、數字ガ明ニ示シ

カ私ハ存ジマセヌガ、數字ガ明ニ示シテ居ルデアリマセヌカ、私ハ數字ヲ

見テ御話ヲ申上ゲルノデアアル、ドウカモウ少シ頭ノ入替ヘヲ要求セザルヲ得

ナイ、實ニ斯ウ云フ點ヲ考ヘマシテ、少クトモ大藏當局ハ、一般無産階級ニ

重點ヲ置カレテ——資本家、地主、或ハ絹物ヲ使フ人達ニ減税スルヨリモ、

一般大衆ニ何故モット減税ヲヤラナカッタカ、要スルニ頭ノ置キ所ガ違ッテ居ル

デヤナイカ、其點ヲモウ一度、執拗イヤウデアアルガ御伺致シマス

○井上國務大臣 只今ノコトニ付テ、織物消費税ニ限ッテ御答致シマスガ、昨

日——一昨日デアリマシタカ、日本ノ養蠶、絹織物ハ外國貿易ダケデハイケ

ナイ、内地ニモ之ヲ使ッテ養蠶製絲ノ業ヲ確立スル爲ニ織物税ヲ全部ナクシタ

ラドウカト云フヤウナ御説モアッタ如ク、若シ松谷サンノ言ハレルヤウニ、

税ヲ負擔スル人ダケカラ考ヘマシタナラバ、貴方ノ言フヤウナ考モ一面ノ

理窟デアリマセウガ、國ハ常ニ此税ガ日本ノ産業ニドレダケ影響スルカ、何

處ニ此税ハ日本ノ産業政策ニドウ云フ關係ガアルカト云フコトハ何時デモ考

ヘテ、兩面ノ意味カラ考ヘテ此税法ハ樹テシケレバナラヌノデアリマスカ

ラ、ソコノ所ガ吾々ト松谷サンノ言ハルコト、非常ニ違ッテ居ルト考ヘマス

○松谷委員 此點ニ付キマシテ、私ハ先達テ青木政府委員及ビ小川政務次官

ニ御尋シタコトガアルノデアリマスガ、其時ニ斯ウ云フコトガ問題ニナッタ

テ、サウシテ是ハ國產獎勵ニモナルシ、此事業ノ發達ニ依テ外國ニドン(行

クデヤナイカ、斯ウ私ガ質問ヲ申上ゲタ時ニ、小川政務次官ハ何ト言ハレタ

カト言フト、ソレハ國產獎勵ト云フコト、税ヲ取ルト云フコト、ハ全然別

箇ノ考デアッテ、サウ云フコトハ頭ニ入レナイデ置イテ、無産階級ノ税ヲ何故

下ゲナイカ、中産階級以上ノ税ヲドウシテ澤山取ラスカト言フト、ソレハ蠶

絲保護、國產獎勵ダトカ何トカ言ハレルガ、ソレハ答辯ニモ何モナラヌデヤ

アリマセヌカ、モウ少シ誠意ノアル一定ノ方針ガアルナラバ、其一定

ノ方針ヲ示シテ貰ヒタイノデアリマス○青木政府委員 先日小川政務次官カ

ラ御答ニナリマシタノハ、經ヲ綿デ緯ヲ人絹デ織ッタモノヲ何故免税シナカッ

タカト云フ御尋ニ對シマシテ、小川政務次官ノ御答ニナリマシタ御趣旨ハ、

此織物消費税ニモ限リマセヌガ、總テ租稅政策ハ皆サンノ仰セニナリマスヤ

ウニ、擔稅力ヲ基準トシテ租稅政策ヲ樹テマスカラ、ソレデ絹織物ヲ消費ス

ル人、或ハ人造絹ノ織物ヲ消費スル人、サウ云フ消費者ノ擔稅力ト云フコトカ

ラ考ヘテ、租稅立法ヲスベキモノデアッテ、ソレガ此租稅立法、租稅政策ノ根本

デナケレバナラヌ、擔稅力ト云フコト

ヲ根本ニ於テ租稅政策ヲ樹テナケレバ
ナラナイ、斯ウ云フ御趣旨デアッタ思
ヒマス、デサウ云フ根本政策、根本主
義ニ於テ租稅政策ヲ樹テマスガ、其根
本政策ヲ樹テマシタ際ニ、ソレガ爲ニ
非常ニ産業ヲ壓迫スル、例ヘバ御承知
ノヤウニ製鐵業ニ對シテ免稅ヲシテ居
ルト云フヤウナ例ガアリマス、ソレ

ハ租稅政策ノ根本原理ノ方カラ申シマ
スレバ、何モ免稅スルト云フコトハナ
イト思ヒマスガ、産業政策——産業ヲ
非常ニ壓迫スルト云フヤウナ場合ニ於
テハ、租稅政策ノ根本ヲ多少讓歩スル
場合モアルト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居
リマス、只今ノ大藏大臣ノ御答辯モ、
サウ云フ御趣旨デアラウト思ヒマス

○松谷委員 出鱈目ハ御互ニ止シマセ
ウ、サウデナイトア、デアッタ斯ウデ
アッタト云フコトハ見ットモナイ話デア
リマス、現ニ小川政務次官ハ何ト言ハ
レタカ、サウ云フコトニ付テハ國產獎
勵等ノ如キハ徵稅ノ上ニ於テハ何等考
慮ノ中ニ入レテ居ラス、現ニサウハキ
リ言ッテ居ルデヤアリマセスカ、今ノヤ
ウナ胡魔化シハ御互ニ止シマセウ、私
共ハ誤ッテ居ルコトハ誤ッテ居ルトアッ
サリ是カラ御辭儀ヲ致シマス、サウ云
フ胡魔化シテヤルト云フコトハ、私ハ
甚ダ遺憾ニ思フ、ソレデアリマスカラ
小川サンノ仰シヤッタノハ誤解デアッ

タ、此方ノ答辯ガ違ッテ居ッタト云フコ
トヲアッサリ仰シヤレバ私ハ追窮ハ致
シマセス、御互ニ質問應答シテ居ル間
ニハ間違ヲ生ジマス、又口ヲ滑ラスコ
トモアリマスカラ、ソレハ間違デアッタ
ト云フコトヲ仰シヤッテ下サレバ、私ハ
ドレ程嬉シイカ知レマセス、御互ニ胡
魔化シ合ッテ、前ノガ違ッテ居ルノヲ綴
ギハギシテ、見ットモナイ答辯ハ止シテ
戴キタイ、私ハ議會ノ答辯ニ於テ、常
ニサウ云フコトヲ憂ヘテ居ル一人デア
リマス、誤ッタナラバソレハ誤ッテ居ル、
取消スト仰シヤッテ下サレバ、ソレデ奇
麗ニ濟ムコトデハナイカ、何故ニ左様
ニ斷ハラレルノデアアルカ、私ハ其處ヲ
遺憾ニ思フ、ソレデアリマスカラ少ク
モ産業ノ振興デアルトカ、或ハ産業ノ
獎勵ト云フコトモ、租稅ノ取立ヲ多少
參考ニ供シテヤッテ居ル、斯ウ云フ方針
デアアルカ否カラ先ヅ御尋致シマス

○井上國務大臣 只今ノ松谷サンノ御
尋ノ通りダト考ヘマス、今政府委員ノ
申上ゲマシタヤウニ、稅ハ取ルベキモ
ノデアアル、併ナガラ産業ヲ獎勵スル爲
ニハ免稅ヲシテヤルト云フヤウナモノ
ガ、日本ニハ少シ多過ギル程アリマス、
今政府委員ガ例ニ引キマシタカラ私モ
同ジ例ヲ引キマスガ、製鐵所——製鐵
ト云フコトニ付テハ、殆ド全部ノ稅ガ
免除シテシマッタアリマス、サウ云フコ

トハ稅ヲ免ジテモ、稅ヲ取ッテモ、産業——
其國ノ重要ナル産業ト云フコトハ、
何時デモ私ハ考ノ中ニ入レテヤルベ
キコトト思ッテ居リマス、若シ小川君
ノ說ガ誤ッテ居リマシタナラバ、本人ガ
參リマシタナラバ、尙ホ一層答辯ヲ致
サセマス

○松谷委員 大藏大臣ノ答辯ガ宜ケレ
バ、私ハ決シテ追窮スルノデモナク、
御取消ヲ願ハヌデモソレデ結構デアリ
マス、私ハ満足致シマス、ソレデ只今
申上ゲタヤウニ、是ハ議論トシテ、御
答辯ヲ願ッテ趣旨ニ私ハ満足シマセス
ガ、少クトモ現在ニ於テ直接國稅ニ於
テ八割六分七厘、ソレカラシテ間接國
稅デアル大衆課稅ニ於テ一割二分四
厘、其中ニ於テ織物消費稅デ九十一萬
圓デアリマシテ、六百七十七萬圓ノ中
ニタッタ二十一萬圓シカ大衆課稅ガ減
額サレテ居ラス、是ハ甚ダ憂フベキ現
象デアリマスカラ、今度爲サッタコト
ニ付テハ、私ハ何レ修正案ヲ出シマシ
テ、直ニ同意ヲ致シマセスカ、是ハ此
儘通過スルカト思ヒマス、ケレドモ今
後斯ウ云フ所謂無產大衆ノ課稅ニ對シ
テハ、十分ニ御考慮ノ中ニ入レテ戴キ、
サウシテ減稅ナリ何ナリ十分ニ無產大
衆ニ重點ヲ置カレテ算盤ヲ取ッテ、サウ
シテ減稅ヲ計ッテ戴キタイト云フコト
ヲ、特ニ私カラ申上ゲテ此質問ヲ打切

リマス、サウシテ次ノ質問ニ移リマス、
今度ノ地租ノ課稅標準ヲ貸賃價格ニ改
メラレマシタガ、其改メラレタル理由
及ビ根據ヲ御尋シタイノデアリマス、
何故ニ貸賃價格ニ改メラレタノデア
ルカ、私共ハ斯ウ云フ風ニ、無產階級者
ノ考ガ、少クトモ多少拗クレテ居ルト
云フ御考ヲ起サレルカモ知レマセス
ガ、斯ウモ考ヘテ居ル、今度ノ貸賃價
格ヲ下ゲラレタト云フノハ、地方々々
ニ於テハ小作爭議ガ隨分起ル、サウ云
フ場合ニ減額ヲシテ居ル、サウスルト
今後小作爭議ガ起ル場合ニハ、地主ガ
迷惑ヲスルダラウカラ、ソレデ貸賃價
格ヲ下ゲテヤラナケレバナラス、ソレ
デアアルカラ地價ヨリモ貸賃價格ガ宜
イデヤナイカト云フコトモ、此地價ヲ貸
賃價格ニ改メラレタル理由ノ一ツデハ
ナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、果シテサウデアアルカ、ナイカト云
フコトヲ御尋致シマス

○井上國務大臣 只今ノ御說ハ私不肖
ニシテ、始メテ耳ニ致シマス、左様ナ
コトハ毛頭此貸賃價格ニ改訂スル場
合ニナイノデアリマス、何故カナラバ
十年ニ一ニ遍宛貸賃價格ヲ調査シテ變
ヤウト云フノデアリマス、今年小作爭
議ガアッテ、貸賃價格ガ多少下リマシ
テモ、一遍臺帳ニ記載致シマシタ貸賃
價格ハ、十年程其儘デ續クノデアリマス、

ソレデアリマスカラ只今御示シノヤウ
ナ考ハ毛頭入ッテ居リマセス

○松谷委員 然ラバドウ云フ理由デ地
價ヲ賃貸價格ニ改メラレタノデアリマ
スカ、其點ヲ伺ヒタイ

○井上國務大臣 私ガ申上ゲテモ宜シ
ウゴザイマスガ、是マデ賃貸價格ニ改
メマシタ、ズット以前カラ數回議會ニ關
係ガアリマシテ、其理論ガ一定シテ居
ルヤウデアリマスカラ、二三點政府委
員カラ説明致サセマス

○松谷委員 要領ダゲ簡單デ宜シウゴ
ザイマス

○青木政府委員 成ベク簡單ニ致シマ
ス、地租ノ課稅標準ヲ賃貸價格ニ改メ
タト云フコトニ付テハ、ドウ云フ理由
デ賃貸價格ニ改メタカ、斯ウ云フ御質
問デアリマスガ、是ハ實ハ此賃貸價格
調査法ヲ議會ニ提案致シマシタ際ニ
申上ゲテ居ルノデアリマスガ、現行ノ
地價ヲ修正スルト云フコトモ一ツノ方
法デアルト考ヘマス、又收穫主義ヲ採
ルト云フコトモ一ツノ方法デアルト考
ヘタノデアリマス、ソレカラ賃貸價格
ニ依ルト云フコトト、三ツノ考ガアリ
マシタ、其他又議論ト致シマシテハ、
先般來問題ニナリマシタ純益ト云フヤ
ウナ問題モアルト思ヒマスガ、併ナガ
ラ日本ノ直接國稅ノ體系ニナッテ居リ
マス其中心ヲ爲ス所得稅ト云フモノ

ヲ、補完稅トシテ考ヘマスト云フト、
所得稅ト云フモノハ、其所得ニ依テ課
稅スルノデアリマスカラ、其所得稅ノ
缺陷ヲ補ウ所ノ補完稅タル地租ト致シ
マシテハ、所得ヲ標準ニ致サナイ方ガ
宜シイノデアアル、即チ言換ヘレバ純益
ヲ標準トシナイデ、純益ニアラザル所
ノ、言葉ニ少シ語弊ガアルカモ知レマ
セヌガ、收益ト云フ語モ使ヒ得ルト思
ヒマスガ、言換ヘレバ茲ニ言フ所ノ賃
貸價格ト云フモノヲ以テ課稅標準ニ
取ッテ、サウシテ所得ガアリマセヌデ
モ、賃貸價格ニ依テ課稅スルト云フ
ノガ、即チ賣買價格ニ依テ課稅スルヨ
リモ、又收穫ニ依テ課稅スルヨリモ是
ガ今日ニ於テ一番良イ方法デアルト考
ヘテ居ルノデス

○松谷委員 ドウモ良イ方法デアルト
考ヘタダケデ、根據ニナリマセヌガ、
尙ホ御尋ネ致シマス、此前ノ地價ト云
フノハ、主トシテ賣買價格ノ意味デア
タノデアリマスガ

○青木政府委員 御答致シマスガ、明
治初年ニ地價ヲ調べマシタ時ノ標準ト
云フモノハ、ドナタカラカモ御質問ガ
アリマシタガ、非常ニ綿密ナ計算ニナ
テ居リマスケレドモ、ヤハリ其根據トシ
テハ收穫ト云フモノヲ計算ニ入レテ居
リマス、サウシテソレカラ種々ナル差
引ヲ致シマシテ地價ヲ算出致シテ居リ

マス、ソレハ非常ニ複雑ナコトデアリ
マスガ、茲ニ其當時ノ報告書ガゴザイ
マスカラ、後デ御入用デゴザイマシタ
ナラバ御目ニ懸ケマス

○松谷委員 之ハ後ニ質問スベキコト
ニ根據ヲ持ツ譯デ、特ニ御聽シタイノデ
アリマス、此地價ト云フモノハ主トシテ
收穫ヲ算定ノ基礎ニシテ定メルト仰シ
ヤルナラバ、只今ノ所謂賃貸價格ト云
フモノモ、收穫ヲ基礎トスルヤウニ考
ヘルノデアリマスガ、其間ニドウ云フ
算定ノ違ヒガアリマスガ、簡單ニ一言
デ其理由ヲ御示シ願ヒタイ

○青木政府委員 是ハ相當複雑ナ問題
デアリマシテ、簡單ニ御答スルコトハ
非常ニ困難ナコトダト思ヒマスガ、若
シ簡單ニ申セト云フコトデアリマスレ
バ、或ハ十分盡サヌカモ知レマセヌガ
著シク違フ點ヲ申上ゲマシタナラバ、
其土地カラ生ジマス收穫ノ全部ヲ計算
ニ取ルコトニナリマス、ソレカラ賃貸
價格ト云フコトニナリマス、例ヘバ
小作ニ付シテ居ル場合ヲ考ヘマスト、
其收穫ノ全部デナイト云フコトハ極メ
テ明瞭デアリマス、言換ヘマスト、地
主ガ自ラ働カナクテモ取ル所ノ價格ガ
賃貸價格デアリマス、若シ收穫デア
ルト云フコトニナリマス、自分ガ働イ
テ居リマス場合、收穫ノ全部ヲ取ルト
云フコトモゴザイマセウ、併シ此場合

ハサウ云フ風ナ考ヘ方デハゴザイマセ
ヌノデ、詰リ勞力ト云フモノニ對スル
報酬ト云フモノハ、此賃貸價格ノ中ニ
入レテ考ヘテ居ラナイノデアリマ
ス、自作農デアリマシタナラバ、其收
穫ノ中ニハ勞力ニ對スル報酬ガ當然入
ルト思ヒマスガ、賃貸價格ト云フモノ
ハ、其勞力ニ對スル報酬ト云フコトヲ
考ヘナイ觀念デアリマス、ソレガ一番
著シキ點カト思ヒマス

○松谷委員 私ハ其質問スルノガ目
的デハアリマセヌノデ、大體承ッテ置ク
ダケニ致シマス、特ニ茲ニ私共ガ御尋
シタイノハ、此課稅標準及ビ稅率ノ改
正ニ依ル負擔ノ激變ヲ緩和スル爲メ、
新地租ガ現在地租ノ三倍八割ヲ越エル
土地ニ付テハ、三倍八割ヲ超過セザル
ヤウ、賃貸價格ヲ制限スルコトト云フ
地租改正ノ要綱ニナッテ居ルヤウデア
ル、サウ云フ風ニ此法文ノ上ニモ明カ
ニナッテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ
御尋スルノデアリマスガ、茲ニ表ヲ戴
イテ居ルノデアリマスガ、假リニ東京
ノ土地ニ付テ申シマスナラバ、先達テ
問題ニナリマシタ丸ノ内ノ東京驛前ノ、
俗ニ言フ三菱ヶ原デアリマス、是ハ今
マデハ恐クハ地價トシテ一圓内外ダト
記憶シテ居リマスガ、併シ之ニハ一坪
當リ地價十圓トナッテ居リマスケレド
モ、實際ハソレヲ越エテ居ル、總テノモ

ノヲ計算ナスッタラ斯ウナッテ居ルノダ
ト思フガ、ドウ云フ標準デ其地價ヤ賃
賃價格ヲ出サレタカ知ラヌケレドモ、
假リニ茲ニアルヤウニ十圓五十三錢デ
モ宜シウゴザイマス、アノ土地ハ賃賃
價格ニシテモ、地價ニシテモ、賣買價
格ニシテモ、恐クハ千圓以上デアル、
中ニハ一坪四千圓以上デ買ッタト云フ
人モアリマス、賃賃價格ニシテモ千圓
位ニナルダラウト思フ、所ガ實際ニ於
テハ此表ニ依ルト元ノ地價ガ十圓五十
三錢、現在ノ一坪當リノ賃賃價格ハ百
圓トナッテ居ルノデアリマス、ソコデ私
ハ此計算自身ガ非常ナ杜撰ナモノデ
アッテ、恐クハ賃賃價格百圓ナドト云フ
ヤウナコトハ絕對ニナイト考ヘテ居ル
ガ、ソレハ姑ク措イテ、此御提出ニナ
リマシタ賃賃價格表ヲ正當ナルモノト
假定致シマシテモ、三菱ケ原ガ十圓ノ
モノガ現在百圓ニ上ッテ居ル、サウスル
ト税金ハ此三倍八割、三十八圓シカ取
レヌデハナイカ、後ノ六十二圓ト云フ
モノハ、三菱ケ原ノ持主ハ他ノ人ニ比
較シテ大ナル利益ヲ受ケルコトニナ
ル、斯ウ云フ土地ノ上ツタモノ、賃賃價
格ノ上ツタモノニ對シテハ、結局此税金
ト云フモノハ大富豪擁護ノ制限デハナ
イカト考ヘテ居ル、ナゼ三倍八割ニ制
限セラレタカ、其根據ヲ伺ヒタイ

初ノ賃賃價格ノ調査ガ杜撰デアルト云
フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、私共
ハ杜撰ナモノデナイト思ッテ居リマス、
今御話ノ、賃賃價格ト云フコト、地價
ト云フコトハ勿論違フノデアリマス、
三千圓デ賣買ナスッタト云フコトデア
リマシテモ、百圓ガ惡イト云フ理由ニ
ハナラヌト思ッテ居リマス、ソコデ三倍
八割ノコトヲ申シマスガ、成程何等制
限ヲ付ケナイト云フノモノツノ考ヘ方
デアルト思ヒマス、東京市ノ郊外邊リ
ニナリマス、何等制限ヲ付シマセヌ
場合ニ於テハ十倍ニモナリ、二十倍ニ
モナッテ居ル所モゴザイマス、或ハ百倍
ニモナルト云フヤウナ話モ聞キマス
レドモ、ソレハ極ク例外デアリマスガ、
普通ノ場合デモ十倍二十倍ノ所ハアル
ト思ヒマス、ソレデ松谷サンノ仰セニ
ナルコトモ確ニ一ツノ考デアルト思ヒ
マスガ、又一方ニ於テハ、斯様ナ經濟
界ノ不況ノ際ニ於テ、假令租税ノ負擔
ノ公平ヲ得ルコトデアルトシテモ、増
税ニナルト云フコトハイカスデハナイ
カ、斯ウ云フ御説モ一方ニハ非常ニヤ
カマシク聞エテ居ルノデアリマス、私
共ハ此地租ノ改正ハ、負擔ノ均衡ヲ得
ル所以デアリマスカラ、一方ニ於テ増
税ニナルコトハ仕方ガナイ、或ハ當然
デアルトモ思ッテ居リマスケレドモ、ソ
レガ十倍、二十倍ニナルト云フヤウナ

コトハ、非常ニ急激ナ變化デアリマシ
テ、ヤハリ或ル程度ニ止メタ方ガ宜シ
イト云フ考カラ、三倍半乃至四倍位ニ
止メルノガ適當デアルト考ヘマシタ譯
デアリマス、尙ホ付加ヘテ申上ゲマス
コトハ、此三倍半ニ止メマス云フノ
ハ、此次ノ賃賃價格ノ改訂期マデノコ
トデアリマス、即チ昭和十三年マデノ
コトデアリマシテ、其後ニナリマシテ
モ、尙ホ三倍八割ヲ何時マデモヤッテ
行クト云フ趣旨デハゴザイマセヌ
○松谷委員 尙ホ今度賃賃價格ニ改メ
タコト、減税案ト一ツノ法律ニナッテ
居ルガ、先日御聽キシタ所ニ依ルト、
此賃賃價格ニ改メタコト、減税トハ
何等關係ハナイト承ッタヤウニ考ヘテ
居リマスガ、其通リ解釋シテ宜シウゴ
ザイマスカ
○青木政府委員 御答致シマス、賃賃
價格ニ改正ヲスルト云フコトハ、若槻
内閣時代カラノ計畫デアリマシテ、濱
口内閣成立ノ際ニ、直ニ其計畫ノ實行
ニ著手致シマシテ、解散ニナリマシタ
議會ニ於テハ既ニ地租法案ト云フモノ
モチヤント出來上ッテ居リマシタ、サ
ウシテ其稅率ハ百分ノ四・五ト云フコ
トデ、チャント地租法案ガ出來上ッテ
居リマシタガ、議會ガ解散ニナリマシ
タ爲ニ提出ニナリマセヌデシタ、其時
ニハ倫敦會議モ終了致シマス前デ、何

等減税ニハ關係ガナカッタノデアリマ
スカラ、是ハ二ツノ別ノコトデアリマ
ス
○松谷委員 ソレデハ尙御尋致シマス
ガ、是ハ要スルニ地價ガ上ッタトカ、地
租ガ上ッタ結果、税金ヲ澤山取ラレルノ
デアリマシテ、恐ラクハ地目變換ノ場
合モ私ハ當然デアラウト考ヘマスガ、
地目變換ノ如キ場合ニモ、今マデ沼地
トシテ稅ヲ納メテ居ッタ、ソレガ宅地ニ
ナッタ場合ニハ、ヤハリ急激ナル増稅
ノ結果ヲ見ルカラ、ソレハ可哀相ダカ
ラト云フノデ、ヤハリ三倍八割何カニ
今マデセラレテ居ッタカドウカト云フ
コトヲ御尋致シマス
○青木政府委員 御答致シマスガ、其
沼地ガ宅地ニナリマシタリ、サウ云フ
ヤウナ開墾若クハ地目變換ト云フ場合
ニ於テ、將來ドウスルカト云フ御尋デ
アリマスカ、過去ニドウデアッタト云フ
ノデスカ
○松谷委員 過去デヤアリマセヌ、ソ
レガ變換ニナッタ場合ニ、直ニ十圓ノモ
ノガ五十圓モ取ラレテハ可哀相デスカ
ラ、ヤハリ三倍八割デ止メルト云フ規
定ガアリマスカタ云フ御尋デアリマ
ス
○青木政府委員 三倍八割ニ止メルト
云フ規定ハアリマセヌ、併ナガラ一寸
申上ゲテ置カナクチャナリマセヌガ、

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、最

此貨賃價格ヲ定メマス時ニ、沼地ガ宅地ニナル、其時ニ稅務署デハ新ニ貨賃價格ヲ付ケナケレバナリマセヌ、其付ケマス時ニドウシテ付ケルカト申シマス、ヤハリ其近傍ノ類似シタル土地ノ貨賃價格ト云フモノヲ參考トシテ付ケナケレバ中々付ケ兼ルノデアリマスカラ、結局ニ於テハヤハリソレニ非常ナ不權衡

方ハ十倍ニモ二十倍ニモナルト云フヤウナ不權衡ナコトハ起ラスト思ヒマス
○松谷委員 是ハ甚ダ大富豪擁護ノ規定ダト私考ヘテ居リマス、先程カラ與黨ノ方ガ色々私ニ對シテ御注意モ御アリニナッタヤウニ考ヘマスガ、無産階級ヲ代表シテ居ル私共トシテハ、斯ウ云フコトガ一番重點ナノデアリマス、ソレデ立場々々ガ違ヒマスカラシテ、皆サンノ御意見ト或ハ全然反對カモ知レマセヌケレドモ、其點ハ私共皆サンノ御意見ヲ十分ニ尊重シ、敬意ヲ拂ツテ御聞キシタノデアリマシテ、質問ノ上手下手或ハ表現ノ方法ニ惡イ所ガアルカモ知レマセヌケレドモ、其邊ハ議事法ニモ慣レナイノデスカラ御容赦ヲ願ツテ置キマス、此三倍八割ト云フコトハ重要ナコトデアル、是ハ地目變換ノ場合ト何等異ラナイ、例ヘバ十圓デアッタ所ヲ三十八圓デ打切ルト云フ

ノハ——私ハ六大都市ノ此表ニアリマ
ス三菱ケ原ニ付テ特ニ申上ゲマスガ、アノ大富豪ヲ三倍八割ニ止メテ一坪ニ付テ六十圓ダケ儲ケサス必要ガ何處ニアリマスカ、急激ナル増稅ノ結果ヲ見ルカラ惡イト云フナラバ、是カラ地目變換ノ申請ナリ、何ナリヲ御ヤメニナツタラ宜シイ、今マデ安イ、不當ナ利益ヲシテ居ッタ、ソレデヤ他ノ者ニ不公平ダ、氣ノ毒ダカラ、ソレダケ餘計取ツテ公平ヲ保ツト云フ公平ノ觀念デドシドシヤラレタラ宜カラウト思フ、三菱ダケ可哀相ダカラ、公平ノ觀念ニ反スルガ氣ノ毒ダカラ稅ヲ取ラスト云フノハ私ハ大反對デス（ドウシテ三菱ダケ言フノダ）ト呼フ者アリ）私ハ此表ニア
ル、六大都市ノ中ノ麴町ト云フコトガ表ニ出テ居リマスカラ、便宜ノ爲ニ三菱ノコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、而モ東京驛前ノコトデアルト云フ、先達テノ御答辯ガアッタカラ、ソレデ聞イテ居ルノデアリマス、特ニ私ハ三菱ダケ引出シテ攻撃スル譯デヤアリマセヌ

トモ出來ルト云フ規定デヤアリマセヌカ、サウ云フコトニスルナラ、大キナ資本案ニ内閣ガ支配サレテ居ルト假定致シマス、是ハ假定デアリマスガ、サウ云フ人ダケハ稅金ヲ取ラヌ、サウシテ免稅ナリ、不公平ナコトヲドンクヤルコトハ、私ハ實例ヲ幾ラデモ知ツテ居リマスガ、サウ云フ柄ノ惡イコトハ私ハ言ヒマセヌ、表ニ現レタ所ダケニ止メテ、制限シテ聞キマスガ、三菱ニ對シ何故ニソシナニ遠慮シナケレバナラヌ必要ガアルカ、何故ニ斯ウ云フ規定ヲ置カナケレバナラヌノデアアルカ、地目變換ノ場合ト何處ニ違ガアルカト云フコトヲ御尋スル
○井上國務大臣 私カラ御答致シマスガ、松谷サンノ御取リニナッタ例——何萬坪、何十萬坪ノ地所ヲ持ツテ居ルコトヲ例ニ取ラレト、左様ナ必要モナイヤウナ御感ジガアリマセウガ、五十坪、百坪ト云フヤウナ宅地ヲ所有シテ居ル人ガ澤山アリマス、無産黨ノ見地カラ言ハレタナラバ、ソレモ財產ノ所有者デアリマセウガ、稅デアリマスカラ土地ノ所有者ト云フコトニ限ツテ議論ヲシテ居ルノデアリマス、サウ考ヘテ見マスト左様ナ小地主ガ三倍八割以上ノ稅ヲ急激ニ増加サレルト云フコトハ、國ガ稅ヲ取ル上カラ行キマシタナラバ、今度ノ十箇年間ハソレ位ノ所ニ緩

和シテ置イテヤルト云フコトガ、私ハ當然デヤナイカト斯ウ考ヘマス、アナタノヤウニ大キナ人バカリヲ例ニ取ラレルト、成ル程サウ響キマスケレドモ、必ズシモ大地主バカリデヤアリマセヌ、殊ニ郊外ニデモ御出デニナツテ御覽下サイ、郊外ガ一番急激ナ變化ヲシテ居リマスガ、左様ナ所ニ行キマシタナラバ、中産ト申シマスガ、所謂自立ヲシタ最モ國ノ中堅トナルベキ人ノ住宅地ト云フモノガ一番多イノデアリマスカラ、左様ナモノヲ例ニ取リマシタナラバ、私ガ申上ゲルコトモ一面カラ云ヘバ決シテ無理ノナイコトト考ヘテ居リマス

○松谷委員 大變事實ニ違ツテ居ルコトヲ私甚ダ遺憾ニ思ヒマス、何故カト云フナラバ、今マデ十倍ニ上ツテ居ル所ヲ十倍取ラナカッタコトハ今マデ脫稅ニナツテ居ルノデアリマス、公平ノ觀念カラ言フナラバ、取ルベキ所ヲ取ラナカッタノデアアルカラ政府ノ手續ノ間違デアッタ、脫稅ニナツテ居ッタカ何カ知ラヌガ、少クトモ少ク取ツテ居ッタ、今マデ不當ノ利得ヲシテ居ッタ、不當ノ利得ヲシテ居ッタモノヲ當リ前ニシナケレバナラヌ、不當ノ利得ヲシナイヨウニスルノガ、是コソ公平ノ觀念ニナラウカト考ヘルノデアリマス、デ只今三菱ト云フコトヲ申上ゲテ大變御氣ニ障ッタ

第五類第一號 地租法案（政府提出）外六件委員會會議錄 第十六回 昭和六年二月二十一日

一五

カ知レマセヌガ、是ハ取消シテ置キマシテ他ノ點ヲ申上ゲマスガ、他デモ二十坪、三十坪持ッテ居ル人デモ宜シウコザイマス、其土地ガ非常ニ繁華ニナッテ、地代ガ餘計ニ取レテ、今マデ坪五錢位ノ地代、二錢位ノ地代ガ五十錢、一圓取ッテ居ル、サウ云フ所ガ澤山アリマス、ソレナラバ税モソレニ比較シテ取ルノデアルカラ、少シモ不公平ナ觀念モ何モナイデヤアリマセヌカ、サウ云フ所ニ遠慮ナサルト云フノガ大體私ハヲカシイト思フ、サウ云フ御遠慮ハナサラヌデ、今迄一坪二錢シカ地代ヲ取ッテ居ラスモノガ五十錢ノ地代ヲ取ッテ居ルナラバ、五十錢ニシテ戴キタイ、サウスルノガ公平ノ觀念デアリマス、若シサウ云フコトガ惡イト云フナラバ、地目變換ヲナス場合ニ、例ヘバ今マデ沼デアッタ、沼デハ安過ギタケレドモ、今度ハ宅地ニシタ、アレモ可哀サウダカラ十年ダケ負ケテヤッタ宜イト云フ御議論ヲ何故アノ場合取ラレナカッタカ、少クトモ是ハ大キナ目カラ見テモ

意ニシテアルノデハナカラウカ、此點ヲモ併セテ今一應御尋シマス、稅務官吏ハ一割デモ宜シイト云フ見解ヲ取リ得ルノデアルカ、三倍八割ニ必ズシナケレバナラヌノデアルカ、其點ヲモ明確ニシテ置キタイカラ御尋シマス

○青木政府委員 三倍八割ヲ超過セザルヤウ賃賃價格ヲ定ムト云フノハ、必ズ三倍八割ニスルト、斯ウ云フコトデアリマス(松谷委員「ソレハ間違ヒアリマセヌカ」ト呼フ)ソレハ決シテ間違ヒアリマセヌ、尙ホ地目變換ノ時ニハ減租年率ト云フモノヲ與ヘルコトニナッテ居リマス

○永田委員 一寸今ノ問題ニ付テ今ノ青木サンノ御話ハ少シ私腑ニ落チナイ、今度ノ十年間ハ三倍八割デ押ヘテ居ルガ、此次ノ賃賃價格ヲ査定スル場合ニハ全然サウ云フコトハ見ナイ積リデアルカ、無論其時分ニハ政府モ更リマセウ、誰ガ出ルカ分ラヌ、變化ハアリマセウガ、今ノアナタノ御意見ハ、サウ云フコトヲハッキリ仰シヤラレタガ、是ハ私中々重大ナル問題デアルト思フ、今松谷君ノ仰シヤルヤウナ御意見ダト云フト、土地ト云フモノハ一人ノ人が安カッタモノヲ高クナルマデ持ッテ居ッテ、サウシテエラク儲ケタカラ、斯ウ云フ風ニ御觀察ニナッテ居リマスケレドモ、地所ナント云フモノハ毎

日動イテ居ル、故ニ昔ハ十圓ダッタガ今ハ一萬圓ダト言ッテモ、現ニ一萬圓デ其人ハ買ッテ居ル、少シモ儲ケテハ居ラス、儲ケタ人ハモウ逃ゲテシマッテ居ル場合ガ幾ラモアル、決シテ其人ガ一人利得シテ居ル譯デナイ、從ッテ今マデノ稅率ガ、斯ウ云フ賃賃價格ノ變化ニ依ッテ三倍八割位ニナルコトハ、先ヅ是ハ已ムヲ得ヌトシマシテモ、是ガ十年後ニナレバイキナリ十倍ニナル、或ハ百倍ニナル、賃賃價格ニ制限ヲ設ケズニ行ッテシマフノダト、斯ウ云フコトニナレバ、今後市街地ナドニ土地ヲ持ッコトハ非常ナ危險ヲ感ズルト私ハ思ヒマス、殆ド地所ノ動キト云フモノハナクナッテシマフ、是ハ大問題デアリマスカラモウ一度伺ッテ置キマス

○青木政府委員 御答致シマス、私ノ申上ゲ方ガ少シ惡カッタカモ知レマセヌガ、此地租法ヲ作リマス時ニ、十年毎ノ改訂期ニ於テ如何ナル事ヲスルカト云フコトヲ地租法ニ書カウカ書クマアカト云フコトハ色々考慮致シタノデアリマス、併ナガラ是ハ十年先キノコトデアリマスカラ、モウ一ツニハ十年先キト云ヒマスガ、今度ハ昭和十三年ニ於テ賃賃價格ノ改調ヲ致シマス時ニハ、ドウシテモ先例ノヤウニ議會ニ法律案ヲ提出シナケレバナリマセヌ、ソレデアリマスカラ十年先ニ賃賃價格ヲ改調致シマス場合ニ於テ如何ナル主義方針デヤルカト云フコトニ付テハ、新地租法ニ何等ノ規定ガアリマセヌ、隨テ其時ニナッテ三倍八割ト云フ制限ヲセラレマスカ、或ハ此前明治四十三年ノ宅地價修正ノ時ニハ、先同御答致シマシヤウニ二倍二割五分ト云フ制限ヲ致シマシタ、詰リ其時ニ至ッテ如何ナル制限ヲスルカ、或ハ又其時ノ政府ノ考ガドウ云フ風ニナリマスガ、ソレハ今日カラハ全ク申上ゲルコトガ出來マセヌト云フ私ノ御答辯ノ意味デアリマス

○永田委員 先程ノ青木君ノ御話ハ、少シ言葉ガ足ラナカッタト云フ御話デアッテ、御取消ノヤウデスカラ、ソレナラバ承知致シマシタ、此政府ガサウ云フ事ヲ考ヘテ居ルト云フコトヲ中外ニ御發表ナサルコトハ私トシテハ御取消ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松谷委員 ソレカラ尙ホ念ノ爲ニ御聽キシテ置クノデアリマスケレドモ、三倍八割以下ニ制限スルノデハナイ、三倍八割デキツカリキメルト云フ御答辯ノヤウニ聞キマシタガ、ソレハ尙ホモウ一應念ノ爲ニ聞イテ置キマスガ、間違アリマセヌカ

○青木政府委員 ソレハ法律ノ條文ヲ、私共ハ左様ナ意味デアルト解シテ居リマスノデ……

○青木政府委員 ソレハ法律ノ條文ヲ、私共ハ左様ナ意味デアルト解シテ居リマスノデ……

大藏大臣ノ仰シヤル通り、是ハ三菱バカリ目ヲ著ケテハイケンナイ、大キク見ヨト云フカラ、大キク見テモ結局同ジ理窟ニナリハシナイカ、況ヤ三倍八割ヲ超過セザルヤウニト云フコトハ、三倍八割ニ限ッテ譯デナイ、一割ダケ上ゲテモ宜シイト云フ稅務官吏ノ任

意ニシテアルノデハナカラウカ、此點ヲモ併セテ今一應御尋シマス、稅務官吏ハ一割デモ宜シイト云フ見解ヲ取リ得ルノデアルカ、三倍八割ニ必ズシナケレバナラヌノデアルカ、其點ヲモ明確ニシテ置キタイカラ御尋シマス

○青木政府委員 御答致シマス、私ノ申上ゲ方ガ少シ惡カッタカモ知レマセヌガ、此地租法ヲ作リマス時ニ、十年毎ノ改訂期ニ於テ如何ナル事ヲスルカト云フコトヲ地租法ニ書カウカ書クマアカト云フコトハ色々考慮致シタノデアリマス、併ナガラ是ハ十年先キノコトデアリマスカラ、モウ一ツニハ十年先キト云ヒマスガ、今度ハ昭和十三年ニ於テ賃賃價格ノ改調ヲ致シマス時ニハ、ドウシテモ先例ノヤウニ議會ニ法律案ヲ提出シナケレバナリマセヌ、ソレデアリマスカラ十年先ニ賃賃價格ヲ改調致シマス場合ニ於テ如何ナル主義方針デヤルカト云フコトニ付テハ、新地租法ニ何等ノ規定ガアリマセヌ、隨テ其時ニナッテ三倍八割ト云フ制限ヲセラレマスカ、或ハ此前明治四十三年ノ宅地價修正ノ時ニハ、先同御答致シマシヤウニ二倍二割五分ト云フ制限ヲ致シマシタ、詰リ其時ニ至ッテ如何ナル制限ヲスルカ、或ハ又其時ノ政府ノ考ガドウ云フ風ニナリマスガ、ソレハ今日カラハ全ク申上ゲルコトガ出來マセヌト云フ私ノ御答辯ノ意味デアリマス

○永田委員 先程ノ青木君ノ御話ハ、少シ言葉ガ足ラナカッタト云フ御話デアッテ、御取消ノヤウデスカラ、ソレナラバ承知致シマシタ、此政府ガサウ云フ事ヲ考ヘテ居ルト云フコトヲ中外ニ御發表ナサルコトハ私トシテハ御取消ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松谷委員 ソレハ何條デスカ

○青木政府委員 九十二條デアリマ

ス「賃賃價格調査法ニ依リ賃賃價格ノ
調査ヲ爲シタル土地ニ付テハ同法ニ依

リ調査シタル賃賃價格ヲ以テ本法施行
ノ際ニ於ケル賃賃價格トス但シ其賃賃

價格ニ依リ算出シタル本法ノ地租額ガ
從前ノ地價ニ依リ算出シタル舊法ノ地

租額ノ三倍八割ヲ超ユル土地ニ在リテ
ハ舊法ノ地租額ノ三倍八割ニ相當スル

金額ヲ百分ノ三・八ヲ以テ除シタル金
額ヲ以テ其ノ賃賃價格トス」トアリマ

スカラ、法文トシテハ明瞭デアルト思
ヒマス

○松谷委員 其點ハ大分政府ノ所見ト

私共ハ異ツテ居ル、甚ダハ不公平ナル

税ノ取り方デアル、就中十年目ニハ變

ヘテ、元ノ通りニスルト言ハレマシタ

ガ、十年目ニハ元ノ通りニスルノデア

ルカ、ソレトモ其時ニ更ニ幾ラカノ制

限ヲスルヤウニナルノデアリマスカ、
其點ヲ明ニシテ置キタイ

ヲ附ケルトスレバ何倍ノ制限ヲ附ケル
カト云フコトハ、其時ニキメルノデア

リマス、今日ニ於テハ全ク未定ナ事實
デアリマス

○松谷委員 先程ノ御答辯ト違ッタノ

デアリマシテ、是レ亦私ハ甚ダ遺憾ニ

思フノデアリマス、一體今マデ不公平

ニ、他人ニ對シテハ十取ルモノヲ三・八

シカ取ラナイデ置イテ、散々儲ケサセ

タ揚句ニ、更ニ十年經ツテ又其時ニハ考

ヘテヤルノダ、ドコマデ行ツテモ三井三

菱ノヤウナ富豪ハ非常ナ利得ヲスル

コトニナル、ソレデモヤハリ公平ノ觀

念ニ反シナイト御考ヘナノデアリマス
カ、其點ヲ伺ヒマス

○井上國務大臣 只今申シタ如ク、其

時ニキメルノデアリマス、其時ニ又再

ビ經濟界ノ狀態ニ依ツテハ、或ハ三倍八

割ト云ヒマスカ、前ノ如ク二倍二割五

分ト云ヒマスカ、ドウ云フ所ニキメル

カ、或ハ全ク制限ナシニスルカト云フ

コトハ、其時ニキメマス、調査致シマ

スノニモ、議會ニ提出シテ豫算ヲ貫ッ

テ、此調査ニモ千萬圓ノ金ヲ使ツタノデ

アリマスカ、サウ云フコトヲ致シマス

ノデアリマス、其時ノ時代ニ依ツテキ

メルノガ適當ト思ヒマシテ、今日ハ何

等ノ事モキマツテ居リマセヌ

○松谷委員 大分觀念ガ混ガラガッテ

居ルヤウデアリマスカ、私ノ申上ゲタ

ノハ、其時ニ至ツテ土地ノ狀況ガ變ツテ

居ルカラシテ、ソレデ判斷スルト云フ

ノナラバソレモ宜シイト思フノデス、

併ナガラ三倍八割ト云フモノハ、ズット

其時モクツ付イテ歩クノカ歩カヌノカ

ト云フコトヲ御尋シテ居ル、土地ノ上

リ下リハ別デアリマス、土地ノ上リ下

リハ上ツタヤツモアルシ、下ツタヤツモ

アリマセウガ、下ツタヤツモ三倍八割ト

ズット行クノカ、ソレトモドウナルノデ

アラウカト云フコトヲ聞イテ居ルノデ

アリマス

○井上國務大臣 其ガ説明致シマス

ガ、賃賃價格ヲ調査致シマシテ、ソレ

ガ三倍八割以前ノモノト比較シテ、三

倍八割以上デアリマスト、三倍八割ニ

止メテ、サウシテ土地臺帳ニ記錄致シ

マス、サウスルトソレガ賃賃價格ニナ

リマスカラ、今度十年目ニソレヲ調査

スル時ハソレガ本ニナルノデアリマ

ス、其モノガ元ノ三倍八割ニナツタト

カ何トカ云フコトハ、全ク過去ノ歴史

デアリマス、即チ土地臺帳ニ書イタモ

ノガ其時ノ賃賃價格ニナルノデアリマ

ス

○松谷委員 サウスルト、十年後ニハ

更ニ調査スルト云フコトデアリマシ

テ、此法律ハ十年モ百年モ恐ラクハ適

用スル法律ダラウト思フ、サウスルト

假ニ三菱ノ土地ガ今百圓ニナツテ居ル、

其時デモ、此土地ノ賃賃價格ト云フモ

ノハ三十八圓ニナツテ居ル、斯ウ見テ宜

シイカ

○井上國務大臣 左様デス

○松谷委員 サウスルトヤハリ十年後

ニモ九十二條ガ適用セラルノカドウカ

ト云フコトヲ聞イテ居ルノデス

○井上國務大臣 今政府委員カラ、三

倍八割ニ相當シタ時ノ數字ノ計算ヲ一

ツ説明致サセマセウ

○青木政府委員 御答致シマス、此九

十二條ト云フノハ、是ハ本法ノ附則デ

ゴザイマシテ、御承知ノ通り本法施行

ノ際ニハ三倍八割ニ止メタモノヲ以テ

賃賃價格トスルト云フノデアリマス、

所ガ昭和十三年マデ參リマス間ニハ、

地租ノ稅率モ或ハ改正ガアルカモ知レ

マセヌガ、サウ致シマスト、今日三倍

八割ト云フコトハ租稅ノ額デ言フノデ

アリマス、其處ヲ誤解爲サライヤウ

ニ——昭和十三年ニ至ツテ賃賃價格ヲ

調査致シマスノハ、今日ノ三倍八割ニ

止メタ賃賃價格トハ全ク別ノ御破算

デ、新ニ賃賃價格ヲ調ベル、デスカラ

其時ニ新ニ調ベタ賃賃價格ヲ如何ニ制

限スルカト云フコトハ、今日全ク未定

デアリマシテ、今日三倍八割ニ止メラ

レテ居ル賃賃價格ハ、十三年ニ調ベル

時ニ賃賃價格ヲ制限シタリ、減稅シタ

リシナイノデアリマス

○松谷委員 少クトモ斯ウ云フ規定ノ

アルト云フコトハ甚ダ遺憾ニ思フト云
フコトヲ申上ゲテ、幾ラ聽イテ居ッテモ
同ジコトデアリマスカラ、其點ハ宜シ
イ、ソレカラ次ニ私ハ御尋致シマス、
此自作農地ノ免稅點ノ問題デアリマス
ガ、二百圓以下ノ自作農地ノ賃賃價格
ヲ免除セラレタル理由ハ如何ナル譯デ
アリマスカ

○青木政府委員 御答致シマス、此自

作農ノ免稅規定ガアリマスノハ、是ハ
現行法ニ於テモゴザイマスガ、是ハ自
作農ヲ獎勵スルト云フ趣旨カラ、茲ニ
免稅ノ規定ガアルノデアリマス

○松谷委員 然ラバ是ハ自作農ノ獎勵

ノ爲ダケデスカ、他ニ何等理ハナイノ
デスカ

○井上國務大臣 サウデス

○松谷委員 然ラバ御尋致シマスガ、

今回ノ減稅ヲセラレタル所ノ趣旨、就
中地租ヲ選バレタル趣旨ト云フモノ
ハ、先程モ大藏大臣カラノ御説明ニモ
アッタ如ク、非常ニ農村ガ疲弊シテ居
ル、サウ云フ點ヲモ考慮シテ減稅ヲシ
タノデアアル、斯ウ云フ御話デアッタノ
デアリマス、若シ果シテ然ラバ、現在
ニ於テ一番農村ガ疲弊シテ居ルト云フ
ノハ小農デアリマス、就中二十錢未満、
少クトモ一圓未満ノ稅金ヲ納メル人ニ
對シテハ、私ハ農村ニ於ケル一番疲弊

ノドシ底ニ居ル人ト考ヘテ宜カラウト

思フ、ソレデアリマスカラ、斯ウ云フ
人ニ對シテハ農村ノ窮乏ヲ打破シ、之
ヲ救済スルト云フ目的デアラナラバ、
少クトモ一圓以下位ノ納稅者ニ對シテ
之ヲ免稅シテヤルノガ最モ適當デハナ
カラウカ、私ハ先達テ昭和五年度末、
若クハ昭和六年度ノ初メニ於ケル所ノ
納稅人員ノ御調ヲ願ッテ置イタソレニ
依リマス、少クトモ一圓以下ノ納稅
ヲヤツテ居ル人ガ、約五百萬人アルノデ
アリマス、是等ノ如キハ實ニ窮乏ノド
ン底ニ在ル人ダト私ハ考ヘテ居リマス、
斯ウ云フ人達ニ之ヲ免稅スル考ガアリ
マセヌカドウカ、其點ヲ御尋致シマス、
是ハ根本政策ニ關スルコトデアリマス
カラ、一寸大臣ニ御願ヲ致シマス

○井上國務大臣 今ノ地租法ト云フモ

ノ、性質カラ論ジマシテ、稅ヲ納メル
人ト云フコトデナシニ、地租法ハ其土
地ト云フモノニ付テ稅ヲ取ルノデアリ
マスカラ、必ズシモ松谷サンノ言フヤ
ウニハ、地租法ト云フモノハ昔カラサ
ウ云フ風ニ出來テ居ラスノデアリマ
ス、今ノ免稅點ニ致シマシテモ、營業
收益稅ノ免稅點ト違ヒマシテ、自作農
ヲ獎勵スル爲ニ免稅點ヲ置イタノデア
リマス

○松谷委員 然ラバ御尋致シマスガ、

營業收益稅ニ付テ、免稅點ヲ置カレタ
理由ヲ一寸御尋シマス

○青木政府委員 御答致シマス、此營

業收益稅ノ免稅點ト云フコトデアリ
マスガ、是ハ御承知ノ通り營業收益稅
ハ純益四百圓以上ノモノニ對シテ國家
ガ稅ヲ取ルノデアリマシテ、其四百圓
以下ノ階級ハ、府縣デ營業稅ヲ取ルノ
デゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ、
國民負擔ノ關係カラ申シマス、小營
業者デアリマシテ、純益四百圓以下ノ
モノハ何等稅ヲ負擔シテ居ラヌト云
フヤウナ關係デハアリマセヌ、詰リ中
央ト地方トノ間ニ於ケル財源ヲ分ケル
爲ノ方法デアリマスカラ、ソレハ國稅
ノ方デ四百圓トキメテ居リマスノハ、
別段ソレ以下ノモノハ擔稅力ガナイカ
ラ、稅ヲ取ラナイト云フヤウナ趣旨デ、
稅ヲキメテ居ル譯デハナイノデアリマ
ス

○松谷委員 私ハ豫備知識ガナイノデ

甚ダ御氣ノ毒デアリマスガ、御教ヲ受
ケル意味ニ於テモウツ御伺シタイ、
サウスルト四百圓以下ハ縣デハ營業收
益稅ハ取ッテ居ラスノデアリマス、
○青木政府委員 營業收益稅ニ對シマ
シテハ、縣ノ方デ附加稅ヲ取り、又市
町村デ附加稅ヲ取りマス、所ガ純益四
百圓以下ノモノハ、府縣稅ヲ取り又ソ
レニ對シテ市町村ガ附加稅ヲ取ルト云
フコトニナリマス

○松谷委員 私ハ少クトモ四百圓以上

ニ付テ附加稅ヲ取り、四百圓以下ニ付
テ府縣稅ヲ取り、町村デハ兩方トモ附
加稅ヲ取ッテ居ルト心得テ居ル、何レニ
シマシテモ四百圓以下ハ國稅ヲ取ラス
デ居ルコトハ事實デアリマス、縣稅デ
取ルノハ四百圓以下モ皆同ジデ、唯本
稅ガナイカラ附加稅ト云フ名目ガ付カ
ヌダケデハアリマセヌカ、サウ云フ胡
麻化シデナクモウ少シ親切ナ御答辯ヲ
願ヒタイノデアリマス

○青木政府委員 松谷サンハ斯ウ云フ

風ニ御考ヘニナツテ居ルダラウト思ヒ
マス、四百圓以下ノ階級ハ國稅ハ取ラ
ナイデ、府縣稅ダケ取ラレルカラ、ソ
レデ四百圓以下ノ階級ノ負擔ガ非常ニ
輕クテ假令府縣稅、ソレニ對スル市町
村附加稅ヲ取ラレテモ非常ニ負擔ガ輕
クテ、四百圓以上ノ階級ハ非常ニ負擔
ガ重クナツテ居ル、斯ウ云フ風ニ御考ヘ
ニナツテ居ルデヤナイカト思ヒマス、所
ガ實際ハサウナツテ居ラスノデアリマ
ス、ソレハ私ガ胡麻化シデナイト云
フコトヲ明カニスル爲ニ、數字ヲ私ハ
申上ゲマスガ、例ヘバ東京市ヲ御考ヘ
ニナルト分リマス、東京市ニ於テハ國
稅、營業收益稅ノ附加稅ト致シマシテ、
色々ノ方面カラ取ッテ居リマスガ、要ス
ルニ本稅一圓ニ付テ七十六錢ヲ取ッテ
居ルノデアリマス、ソレカラ東京府ハ

同ジモノニ對シテハハリ五十九錢取ッテ居リマス、是ハ昭和五年度ノ調デアリマス、ソレデ東京市ニ於テ國稅營業收益稅ヲ納メル人ハ一圓ニ付テノ府稅ト、サウシテ東京市稅ト合計シテ一圓三十五錢ヲ負擔シテ居ル、サウスルト少クトモ私ノ問ハント欲スル所ハ、多岐路ヘハイリマシタカラ、本論ニ戻リマスガ、一圓以下ノ納稅者ガ約五百萬人カラ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ農村窮乏打破ト云フコトヲ看板ニ掲ゲラレテ、サウシテ、租稅ヲ免ゼラル、以上ハ、斯ウ云フ些細ナ、本當ニ其日ノ暮シニ困ッテ居ル者ニ對シテハ、社會政策ノ意味カラ致シマシテモ、是ハ免稅シテヤッタ方ガ宜イデハナイカ、又現内閣ノ屢々聲明セラレタル農村窮乏打破ノ趣旨ニモ適ヒハシマセヌガ、斯ウ云フ御尋ラスルノデアリマス

○井上國務大臣 私ガ申ス通り此稅ハ土地ニ食付イタ稅デアル、假ニ茲ニ一圓ノ稅ヲ納メル者ガアリマシテモ、其土地ノ所有ガ他ノ多勢ノ者ニ移リマシテモ、移ラナクテモ、土地ハ土地トシテ同ジ稅デアリマスカラ他ノ稅トハ違フノデアリマス

○松谷委員 自作農ニ對シテハ免稅ニナッテ居ルノハ自作農ヲ獎勵スル爲ダト仰シヤッテ居ルガ、ヤハリ是モ一ツノ社會政策ノ現レダト私ハ考ヘテ居ル、

稅法自身カラノミ言フナラバ、ヤハリスルコトガ出來ルト云フナラバ、宜シク之ヲ加味シテ戴イタナラバドウデアラウカ、何故カト申スト、二十錢以下ノ地租ノ納稅者ハドレダケアルカト云フト、二百四十七萬五千三百三十四人、二十錢以上ガ百二十八萬二千六百九十四人、五十錢以上ガ百四十一萬四千八百六人、之ヲ加ヘマス約五百萬人居ルノデアリマス、サウシテ總テノ納稅者ガドレダケ居ルカト云フナラバ、地租ノ納稅者ハ千萬人デアリマス、恰度其半分ニ當ッテ居ルノデアリマス、サウシテ就中此二十錢以下ノ稅金ニ對シテ、今度ノ減稅ガドレダケニナルカト云フト、タッタ一割五分五厘デアリマスルカラ、二十錢未滿ノモノニ對シテ、假ニ二十錢ニシテモ、三錢シカ減稅ニナッテ居ラスノデアリマス、ソレカラ一圓トシテモ十五錢シカ減稅ニナラスノデアリマス、是デハ農村窮乏打破ノ爲ニ、地租ヲ減輕スルナド、云フコトハ、恐ラクハ何等ノ效果ノナイ、所謂羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルトデモ申シマセウカ、全ク綺麗ナモノヲ見セルダケノ話デ、二十錢稅金ヲ納メテ居ル人ニ、三錢ヅ、マケテヤッテモ、ソレデハ農村窮乏打破ニモ何ニモナラナイト私ハ思フ、一圓納メル人ニ、一年二十五錢、一月ニ約一錢下ゲテヤッテモ、農村窮乏打破ニモ何ニモナッタモノデハナイ、ソ

レヨリモ寧ろ私ハ斯ウ云フ一圓以下ノ納税者ヲ、全部免税シテヤツテモ、幾ラモ金ガ掛ラナイ、是ハ細カイ計算ガアリマセスガ、私共ノ計算デハ、一圓以下ノ納税者ヲ全部免除シテヤツテモ、七百七十五萬圓、全部免税シテヤツテモ、タツタソレダケシカナラナイ、況ヤ地租ヲ御取リニナルニハ、相當ニ手續ガ掛ルダラウト私ハ思フ、一千萬人ノ所謂納税者ニ、二十錢デモ、一枚々々配付ヲヤツテ、サウシテ取立テル、金ヲ役場ヘ持つテ行ク費用、役場カラ取リニ行ク費用、ソレカラ又納メナイ時ニハ執行モヤラナケレバナラナイ、サウ云フヤウナ譯デ、二十錢ヲ取ル爲ニ五十錢位私ハ掛ル場合ガアラウト思フ、ソレヨリモ一圓以下ノ者ニ對シテ免税ヲセラレルコトガ、社會政策ノ上カラ最モ宜シイ事デアアルノミナラズ、税ヲ取立テル費用ノコトヲ考ヘラレルナラバ、私ハ二十錢以下ノ税金ヲ納メル者カラ取ル金ハ極メテ少ナカラウト思フ、寧ろ斯ウ云フモノヲ免税シテヤルコトガ、社會政策ノ上カラ見テモ、徵税ノ困難ヲ避ケル上カラ見テモ、最モ適當ノヤウニ考ヘルガ、政府ニ於テ今一應御考慮ヲ拂ッテ戴ク御考ガ有ルカ無イカト云フコトヲ、大臣カラ御聽シテ置キタイト思ヒマス

○井上國務大臣 御答致シマスガ、若

シ田地畑ヲ持つテ居ル人ガ、自作農者デアリマスルナラバ、大體斯ウ云フ税ハ皆免除サレテシマツテ居ルノデアリマス、併ナガラ僅ナ田地畑ヲ持つテ居ル人、必ズシモアナタノ言フ如ク窮乏シタ人デモアリマセス、其處ニ事情ガ非常ニ違ヒマス、田地ヲ持つテ居ル人、僅ナ税ヲ納メル其人ガ、必ズシモ窮迫シテ居ル人デナイ、農村ニ居ッテ自作農デアアルナラバ皆免除サレテ居ルノデアリマス、ソコデ茲ニ調査シタモノガアリマスカラ、ドンナ風ニナツテ居リマスカ能ク分ルト思ヒマスカラ、政府委員カラ一應事情ヲ申上ゲサセマス

○青木政府委員 御答致シマス、松谷サンハ私ノ方カラ出シマシタ所ノ二百四十七萬圓ト云フヤウナ數字ヲ御取リニナリマシテ、サウシテ免税ヲスルコトガ即チ社會政策デアアルト云フコトヲ仰セニナリマスガ、是ハ全ク手續上ノコトデアリマスケレドモ、地租ト云フモノハ、御承知ノヤウニ、一町村毎ニ名寄帳ト云フモノヲ設ケテ、其數字ヲ取ツテ居ルノデアリマス、ソコデ非常ニ大キナ富豪ノアル村ニ於テ、小サイ所ノ例ヘバ別荘デモ家宅デモ持つテ居ルト云フコトガアリマシテモ、一町村毎ニ名寄帳ニ依ッテ取ツテ居ルノデアリマスカラ、此御目ニカケマシタ表ノ中ノヤハリ一圓未滿ノ地租ヲ納メル者ト云

フモノ、中ニハイッテ居リマス、ソコデ更ニ言換ヘレバ、ソレハ日本全國ヲ綜合シテ、一町村毎デナシニ、日本全國ヲ綜合シテ、サウシテ地租ヲ取レバ、アナタノ仰セニナル目的ガ達セラルルヤウデアリマスガ、ソレハ又議論ニナルカモ知レマセスガ、日本全國ヲ綜合スルト云フコトハ、到底今日デハ言フベクシテ行ハレナイ事デアラウト思ヒマス、ソレカラ尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、此一圓未滿ノ地租ノ納税者ト云フノハ、多クハ山林原野デアアル、其事ヲ御含ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松谷委員 私ハ政府ノ御説明ニ付テハ稍、満足シタ次第デアリマスケレドモ、果シテ一圓以下ハ山林田畑デアルト云フコトハ、モウ少シ御調査ノ材料ヲ戴カンケレバ、ソレヲ首肯スルコトガ出來ナイ、併ナガラ此半數ノ五百萬人ガ殆ド山林田畑ト云フヤウナコトハ、私ハ何處ヲ突付イテモ、サウ云フ言分ハ出ナイト思フ、全ク此一千萬人ノ納税者ノ中五百萬人ガ山林田畑ヲ持つテ居ル、私ハドウ考ヘテモサウ云フ結論ガ出ナイヤウニ思フ、併ナガラ政府ニ於テサウデアアルト言ヘルナラバ、私材料ヲ持つテ居レマセスカラシテ、此點ハ是デ打切ッテ置キマス、少クトモモウ少シ親切味ト、ソレカラ無産階級ノド

ウシタナラバ税金ヲ免除スルコトガ出來テ、又社會政策ニ適合スルカト云フコトヲ、十分御考ヘ置キヲ願ヒタイ、私ハ附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、私ハ別荘ヲ持つテ居ル人ニ對シテ、免税シヤウト言フノデアリマセス、其點モ十分今マデノ質問應答デ御分リニナツテ居ルコト、思ヒマスカラ、其點ハ重ネテ申シマセス

更ニ私ハ次ノ質問ニ進ミタイト考ヘマス、私ノ質問ハアトデ色々整理ヲシマシテ、モウ一二點アルノデアリマスカレドモ、先程ノ御答辯ノ結果モウ少シ調べタイ事モアルノデアリマスカラシテ、少シク保留シテ置キマスガ、少クトモ私ハ斯ウ云フ事ダケヲ政府ニ於テ十分御考慮ノ中ニ入レテ置イテ戴キタイ、ト云フノハ少クトモ現在ノ世ノ中ヲモウ少シ私ハ考ヘテ見タイ、現ニ親子心中、サウシテ親ノ道伴レニ子供ガ伴レテ行カレル人間ダケデモ、其數ヲ先達テノ新聞デ見マスト一年間ニ三百八十九件アリマシテ、子供ノ數ハ五百六十九人、ソレヲ合セマスト千三百十人カラ親子心中ガ、現在ノ世ノ中ニ在ル、サウシテ之ヲ年齡別ニスルト、五六歳マデノ可愛イ盛りノ者ヲ一番殺シテ居ル、ソレハ親ノ手デ容易ニ殺セルカラデアアル、而モ其動機ノ原因ハ、生活難ガ多イ、就中小作農ヤ職工、自

由労働者等ノ生活ニ困難シテ居ル者ガ最モ多イ、是ハ昭代ノ不祥事之ニ過ギルモノガナイト私ハ思ッテ居ル、今少シク此爲政者トシテ、大藏大臣ダケニ私ハ申上ゲル譯デハアリマセヌガ、内閣全般ト致サレマシテモ斯ウ云フ不祥事——恐ラクハ昔ハ一人アッテモ大變ナ騷デアル、ソレガ三百何件、其道伴ヲシテ死ンデ行ク人間ガ一千人カラ居ル、ソレガ小作農ヤ、職工ガ多數ヲ占メテ居ル、此點ナドニモ御留意下サイマシテ、政治ノ要諦ハ最大多數ノ最大幸福ヲ圖ルニアラウト思フ、三井、三菱或ハ其他ノ大富豪ノ幸福バカリ圖ルノガ私ハ政治デハナイト思フ、今ノ政治ハ少クトモ跛ニ出來テ居ルト思フ、斯ウ云フ點ヲ御考慮ノ中ニ入レテ戴イテ、モウ少シ社會政策的ノ事ヲ、減稅案ナリ、總テノ政策ノ上ニ十分加味セラレシコトヲ申添ヘテ置キマス、尙ホ二三速記録ナドヲ調査致シタイト思ヒマスカラ、私ノ質問ダケハ一寸留保サセテ戴キマス

○高橋委員 農林省カラ來テ居リマスガ、大藏大臣ガ御差支デセウカラ、大藏大臣ニ對スル質問ヲ先ニ始メテ、農林省ハ後廻シニ致シマス
○本田委員長 宜シウゴザイマス
○高橋委員 質問ニ入ルニ先ダチマシテ、五年度ノ豫算ノ純計ヲ頂戴致シタイノデアリマスガ、一般會計、特別會計ニ互ツタソレ等ノ狀態ヲ承知致シマセヌト、審議上非常ニ差支ガアリマスカラ、是非共頂戴致シタイトデアリマセヌガ、五年度ノ豫算ハ御承知ノ通り色色複雑致シテ居リマスガ、私共ノ戴ケル純計ハ、當初ノ實行豫算ヲ戴ケマスカ、ソレトモ何ト申シマスカ、第二實行豫算トデモ申シマスカ、行政合理化デオヤリニナツタ實行豫算、サウ云フノニナリマスカ、ドウ云フモノカ、ドチラデモ宜シウゴザイマスガ、成ベクハ、キリシタ純計ヲ戴キタイト思ヒマス
○井上國務大臣 承知致シマシタ、早速調製致サセマス
○高橋委員 御承知下サイマシテ有難ウゴザイマスガ、ヤハリ五年度ノ當初豫算ノ純計ヲ戴ケルノデアリマスカ、或ハ第二ノ實行豫算ト私ガ名付ケマシタル、行政ノ合理化ニ依ッテ現レマシタル豫算ノ純計ヲ戴クコトガ出來ルノデアリマスカ、ドッチガ戴ケルノデアリマスカ

○井上國務大臣 今仰セニナリマシタマスカ、如何デゴザイマスカ
○井上國務大臣 大概御註文ノ物ハ今朝私が見マシタ時ニハ、大概出來テ居リマシタカラ、今淨書シテ居リマセウカラ、何レ御手許ニ廻シタイト思ヒマス、大概御註文通りニ出來テ居ルヤウニ見テ居リマス
○高橋委員 成ベク速ニ御提出アラシコトヲ望ミマス、此前ニ大藏大臣ニ對スル御質問ヲ申上ゲテ居タ其シマヒハ、吾々ハ此稅ヲ滞リナク納メル、所謂給付能力ノ充實ヲヤルニハ、ドウシテモ金融ヲ圓滑ニシナケレバナラナイ、一面ニ於テハ多額ノ負債ヲ擔ッテ居ル者ガ全般ヲ通ジテ多イノデアアル、是等ノ窮狀ヲ緩和シテヤラナケレバ納稅ドコロヂヤナイ、其日ノ生活ニサヘラ差支ヘ、又今營ンデ居ル産業サヘ破壊サレルニ至ルデハナイカト云フ前提ノ下ニ色々伺ッテ居タノデアリマスルガ、最後ノ問題トシテ、庶民金融ニ關シテ色々御説ヲ拜聽致シテ居タノデアリマス、ソレデ最後ニ少シ混雜シタモノデアリマシタカラ、私ハ取違ヘタノデアリマスルガ、大藏大臣ハ信用組合ヲ通ジテ庶民金融ノ充實ニ圖ラウ、斯ウ云フ大體ノ御仕組デ色々施設ヲ爲サラウト致シテ居ル、信用組合ト云フノハ私ハ市街地ノミデナク、大部分ハ

農村ヲ含ンデ居ルコトダト云フヤウナ事ヲ考ヘテ色々意見ヲ進メマスルト云フト、ソレハ私ノ御答辯ノ解釋違ヒデアッテ、御答辯ノ趣旨ハ市街地ニ於ケル信用組合ヲ指シ、庶民金融ト云フノハ大藏大臣ハ市街地ニ於ケル庶民ノ爲ニ金融ヲスルト云フコトニ限定サレタル問題ニ之ヲ御取リニナツテ居テノ御答辯デアッタノデアリマス、ソレデ過日ノ御答辯ノ結果ニ依リマス、市街地ニ於ケル庶民ニ對スル金融ハ御考慮ニナツテ居ルガ、其他ノ全國、殊ニ農村ニ於ケル所ノ庶民金融、小農ニ對スル金融ト云フモノハ何等吾々ハ承ルコトガ出來ナカッタノデアリマスルガ、之ニ對シテ如何ナル御見解ヲ御持チニナルカ、是ハ大切ナル問題デアリマスルカラ、深切ナル御答辯ヲ煩シタイト思フ次第デアリマス
○井上國務大臣 先日高橋君トノ問答ノ中間カラ大口君ニ移リマシテ行キマシタカラ、多少其處ニ行違ガアリマセウデスガ、私ガ申上ゲタノハ、信用組合ト云ヒマス、此組合法ハ農村ノ方ニハ比較的能ク行届イテ居ル、併ナガラソレニ比較致シマシテ市街地ニ在ル信用組合、譬ヘテ見マスレバ、一萬トカ人口ノアル町ヲ標準ニ取ッテ、ソレカラ以上ニ人口ノ多イ處ノ中小商工業者ノ金融ヲ見マス、如何ニモ不行届デ

アル、此點ニ付テハ是マデノヤリ方ガ惡
カッタカ、方法ガ惡イカ、非常ニ缺ケテ
居ル所ガアリマスカラ、此點ニ付テハ
大イニ進ンデ一ツ努力センケレバナリ
マセヌ、努力シテ見マシテ、一方ニハ

一ツ金融ノ圓滑ヲ圖ツテ見ヨウ、是ハ目
前ノ問題、或ハ根本ノ問題カラシテド
ウシテモ其處ニ力ヲ費サナケレバナラ
スト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリ
マス

機關ヲ改正シ、一方ニハ自ラ其局ニ當
テ努力致シマシタナラバ、或ル程度マ
デハ庶民金融ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來
マセウ、併シ反對ニ考ヘテ、市街地ニ
シテモ農村ニシテモ、數十年間ノ發達
ノアル組合ト云フモノヲ疎外シテハ、

○高橋委員 只今詳細ニ承ッタノデア
リマスガ、此御改正ニ依ッテ農村ト市街
地ト大體區別致シマシテ、ドレ位程度
ノ金額ヲ、ドノ位ノ期間内ニ御貸出ヲ
願フコトニナルデセウカ、御分リニナ
ラスナラバモウ一度繰返シマスガ、斯
ウ云フ意味デ私ハ伺ッテ居ル、農村ニシ
マシテモ、市街地ノ庶民階級、即チ中
産以下ノ商工業者其他ノ市街住民、竝
ニ農村ニ於ケル同志ノ者ハ、是ニハ商
工業者モ含ンデ居リマスガ、農民デア
ル、ソレハモウ今ハ早天ヲ仰イデ咽喉
ガ渴イテ堪ラスト言ッテヤウナ状態ニ
俗ニ言ヘバナッテ居ルノデアリマス、
ソレデ其日ノ糊口ニモ差支ヘ、生活必
需品ノ買入ニモ差支ヘテ居ルト云フヤ
ウナ實情デアル、ソレデアリマスカラ
生活ノ資金、産業ニ要スル資金ト云フ
モノヲ今求メテ居ルノデアリマス、之
ニ間ニ合フヤウニ此金融ガ充實シテ參
ラナケレバイカヌノデアリマスガ、何
日頃マデニ、ドレ位ノ金額ハ是等ノ法
律ノ改正其他ノ施設ニ依ッテ、出來得
ルカト云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマ
ス

ハ考ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲタノ
デアリマス、隨テ今度ノ議會ニ提出致
シマシタノハ、勸業銀行、農工銀行、
或ハ北海道拓殖銀行ニ、十人組合ト云
フモノヲ拵ヘテ、之ニ信用貸ヲサセル、
斯ウ云フ改正ノ法律案モ出シマシテ、
ソレカラ無盡法ノ改正モ出シマシテ、
ソレカラ貯蓄銀行法モ是迄ハ全部擔保
ニ依ル、但シ定期積金ダケハ積金ヲ標
準ニシテ、サウシテ信用保證人ニ依ッ
テ貸ス、斯ウ云フコトガアリマシタノ
ヲ、中小商工業者ノ金融トシテハ貯蓄
銀行ヲ、極ク制限シタ範圍ニ向ケヨウ
ト思ヒマシテ、保證人ノ保證ガアレ
バ、擔保ガ無クテモ、極ク少額ノモノ
ナラ貸セルト云フ改正案ヲ、今度議會ニ
提出シタ次第デアリマス、左様ナ方法
ヲ用ヒマシテ、總テノ機關ヲ利用シテ、

○井上國務大臣 其御問ハ非常ニ困難
ナ御問デアリマシテ、只今申シマス如
ク信用組合、一般銀行者モ可ナリ少額
ナ貸出ヲスルヤウニ最近ニハナッテ居
リマス、左様ナ貯蓄銀行、無盡、其以
外ノ總テノ方法ヲ動員シテヤリマシテ
モ、サウ金額ガ何日マデニ幾ラカト云
フコトハ御答シ惡イノデアリマス、例
ヘバ政府ガ貸シテ居リマス農村漁村ノ
貸金トカ、或ハ中小商工業者ニ貸シタ
二千五百萬圓ノ金トカ云ヒマスナラ
バ、約ソ今は位ノ程度ニマデ達シテ居
ルト云フコトハ申上ゲラレヤウト思
ヒマスガ、今後總テノ機關ヲ通シテヤ
テ見タ所デ、ドノ位ニナルカト云フコ
トハ、私共ニモ一寸見當ガ付キマセヌ、
甚ダ不十分デアリマスガ、御承知ヲ願
テ置キタイト思ヒマス

スウ云フ改正ノ法律案モ出シマシテ、
ソレカラ無盡法ノ改正モ出シマシテ、
ソレカラ貯蓄銀行法モ是迄ハ全部擔保
ニ依ル、但シ定期積金ダケハ積金ヲ標
準ニシテ、サウシテ信用保證人ニ依ッ
テ貸ス、斯ウ云フコトガアリマシタノ
ヲ、中小商工業者ノ金融トシテハ貯蓄
銀行ヲ、極ク制限シタ範圍ニ向ケヨウ
ト思ヒマシテ、保證人ノ保證ガアレ
バ、擔保ガ無クテモ、極ク少額ノモノ
ナラ貸セルト云フ改正案ヲ、今度議會ニ
提出シタ次第デアリマス、左様ナ方法
ヲ用ヒマシテ、總テノ機關ヲ利用シテ、

○高橋委員 大藏大臣ハ我國財政經濟
ヲ通ジテノ最高ノ機關ノ長官ヲシテオ
キデニナルバカリデナク、多年金融方
面ニ付テハ特ニ御詳シイノデアリマ
ス、今日我國内ニ於テ國民ガドレ程ノ
資金ヲ要望シテ居ルカト云フ御觀測ハ
付テ居ル等デアアル、ドノ位程度ノ金融
ガ必要デアラウト云フ大體ノ見越ガ付
カナケレバ、之ニ對スル對策ハ、私ハ
講ジ得ラレナイモノデアラウト思フノ
デアリマス、ソレデアルカラ、今回ノ
此御企テニ依ッテドノ程度マデハ貸出

シテモ農村ニシテモ、數十年間ノ發達
ノアル組合ト云フモノヲ疎外シテハ、
日本ニハ庶民金融機關ハ出來ナイト私
ハ考ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲタノ
デアリマス、隨テ今度ノ議會ニ提出致
シマシタノハ、勸業銀行、農工銀行、
或ハ北海道拓殖銀行ニ、十人組合ト云
フモノヲ拵ヘテ、之ニ信用貸ヲサセル、
斯ウ云フ改正ノ法律案モ出シマシテ、
ソレカラ無盡法ノ改正モ出シマシテ、
ソレカラ貯蓄銀行法モ是迄ハ全部擔保
ニ依ル、但シ定期積金ダケハ積金ヲ標
準ニシテ、サウシテ信用保證人ニ依ッ
テ貸ス、斯ウ云フコトガアリマシタノ
ヲ、中小商工業者ノ金融トシテハ貯蓄
銀行ヲ、極ク制限シタ範圍ニ向ケヨウ
ト思ヒマシテ、保證人ノ保證ガアレ
バ、擔保ガ無クテモ、極ク少額ノモノ
ナラ貸セルト云フ改正案ヲ、今度議會ニ
提出シタ次第デアリマス、左様ナ方法
ヲ用ヒマシテ、總テノ機關ヲ利用シテ、

シ得ルト云フコトハ、大體標準ガ付ク
コトデアラウト思フノデス、ソレナラ
バ今日ドレ位ノ程度ノ貸出ヲナサレ
タナラバ、今日窮迫シテ居ル經濟界ガ
緩和サレ、サウシテ順調ニ其業ヲ進メ
テ行クコトガ出來得ルト云フコトヲ御
見込ニナッテ居リマスガ、ソレ等ノ御見
解ヲ伺ッテ置キマス

シテモ農村ニシテモ、數十年間ノ發達
ノアル組合ト云フモノヲ疎外シテハ、
日本ニハ庶民金融機關ハ出來ナイト私
ハ考ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲタノ
デアリマス、隨テ今度ノ議會ニ提出致
シマシタノハ、勸業銀行、農工銀行、
或ハ北海道拓殖銀行ニ、十人組合ト云
フモノヲ拵ヘテ、之ニ信用貸ヲサセル、
斯ウ云フ改正ノ法律案モ出シマシテ、
ソレカラ無盡法ノ改正モ出シマシテ、
ソレカラ貯蓄銀行法モ是迄ハ全部擔保
ニ依ル、但シ定期積金ダケハ積金ヲ標
準ニシテ、サウシテ信用保證人ニ依ッ
テ貸ス、斯ウ云フコトガアリマシタノ
ヲ、中小商工業者ノ金融トシテハ貯蓄
銀行ヲ、極ク制限シタ範圍ニ向ケヨウ
ト思ヒマシテ、保證人ノ保證ガアレ
バ、擔保ガ無クテモ、極ク少額ノモノ
ナラ貸セルト云フ改正案ヲ、今度議會ニ
提出シタ次第デアリマス、左様ナ方法
ヲ用ヒマシテ、總テノ機關ヲ利用シテ、

○井上國務大臣 非常ニ困難ナ御問デ
アリマスガ、幾ラ貸シタラ十分カ、幾
ラ貸セルカ、斯ウ云フ二ツノ問題ガ殘
ルノデアリマス、借リタイ人カラ云ッ
タラバ、幾ラデモ要ルダラウ、併シ借リ
タクテモ貸セナイ者ガ澤山アル、斯ウ
云フコトニナリマス、甚ダ不確實ナ御
答デアリマスガ、段々貸シテ行キマシ
テ、總テノ機關ヲ通シテヤラセテ見テ、
全體ノ實情ヲ見マシテ、是デマア大體
金ヲ借り得ル資格ノアル人ニハ金ガ行
渡ッタ、マダ足りナイ、斯ウ云フコトヲ
其結果ニ依ッテ見ルヨリ外ニハ何十億
ノ必要ガアル、幾ラ貸セルト云フコト
ハ中々困難ナ問題ダラウト思ッテ居リ
マス、私自分ニモソレヲ數字ニ依ッテ御
答スルダケノ用意ヲシテ居リマセヌ

シテモ農村ニシテモ、數十年間ノ發達
ノアル組合ト云フモノヲ疎外シテハ、
日本ニハ庶民金融機關ハ出來ナイト私
ハ考ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲタノ
デアリマス、隨テ今度ノ議會ニ提出致
シマシタノハ、勸業銀行、農工銀行、
或ハ北海道拓殖銀行ニ、十人組合ト云
フモノヲ拵ヘテ、之ニ信用貸ヲサセル、
斯ウ云フ改正ノ法律案モ出シマシテ、
ソレカラ無盡法ノ改正モ出シマシテ、
ソレカラ貯蓄銀行法モ是迄ハ全部擔保
ニ依ル、但シ定期積金ダケハ積金ヲ標
準ニシテ、サウシテ信用保證人ニ依ッ
テ貸ス、斯ウ云フコトガアリマシタノ
ヲ、中小商工業者ノ金融トシテハ貯蓄
銀行ヲ、極ク制限シタ範圍ニ向ケヨウ
ト思ヒマシテ、保證人ノ保證ガアレ
バ、擔保ガ無クテモ、極ク少額ノモノ
ナラ貸セルト云フ改正案ヲ、今度議會ニ
提出シタ次第デアリマス、左様ナ方法
ヲ用ヒマシテ、總テノ機關ヲ利用シテ、

○高橋委員 サウスルト私ハ今回ノ法
律ノ改正其他ノ施設ニ依リマシテ、庶
民金融ノ充實ヲ圖ラレルト云フコトヲ
實行サレルノハ、何時頃マデニ實行サ
レル御見込デアアルカト云フコトヲ承ッ

シテモ農村ニシテモ、數十年間ノ發達
ノアル組合ト云フモノヲ疎外シテハ、
日本ニハ庶民金融機關ハ出來ナイト私
ハ考ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲタノ
デアリマス、隨テ今度ノ議會ニ提出致
シマシタノハ、勸業銀行、農工銀行、
或ハ北海道拓殖銀行ニ、十人組合ト云
フモノヲ拵ヘテ、之ニ信用貸ヲサセル、
斯ウ云フ改正ノ法律案モ出シマシテ、
ソレカラ無盡法ノ改正モ出シマシテ、
ソレカラ貯蓄銀行法モ是迄ハ全部擔保
ニ依ル、但シ定期積金ダケハ積金ヲ標
準ニシテ、サウシテ信用保證人ニ依ッ
テ貸ス、斯ウ云フコトガアリマシタノ
ヲ、中小商工業者ノ金融トシテハ貯蓄
銀行ヲ、極ク制限シタ範圍ニ向ケヨウ
ト思ヒマシテ、保證人ノ保證ガアレ
バ、擔保ガ無クテモ、極ク少額ノモノ
ナラ貸セルト云フ改正案ヲ、今度議會ニ
提出シタ次第デアリマス、左様ナ方法
ヲ用ヒマシテ、總テノ機關ヲ利用シテ、

此御企テニ依ッテドノ程度マデハ貸出

シテモ農村ニシテモ、數十年間ノ發達
ノアル組合ト云フモノヲ疎外シテハ、
日本ニハ庶民金融機關ハ出來ナイト私
ハ考ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲタノ
デアリマス、隨テ今度ノ議會ニ提出致
シマシタノハ、勸業銀行、農工銀行、
或ハ北海道拓殖銀行ニ、十人組合ト云
フモノヲ拵ヘテ、之ニ信用貸ヲサセル、
斯ウ云フ改正ノ法律案モ出シマシテ、
ソレカラ無盡法ノ改正モ出シマシテ、
ソレカラ貯蓄銀行法モ是迄ハ全部擔保
ニ依ル、但シ定期積金ダケハ積金ヲ標
準ニシテ、サウシテ信用保證人ニ依ッ
テ貸ス、斯ウ云フコトガアリマシタノ
ヲ、中小商工業者ノ金融トシテハ貯蓄
銀行ヲ、極ク制限シタ範圍ニ向ケヨウ
ト思ヒマシテ、保證人ノ保證ガアレ
バ、擔保ガ無クテモ、極ク少額ノモノ
ナラ貸セルト云フ改正案ヲ、今度議會ニ
提出シタ次第デアリマス、左様ナ方法
ヲ用ヒマシテ、總テノ機關ヲ利用シテ、

此御企テニ依ッテドノ程度マデハ貸出

シテモ農村ニシテモ、數十年間ノ發達
ノアル組合ト云フモノヲ疎外シテハ、
日本ニハ庶民金融機關ハ出來ナイト私
ハ考ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲタノ
デアリマス、隨テ今度ノ議會ニ提出致
シマシタノハ、勸業銀行、農工銀行、
或ハ北海道拓殖銀行ニ、十人組合ト云
フモノヲ拵ヘテ、之ニ信用貸ヲサセル、
斯ウ云フ改正ノ法律案モ出シマシテ、
ソレカラ無盡法ノ改正モ出シマシテ、
ソレカラ貯蓄銀行法モ是迄ハ全部擔保
ニ依ル、但シ定期積金ダケハ積金ヲ標
準ニシテ、サウシテ信用保證人ニ依ッ
テ貸ス、斯ウ云フコトガアリマシタノ
ヲ、中小商工業者ノ金融トシテハ貯蓄
銀行ヲ、極ク制限シタ範圍ニ向ケヨウ
ト思ヒマシテ、保證人ノ保證ガアレ
バ、擔保ガ無クテモ、極ク少額ノモノ
ナラ貸セルト云フ改正案ヲ、今度議會ニ
提出シタ次第デアリマス、左様ナ方法
ヲ用ヒマシテ、總テノ機關ヲ利用シテ、

此御企テニ依ッテドノ程度マデハ貸出

シテモ農村ニシテモ、數十年間ノ發達
ノアル組合ト云フモノヲ疎外シテハ、
日本ニハ庶民金融機關ハ出來ナイト私
ハ考ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲタノ
デアリマス、隨テ今度ノ議會ニ提出致
シマシタノハ、勸業銀行、農工銀行、
或ハ北海道拓殖銀行ニ、十人組合ト云
フモノヲ拵ヘテ、之ニ信用貸ヲサセル、
斯ウ云フ改正ノ法律案モ出シマシテ、
ソレカラ無盡法ノ改正モ出シマシテ、
ソレカラ貯蓄銀行法モ是迄ハ全部擔保
ニ依ル、但シ定期積金ダケハ積金ヲ標
準ニシテ、サウシテ信用保證人ニ依ッ
テ貸ス、斯ウ云フコトガアリマシタノ
ヲ、中小商工業者ノ金融トシテハ貯蓄
銀行ヲ、極ク制限シタ範圍ニ向ケヨウ
ト思ヒマシテ、保證人ノ保證ガアレ
バ、擔保ガ無クテモ、極ク少額ノモノ
ナラ貸セルト云フ改正案ヲ、今度議會ニ
提出シタ次第デアリマス、左様ナ方法
ヲ用ヒマシテ、總テノ機關ヲ利用シテ、

此御企テニ依ッテドノ程度マデハ貸出

シテモ農村ニシテモ、數十年間ノ發達
ノアル組合ト云フモノヲ疎外シテハ、
日本ニハ庶民金融機關ハ出來ナイト私
ハ考ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲタノ
デアリマス、隨テ今度ノ議會ニ提出致
シマシタノハ、勸業銀行、農工銀行、
或ハ北海道拓殖銀行ニ、十人組合ト云
フモノヲ拵ヘテ、之ニ信用貸ヲサセル、
斯ウ云フ改正ノ法律案モ出シマシテ、
ソレカラ無盡法ノ改正モ出シマシテ、
ソレカラ貯蓄銀行法モ是迄ハ全部擔保
ニ依ル、但シ定期積金ダケハ積金ヲ標
準ニシテ、サウシテ信用保證人ニ依ッ
テ貸ス、斯ウ云フコトガアリマシタノ
ヲ、中小商工業者ノ金融トシテハ貯蓄
銀行ヲ、極ク制限シタ範圍ニ向ケヨウ
ト思ヒマシテ、保證人ノ保證ガアレ
バ、擔保ガ無クテモ、極ク少額ノモノ
ナラ貸セルト云フ改正案ヲ、今度議會ニ
提出シタ次第デアリマス、左様ナ方法
ヲ用ヒマシテ、總テノ機關ヲ利用シテ、

此御企テニ依ッテドノ程度マデハ貸出

テ置カナケレバナラヌノデアリマス
ガ、其邊ノコトハ御伺出來ルデアリマ
セウカ

○井上國務大臣 今度ノ改正ノ法律ガ
此議會ヲ通過致シマスレバ、直ニ實行
ガ出來ルノデアリマス、信用組合ノ方
ハ種々様々ノ體驗ヲシタ結果ヲ貸出條
件ト云フヤウナモノニ表シマシテ、段
段進メテ行ッテ居ル次第デアリマス、併
ナガラ其點ハ先日モ大口君ニ御答申シ
タ如ク、市街地ノ信用組合ハ過去ノ成
績ニ依リマシテ頗ル困難ナル問題デア
リマス、併シ是ハ最モ必要ナルモノデ
アリマスカラ、政府當局者ニ於テモ大
イニ努力ヲセネバナラスト云フコトヲ
覺悟シテ居ル次第デアリマス

○高橋委員 私ハドウモ十分納得出來
ナイノデスガ、ナゼ斯ウ云フコトヲ承ッ
テ居ルカト云フト、吞氣ナコトヲ言ッテ
居ル内ニハ、今窮迫ノドン底ニアル中
産階級ノ者ハ倒産シテシマヒハシナイ
カ、斯ウ云フコトヲ私ハ心配ヲ致シテ
居ルノデアリマス、所謂文字通りニ、焦
眉ノ急ト云フノハ此事ヲ言ッテ居ルノ
デハナイカト私ハ考ヘテ居ル、吾々ハ
議會ガ忙シイノデ、他ヲ振向イテ居ル
餘裕モナイガ、吾々ノ田舎ハ目下舊ノ
正月デアアル、舊ノ節季ノ救済ガ付カナ
イデ非常ナル困難ナ事情ニ今日人民ハ
喘イデ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤ

ウナ場合デアリマスカラ、私ハ此庶民
金融ハ地方ニ於テハ特ニ急グ必要ガア
ルト思フ、農村救済ノ意味ヲ持チ、失
業救済ノ意味ヲ以テ、低利資金ヲ御貸
出シニナル計畫ダケハ出來テ居ルガ、
未ダ此計畫ハ實行出來ナイ、山形縣ノ
如キハ近頃地方カラ參ル新聞ヲ見マス
ト、近ク貸出ガ開始サレサウニナッタ、
忙シイカラ其見出シニ依ッテ見マス、
是ハ町村ガ主體トナッテ——債務者ト
ナッテ借受ケルコトニナルノデアアルカ
ラ、ウツカリ町村長ニ任セル譯ニハ行カ
ナイカラ、貸出委員會ヲ作ルンダ、ソ
レデ其方ノ規定ヲ作ッテ町村ニ渡シタ
カラ、直グ貸出ガ出來ルト斯ウ云フコ
トデアアル、サウ云フ事サヘモ皆貸出ガ
出來ルカラ喜ベト云ッテ、新聞ハ大キナ
見出シデ其事ヲ唱ヘテ居ルノデスガ、
貸出ニ付テ色々信用程度等ヲ調査致シ
テ、サウシテ貸出ヲスルト云フコトニ
ナルカラ、ドウシテモ來月ノ半バ過ギ
デナケレバ、ドンナニ急イデモ貸出ヲ
サレルナント云フコトハナカラウト、
斯ウ云フヤウナ狀況ニナッテ居ルノデ
アリマス、ソレガ七千萬圓ノ山村漁村
——何ト云ヒマスカ、ムヅカシイ名前
ノ資金デアリマス、サウ云フモノガ今
日サウ云フ狀態ニナッテ居ルノデアアル、
ソレデ政府御關係ノ仕事ト云フモノハ
非常ニ手續ガ面倒ナノデ思フヤウニ中

中抄ラナイノデアリマス、養蠶ノ應急資
金ダッテ、昨年度ニ於テ春ニ御貸出ニナ
ラウト云フ計畫ガ、漸ク九月頃ニナッテ
ソロ／＼御貸出ニナッタ、モウ九月ニナ
レバ養蠶ナドヤッテ居ル處ハ極ク暖イ
處デナケレバナイノデアリマス、應急
資金ナント云フコトハナイノデアリマ
ス、サウ云フコトニナッテ、ソレモ全部
御貸出ガ出來ナカッタト云フコトニナ
テ居ルノデアリマスカラ、今日此中
小商工業者、即チ比較的信用ノ少イ、
擔保品ノ少イ、或ハ皆無ナル者ノ金融
ト云フモノハ、企ガ出來上リマシテモ、
實際ニ金融ヲスルト云フ場合ニハ相當
ノ困難ガ伴フモノデアアル、斯ウ云フヤ
ウニ私共ハ考ヘルノデアリマス、ソレ
デアリマスカラ、大藏大臣ハ他ノ方
デ自覺シロト云フコト、整理緊縮サレ
シロト云フコトデ、今マデハ強制サレ
タガ、ソレデモイケナイカラ今度ハソ
レニ付テ資金ヲ與ヘテヤラウト云フヤ
ウナ、是ハ唯一ノ積極的ノ政策デア
リ、效果ガ舉ガルト吾々ガ見込ムコト
ガ出來ルカト云フコトヲ、十分此處デ
伺ッテ置カナケレバ、吾々ハ安心スルコ
トガ出來ヌト斯ウ云フ實情ガアルノデ
ス、ソレデ私ハ何時頃ドノ位ノ金額ヲ
貸出シ得ルコトニ相成ルカ、即チ庶民
金融ノ充實ガドレ程ノ程度デ何時頃出

來上ルダラウカト云フコトヲ、私ハ諄
ク御尋ネシテ居ル所以ナノデアリマ
ス、更ニ御答辯ガ願ハレナケレバ又其
場合ニ考ヘマスガ、御答辯ノ出來ル範
圍内ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○井上國務大臣 庶民金融ノ各階級ニ
行渡ルコトノ急速ヲ要スルト云フコト
ハ、高橋サンノ言ハレタ通りノ事情デ
アリマスノデ、其方ハ努メナクチャナ
ラスノデアリマスガ、只今言フヤウニ
中小產業者ニ對スル少額ナ金融ヲ致シ
マスコトハ、非常ナ困難ガ伴ヒマス、
繰返シテ度々申上ゲマス如ク、從來ノ
機關ノ不整頓ト云フコトモ手傳ヒマシ
テ、非常ニ困難ガ伴ヒマス爲ニ、努力
ハ致シマスガ、又其事情モ十分吞込
デ居リマスガ、今御尋ノヤウニ、的確
ニドノ位ニナッタラ行渡ルカト云フ御
問ニ對シマシテハ、私御答申上ゲル程
ノ用意ヲシテ居リマセヌ

○高橋委員 洵ニ遺憾デアリマスガ、
私共ガ斯ウ云フ事ヲ伺ッテ居リマスル
ノハ、中央ノ五六ノ大銀行ハ別問題ト
致シマシテ、地方ノ銀行ナドハ固定貸
ガ多ウゴザイマス、其固定貸ヲ如何ニ
整理ヲスルカト云フコトニ汲々ト致シ
テ居ル、新規ノ貸出ナドハ到底出來得
ル望ノナイコト、私ハ殆ド斷定ガ出來
ルノデアリマス、ソレデ私ハ中央殊ニ

政府ハドレダケノ用意ヲシテ、此問題ニ向ッテ居ルカト云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ地方銀行デハドレ程ノ貸出能力ガアルカト云フヤウナコトヲ段々伺ハナケレバナラスノデアリマス、ソレノ御用意ガシテ戴キタイノデアリマスガ、ソレマデ待ッテ居ルト云フコトハアレデスカラ、此戴イタ材料ニ付テ大臣カラデモ政府委員カラデモ宜シウゴザイマスガ、大體ノ説明ヲシテ戴キタイト思ヒマスノハ、税第三十一號、税第三十二號、即チ三十一號ハ「最近各税徴収状況」、ソレカラ三十二號ハ「國稅滯納現在額」之ニ付テデアリマスルガ、是ハ見レバ分ルヤウナモノデアリマスガ、此中三十二號ノ「國稅滯納現在額」ト云フノハ、滯納ヲシテマダ取立テナイト云フノカ、強制執行デモシツ、アルノカ、強制執行ヲシテ取立テ、シマッタモノカ

強制執行デ取立テ、シマッタモノト云ヘバ、別ニ滯納ト云フモノデナクナルノデアリマスカラ、私ノ請求シタノハ今ノ滯納處分、是ハ納税ノ成績ダケノ表デアッテ、アトノ私が請求申上ゲタヤウナ滯納處分ヲヤッタ件數ト税額ト云フヤウナハ省ケテ居ル譯ト承知シテ宜シイノデアリマスカ

○青木政府委員 仰セノ通りデアリマス、ソレハ備考ニモ書イテ置キマシタ通り、年度末ニ於テ現在滯納ニナッテマダ滯納處分ヲシナイ件數及ビ税額デアリマスガ、滯納處分ヲシタ件數モ調べロト云フ仰セデアリマシテ、只今調査中デアリマスカラ、出來上リ次第御目ニ掛ケマス

○高橋委員 此三十二號ノ材料ニ依リマス、昭和三年度並ニ四年度ニ於キマシテ滯納額ガ減ジテ居リマス、件數モ減ジテ居リマス、是ハ滯納ヲシサウナ薄弱ナ者ハ既ニ國稅納税者カラ省カレテシマッタ後デアルカラ、此不景氣ガ段々深刻ニナッテ居ルニモ拘ラズ滯納モ少ナシ、滯納ノ税額モ少クナッテ居ルト、斯ウ云フ工合ニ理解シテ宜シイノデゴザイマスカ

○青木政府委員 ソレハ税金ヲ納メル力ノナイヤウナ人ハ滯納處分ヲシテシマッテ、サウシテソレハモウ此外ニ出テ居ルカラ、ソレデ少クナッテ居ルノデハナイカト云フ御尋ニ對シマシテハ、ドウモソレハサウ云フ譯デハゴザイマセヌ、何ト言ヒマスカ、サウ云フ苛酷ナ事ヲシタカラ是ガ少クナッテ居ルト云フノデハゴザイマセヌ

○高橋委員 私ガ御問申上ゲタノハ、今ノ答辯トハ逆ナ事ヲ伺ッタノデアリマス、ソレハ第二段ニ伺フ譯デアッタノデアリマスガ、後ノ鳥ガ先キノ方ニ飛ンデ行ッテシマッタノデアリマスガ、

是ハ苛酷ナル滯納處分ノ結果少クナッタノデヤナイト仰セニナル以上ハ、是ハ擔税力ガナクナッタ爲ニ落伍シタ數ガ殖エタカラ、隨テ滯納者モ少クナッタ、斯ウ云フヤウナ譯ニナッテ少クナッテ居ルノデアリマスガ、斯ウ御尋シタノデアリマス

○青木政府委員 御答致シマス、實ハ御趣旨ヲ十分能ク御了解仕兼ルノデアリマスガ、落伍ニナッタカラ少クナッテ居ルカト云フ御趣旨ハ、ドウ云フ御趣旨デアリマスカ

○高橋委員 今マデハ納税者ガ、色々能力ニ付テ差等ノアル者ガ澤山居ッタ、併シ不景氣ガ非常ニ深刻ニナッタモノデアルカラシテ、課税ノ基本ガ少クナッタ、ソレデ擔税力ノ薄弱ナル者ハ既ニ落伍シテシマッテ、國稅ノ方ヘノ仲間入ヲシテ居ナイ、ソレデ殘ッタ國稅ノ納税者ノ中ニハ比較的擔税能力ノ豊富ノ者バカリ殘ッタカラ、隨テ滯納者ガ少クナル、滯納ノ税額ガ少クナッタ、斯ウ云フ意味ニ解釋シテ宜シイカ、斯ウ云フコトヲ伺ッタノデアリマス

○青木政府委員 御答致シマスガ、此滯納件數ノ減リマシタノガ、果シテ只今仰セニナルヤウナ原因デ減ッテ居ルカドウカト云フコトニ付テハ、直チニ左様デゴザイマス、御答ハ致シ兼マスケレドモ、仰セノヤウニ、例ヘバ

第三種所得稅ニ付キマシテハ、所得ガ段々ト減ッテ參リマス、ト云フト、所得稅ヲ納メル人間ノ數モ確ニ最近ハ減ッテ居リマス

○高橋委員 サウスルト國稅デ落サレタ者ハ地方稅ノ方ニ廻ルト云フ機會ガ多イノデス、サウスルト國稅デ滯納ニナラス者デモ、地方稅ノ方ヘ行ッテ盛ニ滯納シテ居ル、大體的ニ地方デ地方稅ノ滯納ガ非常ニ多イト云フノハ、其處ヲモ原因シテ居ルヤウニ考ヘラレル、ソレデ私ハ内務省ノ方面ニ於テ、同じ材料ヲ御願シテ居ルノデアリマスガ、マダ其材料ハ手許ニ參ッテ居リマセヌ、ソレデアリマスカラ、其方面ノコトヲ伺ハナケレバ分ラヌノデスガ、是ト竝行シテ居ル所ノ内務省ノ方ノ御調ハ何時頃戴ケマセウ

○岡田政府委員 大體調べガ出來テ居リマスカラ、明日位ニ差上ゲルコトガ出來ルカト思ヒマス

○高橋委員 ソレデハソレヲ頂戴シテ今度ハ三十一號ノ方ヲ見テ參リマスト云フト、資本金子稅ダトカ、營業收益稅ダトカ云フモノハ大變滯納ノ數ガ多い、一寸面倒デスガ、徵稅ノ狀況デ納入歩合ノ方ガ前年度ヨリ減ッタト云フコトハ、ヤハリ滯納ガ多イト云フコトニナル譯デス、資本金子稅ガ滯納ガ多

イト云フノハドウ云フ意味ニナルカ、
是ハ源本ヲ捉ヘテヤルヤウナコトガ多
イノデスガ、是ハドウ云フ譯合デスカ
○青木政府委員 御答致シマス、茲ニ
書キマシタ資本利子税ハ乙種資本利子
税デ、第三種所得税ト同ジヤウニ取ル、
乙種デアリマシテ、乙種ト斷ラナカッタ
ノガ惡カッタノデス

○高橋委員 酒造税ハ僅ノ滞納デアリ
マスガ、是ハ今日酒造家ハ非常ナル苦
境ニ陥ッテ居ルノデアリマス、ソレデ是
ハ税額ガ非常ニ大キイカラ強制執行ヲ
嚴重ニサレタト云フ結果デ、是ダケノ
優良ナ成績ヲ收メタト云フコトニ解釋
シテ宜シイノデアリマス

○青木政府委員 御答致シマス、此表
ハ期限マデニ納マリマシタ税金ノ歩合
デアリマシテ、滞納處分ヲ致シテ取リ
マシタヤウナ税金ハ、此表ニハ全然關
係ガゴザイマセスカラ、只今御質問ノ
ヤウナコトデハゴザイマセス

○高橋委員 滞納處分ヲヤッタ税金ハ
此處ニナイ、納マッタ税金バカリダト云
フト、殆ド完納シタト云フコトニナル
ノデアリマス、滞納ガナクテ完納シタ、
斯ウ云フコトニナルノデスカ

○青木政府委員 御答致シマス、此點
ハ私共モ洵ニ感心ニ思ッテ居ル點デア
リマシテ、從來國稅ノ徵收成績ト云フ
モノハ只今御話ノ通り期限マデニ納マ

リマシタモノガ、殆ド完納ニ近イヤウ
ナ成績ヲ示シテ居ルノデアリマス、サ
ウシテ此表ニ依リマシテ、最近ノ歩合
ガ少シ惡クナッテ居リマス、ソレハ不景
氣ノ影響ト思ッテ居リマスガ、ソレデモ
尙九割九分八厘トカ、四厘トカ云フ成
績ヲ示シテ居ル點ハ、私共非常ニ感心
シテ居ル點デアリマス

○高橋委員 大藏大臣ハヤハリ感心シ
テ居ラレルノデゴザイマス、酒造税
ニ限ッテ居ルコトデスガ……
○井上國務大臣 同様ニ考ヘテ居リマ

○高橋委員 酒造家ガ今日如何ニシテ
納税致シテ居ルカト云フ實況ヲ、大藏
大臣ハ御承知置キダラウト思ヒマス
ガ、餘程窮迫ノ狀態ニ在ルト云フコト
ハ御存ジゴザイマセスカ

○井上國務大臣 多少承知シテ居ル次
第デアリマス、例ヘバ納税ガ困難ダカ
ラ金融ヲ附ケテ貰ヒタイトカ云フヤウ
ナ話モ一二聞イテ居ル所モアリマス、
決シテサウ今日納税者ガ窮迫シテ居ナ
イト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセ

○高橋委員 是ハ造石税デアル、御承
知ノ通りニ造石數ニ税金ヲ當算メテ、一
石四十圓ト云フ高稅ヲ取ッテ居ラレル
ノデアリマスカラ、徵稅上ニハ何等差
支ナイモノト仰シヤレバソレマデハア

リマスガ、一體今日酒屋ガドンナ價格
デ販賣ヲ致シテ居ルカ、當局ニ於テハ
ヤハリ稅源ト云フコトヲ始終御心配ニ
ナッテ、或ル場合ニハ稅源涵養ノ意味
ニ於テ酒屋ヲ援助サレルト云フヤウナ
コトハ、屢々吾々ハ承ッテ居ッタノデアリ
マス、サウ云フコトデアリマスカラ、
今日ノ酒屋ノ營業ハ此儘安全ニ持續シ
得ルヤ、非常ニ不安定ノ狀況ニアルト
云フコトハ、少クモ御調査ニナッテ居ル
ト思ヒマスガ、其邊ノ事ヲ承リタイト
思ヒマス、是ハ大藏大臣カラ承レ、バ
結構デスガ、其事ハハッキリ分ラヌカ
ラ、政府委員カラト仰セニナレバ政府
委員カラ承ッテモ宜シウゴザイマス

○青木政府委員 御質問ノヤウニ此頃
酒ヲ賣リマスノニ石四十圓以下デ賣
テ居ルト云フヤウナコトガアルト云フ
コトヲ聞イテ居リマシテ、洵ニ非常ニ
氣ノ毒ナ事デアルト思ッテ居リマス、非
常ニ窮境ニ居リマシテ、サウシテ税金
ヲ納メル爲ニ、酒ヲ所謂投賣ヲシテ、
サウシテ其損失ヲ忍ンデマデモ、斯様
ナ九割九分六厘、或ハ九割九分五厘ト
云フヤウナ成績ヲ出スト云フコトハ、
一面ニ於テハ感心致シマスガ、洵ニ氣
ノ毒ナ事デアルト思ッテ居リマス、隨テ
今大藏大臣ガ仰セニナリマシタヤウナ
金融問題ニ付テモ、大藏省ノ方デハ十
分ニ同情ヲ寄セテ、何トカ考慮ヲ廻ラ

シテ居ル次第デゴザイマス
○高橋委員 ソレダケ御調査下サッテ
居ルナラ私ハ國民トシテ感謝ヲスルノ
デアリマス、洵ニ其通りデアリマス、吾
吾田舎ニ行ッテ驚イタ事ハ一升ノ酒ガ
三十六錢デ買ヒ得ルノデアリマス、而モ
左程惡イ酒デヤナイノデアリマス一石
三十六圓デ小賣スルト云フコトニナル
ノデアリマスカラ、元ハモット缺ケテ居
ルダラウト思ヒマス、税金額以下デ賣
ルト云フコトハ、即チ酒屋ガ如何ニ窮
迫シテ居ルカ、元ヲ缺イテ、缺イタド
コロデナイ、大ナル損失ヲシテ居ル、
併ナガラ一期ノ税金ヲ滞レバ後三期分
ハ全部繰上ゲテ徵收サレルノデアリマ
ス、一旦酒屋ガ税金ヲ滞ラシタラ最後
再ビ起ツコトガ出來ナイト云フコトハ
御承知ノ通りデアリマス、是ガ滞ッタト
云フコトニナレバ債權者ガ群集シテ參
ルバカリデナク、其債權者モ權利ヲ侵サ
レルト云フコトニナル、是ハ頻々トシ
テ起ル實例デアリマス、今日ノ狀況デ
ハ地方ハ無論ト思ヒマス、地方ニ於テ
ハ、殊ニ激シイ地方ニ於テハ酒屋ヲ對
手ニシテ——今日酒造家ヲ對手ニシテ
金融ヲ致シテ居ル者ハアリマセヌ、ソレ
ハ、御承知ノ通りデス、此前一寸口ヲ滑
ラシタヤウニ思ヒマスガ、國稅徵收法ノ
表カラシテ國稅ニハ先取權ガアルノデ
アリマス、登録ヲ致シ登記ヲ履ンダ不

動産デサヘモ二箇年以内デアルト私ハ考ヘル、一箇年デアリマシタカ其處ハ一寸ハッカリシマセヌガ、一箇年カ二箇年ト云フ——短期間ノ登記ハ一箇年デアッタト思ヒマスガ、公正證書デヤッタモノハ二箇年ト覺エテ居ル、其外ノモノハ殆ド優先權ガ一般人民ニハナイノデアリマス、銀行ガ折角立派ナ擔保ヲ取ッタト思フモ國稅ガ滯タト云フト直グ是ハ國稅トシテ徵收サレルノデアリマス、ソレデアリマスカラ是ハ一般金融業者ニ對シテハ非常ナル危險デアル、ソコデ酒屋ノ納稅ガ滯ルカ滯ラナイカト云フコトハ、今日金融界ニ於テ大問題トナツテ居ル半面ニハ非常ニ嚴重ナ警戒網ヲ張ツテ居ルノデアリマス、ソレ故酒造期ニ臨ンデ此酒造ノ資金融ト云フモノハ皆無デアル、米ノ出盛期ニ酒米ヲ買出スコトガ出來ナイト云フヤウナコトハ、米價暴落ヲ助ケル唯一ノ原因ト或ル地方ニ於テハナツテ居ルノデアリマス、吾々ノ地方ニ於テハ酒米ヲ専門ニ作ツテ居ル部落ガアルノデアリマス、ソレガ殆ド取引ガ出來ヌト云フノデ、所謂當ガ外レテ非常ニ困ッテ居ッタ地方モアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコト程酒造家ハ困ッテ居ル、ソレデ已ムヲ得ズ大藏省カラ低利資金ヲ拜借ヲ致シ、サウシテ酒造ヲ曲ナリニモ續ケテ行キタイト云フヤウナコト

ニ吾々聽イテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ税金ノ完納ノ歩合ガ好イト云フコトハ非常ニ喜バシイ事デア、當業者ノ租稅ニ對スル正義ノ觀念ハ大イニ賞メテヤラナケレバナラヌト云フ奇麗ナ御言葉ノ半面ニハ非常ナル涙ノアル犠牲ト云フモノガアルト云フコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌ、是ハ國稅ノ大宗デアアル所得稅ヲ超エル所ノ大ナル稅額デアアル、ソレデアアルカラ大藏省ハ色々御調査ニモナリ、特別ニ酒造家ニ向ッテ低利資金モ貸シテヤラウト云フヤウナル御考モ仄メクト云フノハ誠ニ結構ナコトデアリマスケレドモ、稅額ガ大キイカラソレニ向ッテ左様ナル考ヲ持タレルガ、外ノ營業收益稅ノ納稅者ナリ、第三種所得稅ノ納稅者ナリ、一種ノ所得稅デアリマシテモ、身體ノ弱イ弱體會社ト云フヤウナモノ所得ト云フモノ、中ニハ、悲慘ナル犠牲ガハイッテ居ルト云フコトハ御考ヘニナラナケレバナラヌダラウト思フノデアリマス、サウスルト云フト私ハ獨リ是ハ酒造家ノ問題デハアリマセヌ、總テノ納稅者ヲ通ジテ同ジ狀況ニ今日立至ッテ居ルノデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソデアリマスカラ私共ハ之ニ對スル對策ト云フモノハ此場合必要デナケレバナラヌノデアアル、財務當局ハ一方ニ於テ

之ニ對スル對策ト云フモノヲ御講ジニナル責任ガアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ一方ニ税金ヲサヘ取立テレバ宜シイ、國民ノ忠誠ノ觀念ハ是ヲ賞シテヤルト云フダケデハ足りナイノデアッテ、其半面ニ苦シミガアレバ之ヲ除イテヤル、徵收、所謂苛斂誅求ト云フヤウナモノハ間違ッテモヤラヌゾト云フダケノコトヲ、國民ノ前デ示サレナケレバナラヌノデアリマス、今迄此處デ御答辯ニナッタヤウナ工合デ、今迄デモサウデハナイカ、何等今迄ト變タコトハナイト云フコトデハ、國民ハ少クモ安心ハ致シマセヌ、大ナル苛斂誅求ガ行ハレルモノト致シテ國民ハ不安ニ堪ヘナイノデアリマス、私共ハ此第三十二號ノ此表ヲ見マス時ニ慄然トスル、是ハ苛斂誅求ノ結果デアアル、強制執行ヲ嚴重ニヤッタ結果デアルト吾々認メザルヲ得ナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ私ハ國稅ニシテ然リ、之ニ續イテ他ノ銀行、或ハ民間ノ金貸業者ト云フヤウナ者ハ翕然トシテ政府ノ後ヲ續クト云フコトガ常態デアアルノデアリマス、サウスルト云フト國稅ヲ無理ニ取ル爲ニ、擔稅能力ヲ破壞スルガ爲ニ起ル所ノ弊害ハ、一國稅ノ範圍ニ止マリマセヌ、一地方稅ノ範圍ニ止マリマセヌ、是ハ其納稅者ノ全財産ヲ破壞スルト云フコトニ相成ルト云フ危

險ガアルト云フコトヲ、私共繰返シ繰返シ申上ゲナケレバナラヌ、之ニ對スル對策ト云フモノヲ十分御講ジニナラナケレバ、海軍軍縮ノ餘剩財源ハ是ダケデアルカラ、其範圍デ以テ出來得ルダケノ減稅ヲスレバ、ソレデ政府ノ責任ハ盡セルノダト云フヤウナ御答辯ヲ以テ、此委員會ハ御過シハ出來マイカト失禮ナガラ考ヘルノデアリマス、是等ニ對シテ御意見ヲ拜聽致シタイト思ヒマス

○井上國務大臣 苛斂誅求ノコトニ付テハ色々注意シテ居リマス、殊ニ斯様な時代ニハ最モ注意スベキ事柄ト云フコトハ十分承知シテ居ル次第デアリマス、只今之ニ對スル對策ヲ講ジテ初メテ稅ガ全ウスルト云フ御說デアリマシテ、過日來段々申上ゲタヤウナ狀態デアリマシテ、現在ノ經濟界ニ對スル對策等ニ付テモ申上ゲタヤウナ次第デアリマス、サウ御承知ヲ願ッテ置キマス

○高橋委員 私ハ今ノ對策ヲ先日來辯ヲ求ムル質問ヲ致シタノデアリマシテ、又之ニ付テハ色々水掛論ノヤウニナッテモイケマイト思ヒマスカラ、多少ノ具體的ノ數字ヲ舉ゲテ、私ハ之ニ對シテ御答ヲ戴クト云フコトモ必要デア、其方ガ宜シイカト思ヒマスカラ他ノ機會ニ譲リマス、或ハ此機會ニ於テ

モ段々伺ッテ見マシテ、數字が出テ參リマスレバ其數字ニ依ッテ立論シテモ宜シイノデアリマスガ、今銀行ガ新規貸出ニ用ユベキ資金ハドレ程アルカ、全國ノ銀行ハドレ位ノ預金ヲ持ッテ、現今ノ貸出ハドウ云フ工合ノ狀況ニナッテ居ルカ、ソレデ新規貸出ノ所謂遊金ト言フト語弊ガアリマセウガ、サウ云フコトヲ申シマス又面倒ニナリマスカラ、新規貸出資金ト云フモノハドノ位アルカト云フコトヲ、此場合主税局長カラデモ、銀行局長カラデモ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス——今委員

長カラノ御註文デ蠶絲局長ガ見エテ居ルカラ其方ヲ片付ケテハドウダト云フ御言葉デアリマスガ、ソシナニ長イ事デモナカラウト思ヒマスカラ左様ニ致シテ宜シウゴザイマス——ソレデハ大藏大臣ニ御願シ置キマス、成ベク詳シイ表ヲ御示ヲ願ヒタイ

○井上國務大臣 承知致シマシタ

○高橋委員 ソレデハ蠶絲局長ニ御願致シマスガ——一二ト終ッタカラサンシト云フ譯デハナイノデアリマスガ(笑聲)此前三斯ウ云フコトヲ私共ハ考ヘテ居ッタノデアリマス、農林大臣カラ昨日ノ答辯ノ概要ハ聽カレタコト、思フノデアリマスルガ、私共ハ蠶絲補償法ニ依ッテ擔保品トシテ御預リニナッタ生絲ノ品位ニ付テ、非常ナル疑惑ヲ持ッ

テ居ルノデアリマス、將來處分スルニ當ッテモ是ハ容易ナラザル困難ニ逢著スルノデハナイカト思ッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ横濱、神戸兩方面ニ於ケル所ノ是等ノ擔保補償生絲ニ對スル品位ノ検査成績ヲ一應伺ッテ見タイ、斯ウ云フコトニナッテ居

戸ガ三割六分見當ニナッテ居リマス、ソレハ不合格數量ニ見テ約三割六分デアリマスガ、合格數量ニ見マシテモヤハリ同ジヤウナ割合デアリマス、是ハ兩方ノ割合ヲ取ッテ居リマセヌガ、大體横濱ノ三割五六分ガ神戸ニ當ッテ居リマ

ガ横濱ガ千五百九十八口、神戸ガ五百七十九口、ソレカラ検査合格數量ガ横濱ガ六千七百六十六口、神戸ガ二千四百八十三口ニナッテ居リマス

○小平政府委員 高橋サンノ御尋デゴザイマスガ、御答スル前ニ申上ゲテ置

カネバナラヌコトハ、此補償絲ノ貸出ハ輸出向ノ最優等格以上トナッテ居リ

○小平政府委員 最初申上ゲマシタノハ斤數デ申上ゲマシタガ、横濱神戸別

マ、ソレデ補償貸出ノ條件トシテハ輸出向ノ最優等以上ノ絲デサヘアレバ宜イコトニナッテ居リマス、其標準デ検査致シタノデアリマス、ソレデ検査總數量、即チ申込總數量ガ一千四百十二萬六千斤ニナッテ居リマス、其中デ不合格數量ガ二百七十七萬七千斤、検査合格數量ガ九百二十四萬九千九百九十九斤、其検査合格總數量ノ九百二十四萬

○高橋委員 合格不合格ト云フノハ、神戸ニ於ケルモノハ稍、同額デアアル、斯ウ云フヤウナコトニ承知致シテ宜シイノデアリマスガ、ソレトモ神戸ノ方ガ不合格ノ歩ガ強イノデアリマスガ、此三割六分ト云フノハ検査ノ數量ニ於テモ比例スルト云フ意味ニ伺ッテ宜シイノデスカ

○高橋委員 只今伺ッタ數字ハ初メニ伺ッタ横濱ニ於テ千五百何、神戸ニ於テ七十何ト云フノハ、是ハ合格數デスカ

○高橋委員 之ヲ神戸横濱ニ分ケマス

○高橋委員 其割合ヲ伺ッテ居ルノデハナイノデアリマス、此神戸ニ於ケル

○高橋委員 其割合ヲ伺ッテ居ルノデハナイノデアリマス、此神戸ニ於ケル

○高橋委員 之ヲ神戸横濱ニ分ケマス

○高橋委員 其割合ヲ伺ッテ居ルノデハナイノデアリマス、此神戸ニ於ケル

○高橋委員 其割合ヲ伺ッテ居ルノデハナイノデアリマス、此神戸ニ於ケル

○小平政府委員 一口ハ千斤デス

○高橋委員 サウ致シマスルト云フ

ト、此合格ハ當然今日ノ標準デ輸出向ニナル絲デアルト云フコトニ承知致シテ宜シイノデゴザイマス

○小平政府委員 是ハ補償貸出ヲスル

時ニ銀行ニ於テ輸出向最優等格以上ノ品デアルト見テ銀行デ貸シタノデアリマス、併シ其後ニハ荷傷ミトカ、反古ガ、既ニ長イノハ九箇月經テ居リマスカラ、現在検査スレバ其時トハ違ッタ標準ニナルカモ知レマセスガ、補償貸出ヲシタ當時ニ於テハ最優等格以上、輸出向絲ト云フコトデ貸出ヲシタ譯デアリマス、隨テ合格ニナッタ絲ハ補償貸出ヲシタ場合ニ於キマシテハ、總テ輸出向最優等格以上ニナッタ居ルノデアリマス

○高橋委員 是ハ検査ハ銀行デシタト

仰シヤルノデスカ、補償貸出ノ當時ニ於テハ銀行デ検査ヲシタノデアリマスカ

○小平政府委員 補償貸出ヲスル場合

ニ於テハ銀行デナクテ、第三者ガ検査ヲスル譯デアリマシテ、此第三者ト云フノハ、横濱ニ於キマシテハ輸出商、其他生絲問屋業者等、或ハ帝國蠶絲株式會社等ノ、其専門ノ技術員ヲ選任シマシテ、其技術員ガ毎日何十名デアリマスカ記憶シテ居リマセスガ、色々ナ

標準ヲキメテ、或ハ一般検査ナリ、或ハ比較検査ナリヲシタ譯デアリマス、

ソレデ銀行及ビ製絲業者ニ關係ナキ第三者ガ集テ検査ヲシタ譯デアリマス、神戸モ同様デアリマス

○高橋委員 此補償法ニ於キマシテハ

ソレノ何ト云ヒマスカ、施行法ト云ヒマスカ、施行規則ト云ヒマスカ、其中ニハ検査ノコトニ付テ何カ嚴重ナ規定ガアッタカト思ヒマスガ、是ハ誰ガ検査ヲシテモ宜シイト云フ規定デアッタノデアリマスガ、是ハ私ハ政府ガ検査ヲスルト云フヤウナ工合ニアノ箇條ヲ見テ居ッタノデアリマスルガ、其處ハドウナッタ居リマスカ

○小平政府委員 是ハ法律ノ方ヨリハ

寧ロ契約條項ニ入レテ居リマス、契約條項ニハ農林大臣ノ承認シタ検査方法ニ依ッテ検査スルモノニ限ルト云フコトニナッタ居リマス、御承知ノ通りニ今ノ生絲検査所ト云フノハ到底一箇月カ二箇月ノ間ニ一千万斤以上ノ絲ヲ検査スル人モナシ、能力モ全クナイノデアリマス、若シ生絲検査所デ此検査ヲシタナラバ、或ハ三四箇月ヲ要シタカモ知レス、ソレデ生絲検査所トシテハ直接此検査ヲスルト云フコトハ到底不可能デアリマシテ、農林大臣ノ承認シタ方法ニ依ッテ検査シタモノヲ補償法トシテ貸付ケルト云フコトニシタノデア

リマス、勿論是ハ銀行ト生絲ノ生産業者トノ間ノ貸借デアリマシテ、實際之ニ對シテ政府ガ補償ヲスルカドウカ、詰リ補償金ヲ交付スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、現在銀行ガ擔保

ニ持ッテ居ルモノ、或ハ既ニ其所有權ガ移ッテ居ルモノモアルカモ知レマセスガ、ソレヲ政府ノ承認ヲ受ケテ實際賣却スル時ニハ、政府ノ技術官ガ立會テ、果シテ補償ノ條件ニ合ッテ居ルカドウカト云フコトヲ具體的ニ検査シテ、其検査ノ結果補償條件ニ合格シナケレバ政府トシテ補償シナイノデアリマス、ソレデ銀行ト是ハ當業者ノ普通

ノ取引方法ニ依ッテ絲價ヲ安定スルト云フノガ補償法ノ精神デアリマシテ、普通銀行トソレカラ生絲ノ荷主トノ間、普通ノ金融關係ヲ特ニ補償法デ援助シタルト云フ建前ニナッタ居リマス、其結果取引關係ハ總テ普通ノ方法デヤッテ居ル、愈々政府ガ此絲ニ付テハ補償スルカドウカ、此口ノ貸出ニ付テハ補償スルカドウカト云フコトハ、具體的ニ其擔保物ノ處分ニ當ッテ、政府ノ技術官ガ立會テ最優等格以上デアッタカドウカ、或ハ輸出向デアッタカドウカ、其他數箇條ノ補償條件ニ該當シテ居ルカドウカト云フコトヲ見テ、此結果ヲ齎ラシテ、補償審査會ニ掛ケマシテ——補償審査會ハマダ出來テ居リマ

セスガ、補償審査會ト云フモノガ法律デ命令シテアリマス、補償審査會ト云フモノガ特ニ設置サレテ、其補償審査會ニ掛ケテ、果シテ補償條件ニ適ッテ居ルカドウカト云フコトヲ詳細調査ノ結果補償スルノデアリマス、デアリマスカラ若シ假ニ或ハ最優等格デナカッタト云フヤウナモノガ假ニアッタトスレバ、ソレハ補償シナイコトニナリマ

ス、隨テ補償貸出ヲシタ場合ニハ總テ最優等格以上、輸出向絲デアルト、農林省ノ規定ニ依ッテ設置シタ検査官ガ検査シタノデアリマスガ、若シ萬一神樣ニアラザル以上、或ハ何カノ誤リデ補償條件ニ適ハナイ絲ガアッタトスレバ、ソレハ銀行ノ損害ニナリマシテ政府ハ損害ノ補償ヲシマセス

○高橋委員 サウスルト云フト、此當

時ノ検査ノ責任ト云フモノハ當業者ガ負フノデ、政府ハ負ハナイト云フヤウナコトニ解釋シテ宜イノデアリマスカ

○小平政府委員 其検査ニ付キマシテ

銀行側ト當業者ノ方ト嚴重ナ契約ガ取交ハシテアリマス、ソレデ銀行ハ當業者ト云ヒマスガ、詰リ帝國蠶絲株式會社ニ對シテ、此検査ニ付テハ絕對ニ責任ヲ負ヒマスカト云フ契約條項ヲ差入レテアリマス、帝國蠶絲株式會社ハ検査ニ付テハ責任ヲ負ヒマスト云フ約定書ガハイト居リマス、隨テ財産上ト云

ヒマスカ、損害補償トカ云フ問題ハ、帝國蠶絲株式會社ガ責任ヲ負フコトニナッテ居リマス

○高橋委員 サウスルト云フト此品位ノ最優等格以上デナカッタ云フコトノ爲ニ生ズル損害ト云フモノハ貸出銀行ガ負フノデアッテ、政府ガ少シモ之ニ對シテ宜シイノデスカ

○小平政府委員 具體的ニ——此補償ノ絲ノ處分時期ニ當リマシテ、農林省ノ關係官ガ立會ヒマシテ、若シ不幸ニシテ補償條件ニ適ッテ居ラナカッタ場合ニハ、今御話ノ絲ノ品質ハ勿論、金利ノ點ニ付キマシテモ、其他總テノ點ニ於テ、補償條件ニ適ハナイト云フ結果ニナリマスレバ、ソレハ公平ナル補償審査會ニ掛ケマシテ、其處デ補償スベカラザルモノト云フコトニ決定スレバ、是ハ法文ノ命令ニ從ッテ補償致シマセス

○高橋委員 サウスルト補償スルカドウカト云フコトノ品位ノ鑑定モ、處分スル時期マデハ分ラスト云フコトニナルノデスカ

○小平政府委員 補償條件ハ單純ニ最優等格以上ト云フコトニナッテ居リマスガ、當業者ニ於キマシテハ、殊ニ銀行ニ於キマシテハ、自分ノ擔保物或ハ擔保流レデ、所有權ガ移ルカモ知レヌ

モノニ付キマシテハ、銀行トシテハドウ云フ品質ノモノガアルカト云フコトヲ、自分ノ營業トシテ調べテ置ク必要ガアル、生絲検査所ノ検査能力ハ非常ニ乏シイノデアリマシテ、昨年ノ四月以來品位検査ヲ始メテ居リマス、最近終ッタカドウカマダ其報告ヲ聽イテ居リマセヌガ、十日頃ノ報告ヲ見マスト品位検査ノ全部ノ調ハ終ラヌト申シテ

居リマス、併シ此品質ニ於キマシテハ、現在銀行ノ擔保物デアリ、或ハ銀行ノ所有ニナッテ居ルモノモアリマセウガ、品質ニ付キマシテハ、勿論最優等格以上デアリマスガ、具體的ニ何ノ品ガ何ト云フコトハ、銀行トシテハ今後絲ヲ有利ニ捌ク上ニ於テ、品質ニ付テハ絶對ニ營業上外部ニ漏ス譯ニ行カヌノデアリマス、隨テ昨日デゴザイマシタカ高橋サンカラ大臣ニ御依頼ガアリマシタ品質ヲ公表スルト云フコトハ、將來ノ補償絲ヲ有利ニ捌クト云フ點、市價ノ安定、其他色々ノ點カラ申上ゲルコトヲ差控ヘタイト思ヒマス

○高橋委員 サウスルト私ガ昨日大臣ニ御間申上ゲタ品位其他ノコトニ付テ、殊ニ不正ト認メラル、ヤウナル事實ガアッタト云フコトハ、當業者ハ此品位其他ノコトニ付テハ絶對ニ秘密ニシテ置カヌト云フト、商機上困ルカラ秘密ニスルカラト云フノデ、ソレ等ノ點ニ

觸レタクナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○小平政府委員 私ノ方トシマシテハ、最優等格以上デアアルカナイカト云フ検査ノ成績ハ發表出來マスケレドモ、其他ノ検査ハ當業者ガ今營業ヲヤッテ居ルノデアリマスカラ、銀行ガ成ベク政府及ビ銀行自身ノ損害ヲ少カラシメル爲ニ、亞米利加ニ有利ニ賣ル爲ニ、詳細ナ格付検査ヲヤッテ居リマスカラ、之ニ付テハ政府トシマシテハ、當業者ノ爲ニ、或ハ補償絲ヲ有利ニ處分スル爲ニ、世上ニ漏ラサナイ方ガ宜イト思フノデアリマス、又當業者ノ方ニ於テハドウシテモ今漏シテ貰テハ困ル事情ガアリマスカラ、品質ニ付テ具體的ニ細カク申上ゲルコトハ差控ヘタイト思ヒマス、現在是在ハ銀行ノ所有ニナッテ居ルモノモアリマス、或ハ銀行ノ擔保ニハ

イッテ居ルモノモアリマスガ、ドウセ所有權ガ全部銀行ニ移ルコトニナッテ居ルモノ、善イ惡イト云フコトモ、公ノ席デ公表スルコトハ農林省トシテハ差控ヘタイト思ヒマス

○高橋委員 事情ハ了承致シマシタガ、私ハ將來國庫ニ非常ナル損害ヲ及ボスト云フコトヲ憂慮致シテ、色々ナ質問ヲ致シタノデアリマスガ、入梅期ノ雨ト云フモノハ非常ニ絲ノ爲ニ損害

ヲ及ボスモノデアアル、デスカラソレモ半年位藏ッテ置イテ荷傷ミガ非常ニ多カッタ、斯ウ云フコトハ私ハ想像シ得ラレナイノデアリマス、殊ニ斯ウ云フ補償絲デアリマスカラ、倉庫ニ於テ保管スルニモ、十分ナル注意ヲ拂ッタニ違ヒナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、デアリマスカラハ十分注意ヲ致シタコトト私ハ考ヘルノデス、ソレニ對シテ荷傷ミガアッタト云フコトハ、預カル當初カラ荷傷ミガ生ズベキヤウナ狀態、異常ノ狀態ニアッタノデハナイカト思フノデス、普通ノ場合ニ於キマシテハ二年間保存スルト、多少ノ荷傷ミガアルト云フノガ殆ド原則的ニナッテ居ルノデス、隨テ二年以上ノ絲ハ餘程價格ニモ變化ガアルノデアリマス、ソレヲ一年、殊ニ昨年ノ春ニ受取ッタ物、四月以降ニ受取ッタ物ガ、若シモ其當時非常ニ古イ絲デアッタト云フナラバ別問題、新絲デアッタトスレバ、私ハ今日ニ至ッテソレガ爲ニ荷傷ミガアルト云フコトハ、思モ依ラナイノデアアル、隨テ大臣ハ昨日ハ全部鑑詰ニシテ居ッタヤウナコトヲ仰セニナッタノデスガ、私ハソレニ付テ少シ疑問ヲ挾ンダノデス、鑑詰ハ此間漸ク終ッタヤウニモ承知シテ居リマスガ、是ハ大臣ノ御間違デアルカ、私ノ間違デアルカ知リマセヌガ、當初鑑詰ニシテ置イタナラバ、今日ハ荷傷

ミガ生ズルコトハ無イト思フ、罐ニハ
イル前ノ状態ニ於テ、サウ云フ状態ニ
アツタノデハナイカ、斯様ナコトモ考ヘ
マシタ、私共ハ是ハ當局ニ於テサウ云
フ工合ニ、色々ナコトヲ見逃シテ置ク
ト云フコトハ、政府ノ責任ニナリハシ
ナイカト云フコトヲ慮レテ、色々ナ質
問ヲ繰返シテ居ッタノデアリマス、之ニ
對シテドウ云フ……

○小平政府委員

私ハ荷傷ミガアルト

ハ申上ゲマセス、此補償額ニ付キマシ
テハ、從來ノ經驗モアリマシテ、大正
十年ノ時モ全部罐ニ入レマシタ、今度
モ其例ニ從ッテ全部——罐ト云ヒマス
カ相當厚イ鐵ノ鍍金シタ鉄ノ大キナ箱
ノ中ニ入レテ、サウシテ濕氣ヲ抜ク爲
ニ其中ニ「アドソール」ヲ入レマシテ、

全ク乾燥状態ニシテ、サウシテスッカリ
鐵ノ箱ニ入レテ「ハンダ」ヲ著ケテ、空
氣ガ一切通ハナイヤウニシテ、更ニ其
外ヲ五分板デスッカリ張ッテ、サウシテ
今保管シテ居リマス、ソレデ此罐詰ニ
スル爲ニハ非常ニ時日ヲ要スルノデゴ
ザイマス、殊ニ検査ヲシテカラ後罐詰
ニシタイト云フ銀行ノ希望デアリマシ
テ、検査所ノ能力ノ最大能力ヲ發揮シ
テ、一日ニ五十二罐ト云フノハ非常ニ
例外デ、普通ハ二十二罐デスガ、五十
二罐ヲ夜業マデシテ検査ヲシテ居リマ
ス、ソレヲ今申上ゲタヤウナ罐詰ニシ

テ完全ニ保存シテ居ルノデス、ソレヲ
大臣ノ御話ハドウ云フ御話デゴザイマ
シタカ、検査ガ間ニ合ハナイ場合ニハ、
假罐詰ト稱シテ品位ノ検査ヲシナイデ
罐詰ニスル、後デ罐ヲ解イテ更ニ検査
ヲシテ、復タ罐詰ヲシ直ス、サウ云フ工
合デ成タケ大速力デ全部罐詰メテシ
マフ、大正十年ノ經驗ニ依レバ、罐ニ入
レテ二箇年ハ餘リニ品質ノ變化ハ無イ
ノデアリマス、恐ラク今度モ相當長イ期
間保存シテ置イテモ、品質ノ被害ト云フ
モノハ殆ドナイト思フノデアリマス、併
シ今私ハ假想シテ申上ゲタノデアリマ
スガ、最優等デアルヤ否ヤト云フコト
ハ、横濱ニ於テハ今マデ格付取引ガ行
ハレテ居リマセス、格付取引ガ行ハレ
マセス結果、最優等ト云フ格ニモ多少
變化ガアリマス、「セリプリン」ノ點數七
十五點ノモノヲ最優等ト今稱シテモ、一
年後ニハ是ガ最優等デアナイ場合ガアル、

ソレカラ現在市況ガ非常ニ惡クナリマ
スト、輸出向ノ絲ト云フモノ、點數ガ
非常ニ高クナル、ソレデ昨年ノ二月、
三月頃、輸出向ノ絲ト稱セラレタ點數
ガ例ヘバ——是ハ假定デアリマスガ、
「セリプリン」ノ點數七十五點ノモノガ
輸出向ノ絲トシテ取扱ハレテ居タノニ、
現在ハ八十點以上ニナッテ居ル、相場ガ
低クナレバ輸出向ノ絲ノ點數ガ辛クナ
ルト云フ事情デアリマシテ、最優等ノ

格ト云フモノハ一年ヤ二年デハ餘リ變
化ハナイケレドモ、輸出ニ向クモノナ
リヤ否ヤト云フ事ガ、時ニ依ッテ非常ニ
違ッテ來ルノデアリマス、デアリマスカ
ラ補償ヲ開始シタ當時ノ條件トシテハ
最優等格以上輸出向ノ絲デアルト云ウ
テモ、十箇月後ニ是ガ輸出向デアッテ最
優等格デアリ得ルト云フコトハ、萬ガ
一或ル場合ニハサウ云フ風デナイカモ
知レスト思フノデアリマス、併シ大體
罐詰ニシテ殆ド品質ニ變化ナキ状態ニ
在リマスカラ、愈々絲ヲ處分シヨウト云
フ場合ニ、検査官ガ立會ッテ嚴重ニ検査
スレバ、政府ノ損害トシテハ全ク御心
配御無用デアルト思ヒマス、最優等格
輸出向以上デアルト云フコトニ付キマ
シテハ、是ハ横濱、神戸ノ商取引、商慣
習ニ任セルヨリ方法ガ無イト思フノデ
アリマス、現在ノ最優等格ガドノ點數
デアルカト云フコトハ定マッテ居ラナ
イ、何點以上ノモノガ最優格デアルト
云フコトハハッキリシテ居ラナイ、幸ヒ
今度農林省デ提案シテ居リマス格付取
引ニ關スル法律ガ制定サレ、バ、是ハ
明瞭ニナリマスケレドモ、現在ハ國家
又ハ公ノ機關デ最優等ハ何デアルト云
フ格付ヲシテ居ラスノデアリマスカラ、
ドウシテモ横濱、神戸ノ取引慣行ニ
任セテ、其標準デ最優格以上ノ輸出向
絲、斯ウ云フコトニ判定スルヨリ外ニ

方法ガ無イト思フノデアリマス、又商
慣習ニ從ッテ補償ヲ開始シタ當時ニハ、
十分嚴重ナル検査ヲ致シタノデゴザイ
マス、ソレデ全部ノ生絲ニ對シテ漏レ
ナク検査ヲシタノデゴザイマス、ソレ
カラ尙ホ補償ヲ開始スル前ニ不合格ト
申上ゲマシタノハ、是ハ色々惡イ絲ヲ
持ッテ來テ取替ヘサスノモ相當ゴザイ
マス、惡イ絲ヲ持ッテ來テ、サウシテ是
ハモウ到底合格スル見込ガ無イカラ
持ッテ歸ッテ良イ絲ヲ持ッテ來イト云フ
ノデ取替ヘサセタノデゴザイマス、或
ハソレナ點ガ新聞ニ漏レテ、新聞ニ傳
ヘラレテ、惡イ絲ガ澤山ハイッテ居ルト
云フヤウナ風評ガ出タノカトモ思フノ
デアリマス

○高橋委員

詳細承リマシタ、ソレデ

帝蠶會社ト政府トノ間ニ契約ガア
テ、絲ノ品位ニ付テ生ジタル損害ト云
フモノハ全責任ヲ負フト云フコトノ
爲ニ、政府ガ責任ヲ免レルノデアルト
云フコトニナッテ居レバ、帝蠶會社ト云
フモノハ御承知ノ通り限リアル資力ノ
會社デアリ、擔保品ノ處分其他ニ付テ
相當ナ穴ガ明クト云フヤウナ事モ豫想
シ得ラレルトスルト、其資力ハ頗ル薄
弱デアッテ、帝蠶會社ガ契約ヲ致シタカ
ラ政府ハ安全デアルト言ヒ得ナイト思
ヒマスガ、只今ノ御話ノ如クニ銀行ガ
後ノ責任ハ負フノデアルト云フコトニ

ナレバ——後ノ責任ト言フト語弊ガアリマスガ、今ノ品位ノ缺陷ニ付テ損害ヲ蒙ツテモ銀行ガ其責任ヲ負フト云フコトニナレバ、政府ニハサウ大シタ迷惑ヲスマイ、相當ナル銀行ガ携テ居ルノデアアルカラ、此位ノ事デハ銀行ガ行詰ルト云フヤウナコトハ想像ガ出來ヌノデスカラ、銀行ガ責任ヲ負ヒ得ル状態ニナツテ居ルト云フコトナラバ、稍、吾々ハ安心ガ行キ得ルト思フノデアリマス、其點ヲハッキリ御答辯ヲ願フテ置キマス

○小平政府委員 御答致シマスガ、是ハ補償契約ニ明瞭ニハイッテ居リマシテ、政府ハ補償條件ニ適タモノデ、而モ補償審査會デ補償シテ宜イト云フモノニダケ補償スルノデアリマシテ、其

他ノ補償セザル損害ト云フモノハ總テ銀行ガ責任ヲ負フト云フコトニ、是ハ明瞭ニ補償契約ニハイッテ居リマス、隨テ若シ銀行ガ不注意デ以テ補償條件ニ適ハナイ絲ヲ擔保トシテ取レバ、ソレハ普通ノ銀行ノ金融取引デアッテ、補償法トハ全ク關係ナキ貸出ニナルノデアリマス、其點ハ補償契約ニ明瞭ニナツテ居ルノミナラズ、農林省ノ施行規則ニモ明瞭ニナツテ居リマス、補償ヲ受ケザル損害ト補償ヲ受クル損害ノアッタ場合ハ如何ニスルカ、補償ヲ受ケザル場合ハ銀行ガ責任ヲ負ッテ、債務者カラ取

立テルナリ、帝蠶會社カラ取立テルナリ、保證人ガアルナラバ保證人カラ取立テルナリ、ソレハ銀行ノ全責任デアッテ、政府ハ補償條件ニ適タモノダケ補償スルノデアッテ、其他ハ全部銀行ノ責任デアリマス、隨テ銀行ガ過失ニ依ッテ、或ハ品傷ミガ餘計出來タトカ、銀行ノ擔保ノ保存方法ガ惡カッタト云フコトハ總テ銀行ガ責任ヲ負フトコトニナツテ居リマス

○高橋委員 ソレデ餘程ハッキリシテ參ッタノデアリマスガ、モウ一點ダケ承リタイト思フノハ、帝蠶會社ト政府トノ間ニ於テハ檢査ニ對スル責任ノ契約ガアルト云フヤウナコトヲ先程一寸私ハ伺ヒマシタガ、ソレハ必要ガナイコトデヤナイカト思フ、銀行ト帝蠶會社

ノ間ニハサウ云フ契約ガ生ズルカモ知レマセヌガ、政府ト帝蠶會社トノ間ニ檢査上ノ責任ノ歸著點ト云フヤウナモノハ、サウ問題ニハナラヌト考ヘマスガ、其處ハドウナツテ居リマスカ

○小平政府委員 私ハ政府ト帝蠶會社株式會社ト契約ガアルトハ申シマセヌ、政府ハ唯帝國蠶絲株式會社、其他銀行ガ認メタ第三者ノ檢査方法ニ付テ

ニ付テ農林省ハ認可シタダケデ、帝蠶株式會社ハ銀行團ニ對シテ全責任ヲ負フト云フ一項ガ這入ッテ居リマス、政府

ノ方ニハ何等サウ云フコトハ這入ッテ居リマセヌ、政府ノ方ノ唯認可ヲ受ケタダケニナツテ居リマス

○高橋委員 ソレデ其點ハ明カニナリマシタ、サウスルト要スルニ私ノ心配ヲ致シテ居ッタ補償生絲ノ品位、又不正行爲ト目セラレルヤウナコトカラ生ジタ損害ト云フモノハ一切政府ニハ迷惑ガ掛ラスデ、最後ノ責任ノ歸著ハ銀行デアッテ、政府ニハ及バナイ、デアアルカラソレ等ノ私ノ舉ゲタ缺點ニ依ッテ生

○小平政府委員 政府ハ補償條件ニ適タモノニ付テダケ補償スルト云フ責任ヲ負ッテ居ルダケデアリマス、是ハ勿論行政ト監督ト云フコトハ別ニシテ、金錢上ノ責任ト云フモノハ、補償條件ニ從ッテ貸出シタ——補償條件ニ適タモノニ付テノミ政府ハ責任ヲ負フノデアリマス、ソレ以外ノコトハ全部銀行ノ責任デアルト云フコトヲ申上ゲテ間違ナイト思ヒマス

○高橋委員 是ハ補償契約ノ條項ニアラズ、何ト云ヒマスカ、補償委員會ニ於テ定メタル補償條項ヲ一々詳シク記憶ハ致シテ居リマセヌケレドモ、私ノ

申上ゲタヤウナ事實ト云フモノハ、補償條項以外ノモノデアッテ、政府ハ何等之ニ責任ヲ負フベキモノデナイカラシテ、政府ニ損害ヲ及ボスヤウナコトハ毫末モナイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○小平政府委員 左様デアリマスガ、最前申上ゲマシタヤウニ貸出シタ場合ニ於キマシテ色々風評ガアリマシタケレドモ、私ノ方ノ調べタ所ニ依リマ

○高橋委員 風評ニアッタヤウナ事ガナイカラ損害ヲ及ボサナイト云フコトデスガ、サウ云フ事ガ若シアッタトシテ見テモ、補償條項以外ノ事デアッテ、最後ノ責任ノ歸著點ト云フモノハ銀行デアアルカラ、政府ニ及バナイト云フコトヲ承知シテ、ソレハソトシテ、若シモ私ノ疑ヲ挾ンデ居ルヤウナ事ガアツタトシテモ、ソレハ政府ノ責任ノ範圍外デアアルカラ、隨テソレニ依ッテ生ズル損害ト云フモノハ政府ニ及バナイ、斯ウ云フ二通りニ其處ヲキメテ戴カナイト、折角分リ掛ケタコトガ分ラナクナツテ來マス

○小平政府委員 御説ノ通りデアリマス

○内田委員 一寸私議事進行ニ付テ一

言シタイノデアリマス、私ハ後カラ此處ニ御邪魔ニ出テ甚ダ我儘ヲ言ッテ濟ミマセスガ、海軍大臣ヲ急立テ、今日七時半カラ御臨席下サルコトニ委員長ヲ煩シタノデアリマス、實ハ今マデノ經過ヲ存ジマセスカラ、今速記録ヲ調ベヨウトシマシタガ、漸ク十七日ノ分ガ今出來テ來タヤウナ譯デアリマスカラ、甚ダ我儘ヲ申シテ濟ミマセスガ、速記録ガ成ベク早く出來ルヤウニ、委員長カラ速記録ナリ庶務課ノ方ニ御督促ヲ願ヒタイ、尙ホ海軍大臣ニ對スル質問ハ速記録ヲ能ク調ベタ上デ質問シマセスト、後ニ煩雜ナ手數ヲ殘ストイケナイシ、明後日位ニハ速記録モ出來テ來ルダラウト想像シマスカラ、其速記録ヲ見タ上デ、海軍大臣ノ御臨席ヲ願ッテ質問シタ方ガ手取り早く話ガ片付クデアラウト思ヒマス、サウ云フ風ニ委員長ニ御計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス

○**本田委員長** 内田君ノ御希望モアリマスガ、海軍大臣ニハ他ノ方カラモ請求ガアルノデアリマスカラ、繰合セテ七時半カラ出席セラレルノデアリマス

○**武田委員** 内田君カラ御請求ガアリマシタガ、二度モ三度モオイデ下サルコトハ海軍大臣モ御迷惑デアリマセウカラ、議事ノ進行上内田君ノ質問ト私

ノ質問トヲ一緒ニシタ方ガ便宜デアラウト思ヒマス、必ズシモ今晚デナクトモ宜シウゴザイマスカラ、海軍大臣ト能ク御打合せ下サルコトヲ御願致シマス

○**本田委員長** 尙ホ其事ハ休憩中ニ理事會ヲ開イテキメタイト思ヒマスガ、ドノ程度ニ質問ヲ繼續スルカト云フコトハ是カラキメル事柄デアリマスカラ、皆サンノ御希望ノ點ハ委員長トシテ承知シテ置キマス、ソレデハ海軍大臣ノ出席ハ今日ハ取消シマスカ

○**内田委員** 明後日御出席下サルナラバ私ハ今晚デナクテ宜シウゴザイマス

○**高橋委員** 今ノ蠶絲局長トノ問答ヲ片付ケテシマヒタイト思ヒマスガ、今ノ海軍大臣ノ出席ノ問題ハ、是ハ間モナク食事ノ爲ニ休憩サレルダラウト思ヒマスカラ其際能ク御相談ヲ願ッタル宜カラウト考ヘテ居リマス、今蠶絲局長ノ御答辯ヲ承リマス云フト、ヤハリ私ノ疑ッテ居ッタヤウナ事ガ幾分ナリ事實ト致シマシテモ、其部分ハ政府ニマデ損害ハ及バナイト云フコトニハ何等變リハナイノデアルト云フヤウニ承ッタヤウニ思ヒマスガ、ソレデ差支ナイノデアリマスカ

○**小平政府委員** 左様デアリマス

○**高橋委員** 左様ニ致シマス、品位ノ缺陷ニ基ク所ノ損害ハ政府ニ及バナ

イト云フト、私ノ心配シテ居ル點ハ餘程抹消サレルノデアリマス、行政監督ガイカストカ云フヤウナ責任問題等ハ今ハ申シマセヌ、ソレハ別個ノ問題トシテ、此委員會ニ於テ私ノ問ハントスル所ハソレデ満足致シマス

○**小平政府委員** 品位ノ缺陷ト云フ意味ハドウ云フ意味デアリマスカ、詰リ最優等格以上ノ輸出向ノ絲、其品位以下ノモノデアルト政府ノ責任デヤナイノデアリマス、品位ノ缺陷ト云フノハドウ云フ意味デアリマセウカ、サウ云フ意味ニ御取リヲ願ヒマス

○**高橋委員** 私ノ品位ノ缺陷ト謂フノハ、最優等格以上ノ品位ヲ有スル物ト云フ意味ナノデアリマス、其意味デアリマス、サウスルト私ノ心配ト云フモノ、大部分ハ、ソレデ消エルノデアリマス、隨テ今銀行ガ銳意損害ヲ少ナクショウト云フノデ、此絲ノ處分ノコトヲ心配致シテ居ルヤウデアリマスカラ、先日ノ最後ニ於ケル質問ト云フモノハ、私ハアレ以上ニ追窮致シマセヌ、又當業者ガ是ガ爲ニ商機ヲ誤ルヤウナ事ガアッテハナラズ、取引ノ上ニ損害ヲ生ゼシムルヤウナ事ガアッテハ宜シクナイト思ヒマスシ、ソレ等ノ點ニ付テハ觸レナイト云フ御方針デアルト云フヤウナコトヲ承ッテ居リマス、産業ノ上カラ云ッテ是モ一應ハ御尤ダト思ヒマス

併ナガラ此補償ノ絲ノ賣出シト云フコトニ付テハ、私ハソレニ付テ大ナル疑問ヲ挾ンデ居ルノデアリマス、吾々ハ能ク可ンバ全部海外ニ出サナイト云フヤウナコトニセラレタイト思フ、併シドウシテモ日本ノ内地向ニナラナイト云フヤウナ「デニール」ノ非常ナ細イ絲ハ是ハ已ムヲ得ナイ、日本デ使ヘナイト云フコトナラバ是ハ已ムヲ得ナイガ、併ナガラ細絲デモ用ヒヤウニ依ッテハ燃絲ニシテ之ヲ使フト云フ方法モ近來ハ行ハレル、ソレデアルカラ何カ工風ヲシテ、是ガ使ヒ得ルト云フナラバ、吾々ハ全部海外ニ出スト云フコトヲ致サズ、我國ノ生絲ヲ是レ以上又再ビ下向キノ趨勢ヲ迪ラシメルコトヲ避ケタイト云フ熱望ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○**高橋委員** 今ノ蠶絲局長トノ問答ヲ片付ケテシマヒタイト思ヒマスガ、今ノ海軍大臣ノ出席ノ問題ハ、是ハ間モナク食事ノ爲ニ休憩サレルダラウト思ヒマスカラ其際能ク御相談ヲ願ッタル宜カラウト考ヘテ居リマス、今蠶絲局長ノ御答辯ヲ承リマス云フト、ヤハリ私ノ疑ッテ居ッタヤウナ事ガ幾分ナリ事實ト致シマシテモ、其部分ハ政府ニマデ損害ハ及バナイト云フコトニハ何等變リハナイノデアルト云フヤウニ承ッタヤウニ思ヒマスガ、ソレデ差支ナイノデアリマスカ

○**高橋委員** 左様ニ致シマス、品位ノ缺陷ニ基ク所ノ損害ハ政府ニ及バナ

イト云フト、私ノ心配シテ居ル點ハ餘程抹消サレルノデアリマス、行政監督ガイカストカ云フヤウナ責任問題等ハ今ハ申シマセヌ、ソレハ別個ノ問題トシテ、此委員會ニ於テ私ノ問ハントスル所ハソレデ満足致シマス

ス、是ハ私ハ國民ノ大多數、殊ニ養蠶業者ノ建前カラ此事ヲ熱望シテ居ルノデスカテ、局長ニ於カレテハ此事ニ付テ十分御考慮ヲ願ヒタイ、一旦中央會其他ノ機關ニ於テ色々申合セタコトニ付テハソレハ承認ヲナサタヤウナ形ニナタヤウニモ承ッテ居リマス、若シモマダ未確定ノモノデアルナラバ、三月一杯ノ全體、竝ニ三月或ハ四月カラ補償絲ヲ五千梱ヅ、順次海外ニ賣出スト云フ計畫ガ確定的ノモノデアルナラバ、私ハ之ヲドウシテモ中止シテ頂キタイト云フ熱望ヲ持ッテ居リマス、此委員會デ是等ノコトヲ論議スルノハ議事ノ進行上非常ニ憚ル所ガアリマスカラ、若シ確定的ノ問題デアルナラバ他ノ機會ニ於テ之ニ付テ當局ト十分ナル意見ノ交換ヲ行ッテ、吾々ノ意ノ在ル所ヲ十分理解シテ戴イテ、是等ノ決議ヲ撤回セシメルヤウニ御盡力ニ與リタイト云フ希望ヲ有ッテ居リマス

○小平政府委員 今ノ御話ハ御尤デアリマスガ、實ハ補償絲ハ十四萬八千梱位、當業者自身ガ保管シテ居ルモノガ五萬梱デ、約二十萬梱ノ滞貨デアリマス、當業者ノ方デハ去年ノ十月頃カラ亞米利加ノ其方面ノ事情モ調ベテ、ドウシタナラバ此滞貨ヲ日本ノ後カラ出テ來ル絲ニ影響ナシニ處分出來ルカト云フコトヲ詳細ニ研究シタ譯デアリマ

ス、ソレデ其當時紐育ニ駐在シテ居ル日本ノ領事トモ色々ニ相談シマシタカ、結局昭和六年ニナツテカラ月々亞米利加ヘ出ス、若シ市價ガ餘リニ弱氣ニナレバ勿論出サスケレドモ、一應ハ一定數量ヲ紐育ヘ送ル、送ルニ付テハ紐育ノ消費量ニ餘リ影響ナキヤウナ僅ナ數ヲ定メテ月々送ル方ガ、市場ヲ明ルクスル爲ニハ一番宜イデハナイカト云フコトニ大體意見ガ纏ッタノデアリマス、併シ内地ノ市場ニ影響ナキ方法デ内地デ消費出來ルナラバ、是モ亦一ツノ方法デハナイカ、内地消費ニ幾ラ向ケ得ルカト云フコトヲ先ヅ考ヘテ見タラドウカト云フノデ、段々調査研究シタ結果、内地ニハ約十萬梱ヲ使ハセルヤウニシタラドウカ、ソレデ十萬梱ト云フガ、今マデノ如ク織物ノ原料ニスルト云フノデハ入込ム餘地ガナイカラ、新シク洋服ヲ造ッテ、ソレデ内地ニ於テ約十萬梱ハ消化出來ルダラウ、此十萬梱ヲ消化スルニハ一年掛リマスケレドモ、兎ニ角内地向絲トシテハ洋服地ニスルノガ一番宜カラウト云フノデ、其方面ニハ精々十萬梱以上ハ無理デアアル、其他ハ亞米利加ヘ毎月五千梱見當ヲ送ッテ消化スルコトガ宜カラウト云フコトガ確定的ニ定ッテ居リマス、紐育ノ方ノ機械業者、生絲ノ取引業者モ、一旦定ッタ以上ハドウシテモ此方法

ヲ進ンデ貰ハナケレバ困ル、日本ニ滞貨ガアルト云フコトガ既ニ頭ヲ押ヘテ居ル、此滞貨ハ銀行ノ擔保物デアラウガ、政府ノ所有デアラウカ、誰ノ所有デアラウカ、是ガアルト云フコトガ市價ヲ下落サセル原因デアアル、一日モ早ク之ヲ影響ナキ方法デ消化シテ貰ヒタイト云フ向フノ當業者ノ希望モアリマシテ、當業者ノ方デハサウ云フ決議ヲシタ譯デアリマス、サウ云フコトデ内地向ノ方ニ於テハ、既ニ亞米利加カラ廣幅ノ絹織物ヲ織ル機械ガ十六臺著キマシタ、ソレデ近日中ニ織ル方ヘ進ンデ行ク譯デアリマス、隨テ内地向ノ十萬梱モ十分消化シ得ル見込デアリマ

ス、輸出向ハ残りガ十萬梱デアリマシタ、是モ横濱神戸ノ一日カ二日ノ取引數量ヲ標準ニシテ居リマス、五千梱ト云ウテモ大體横濱神戸ノ商ヒノ狀態デアリマスカラ、是位ナラバ殆ド影響ナキ方法デ消化出來ルノデアラウ、若シ影響ノ虞アル場合ニ賣出ヲシナイト云フ方法デ、當業者ガ非常ニ頭ヲ悩マシテ研究シタ結果、斯様ニキマッタ以上ハ之ヲ變更シテ貰ッテハ困ル、三月全休ヲスルト云フコトモ、確定シタ以上ハ必ズヤッテ貰ハヌト紐育ノ市場ヲ脅スコトニナルカラ、一旦定メタ以上ハ何處マデモ守ッテ貰ヒタイ、サウシナイト紐育ノ市場ガ明ルクナラヌ、サウ云フヤ

ウナ事情デアリマシテ、是ハ既ニ決定シテ、北米合衆國ノ絹業協會ニモ通知シテアリマス、其他市俄古邊リノ機械業者ニモ通知シテ諒解シテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、此變更ハ却テ日本ノ市場ヲ攪亂スルカ、惡クスル原因ニナルノデハナカラウカト思ヒマシテ、私共ノ方トシテハ一旦定ッタ以上ハ、是ハ海外ニ非常ナ影響ガアルカラ、絕對ニ變更シナイ方ガ却テ市場ヲ安定サセル所以デアアルト考ヘテ居リマス

○高橋委員 補償絲ノ損害ニ關スル疑義ハ、此程度ニシテ置キマスガ、今ノ全休ト云フコト、市價ニ惡影響ヲ及ボシタ時分ニ善後策ヲ考ヘルト云フヤウナ御考ニ付テハ、私共ドウシテモ納得出來ナイ、今マデノ政府ノヤリ方ト云フモノハ、何時デモ影響ガアッタナラバ其時ニ考ヘルト云フコトデヤッタノデアリマス、影響ガアッタト云フ時ニ先ノ狀態ニ轍回スルト云フコトハムヅカシイ、ソレデスカラ私ハ引繰返ラナイ内ニ相當ナル策ヲ講ジナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、先ヘ行ッテ問ヘタナラバ工風シヨウト云フコトデハ、到底蠶絲業ノ安全ト云フモノハ圖リ得ラレナイコトデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、是等ノ政策問題ハ重大ナルモノデアリマスカラ、農林大臣御出席ノ場合ニ、僅ノ時間ヲ割愛シテ戴イテ、

是等ノ事ノ一端ニ付テ意見ノ交換ヲ行ッテ見タイ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居

午後七時五十分開議

ヘル、斯ウ云フ單純ナ御答辯デアッタノ御尋ノヤウナ風ニ現ハレテハ居リマ

リマス、又農林大臣カラ蠶絲業ニ對シ、

○本田委員長 休憩前ニ引續キ開會致

ノデアリマス、併シ其當時私ハ、昨年ノ臨時議會ニ於ケル濱口サンノ御答辯

殊ニ養蠶家救済ニ關シテ色々御説ガアリマシタガ、之ニ付テハ此場合局長

○武田委員 我ハ海軍大臣ニ先日質問

ニ居ラレマシタノデアリマスカラ、其答辯ヲ詳細ニ御承知ナイコト、存ジマ

ニ御伺シタ方ガ宜イヤウニ思ヒマス

ノ三分ノ一程度ニ參ッタ時ニ、海軍大臣

シタノデ、速記録ヲ御目ニ掛ケテ御答辯願ヒタイト存ジテ居リマシタ、所ガ

ガ、ソナ事ヲ申シテ居ルト時間ヲ取

留致シテ置キマシタノデアリマシタ

質問應答ノ終ッタ後ニ、海軍ノ事務官ノ御方デアリマセウ、私ノ所ニオイデニ

リマスカラ、ソレ等ノ問題ハ又他ノ機

會ニ讓リマシテ、一旦此處デ農林省ニ

ナリマシテ、其速記ト云フノハ、ドウ云フモノデアリマスカト云フコトデア

對スル質問ハ打切リマス

○小平政府委員 今ノ御言葉ハ一寸

リマシタカラ、私ハ第五十八議會ノ衆議院議事摘要ニ總理大臣ノ速記ガ其儘

違ッテ居リマス、此影響ガアレバ後デ對

策ヲ講ズルト云フヤウナコトハゴザイ

在ルト云フコトヲ申上ゲテ、其頁數マデ御調ニナッテオイデニナッタノデアリ

マセス、絲價ガ下ル時ニハ賣出ヲ控ヘ

同ニ引續イテ……

マスカラ、此點ヲ能ク御覽下サッタコト、存ジマスガ、此總理大臣ノ速記ヲ

ルト云フ意味デアリマス

○本田委員長 武田君ニ一寸御注意申

上ゲマス、海軍大臣ハ内田君ノ御請求ニ依ッテ特ニ出席ヲ求メタノデアリマ

○永田委員 ドウモ補償絲ノ處分ノ問

題ハ、此委員會ト餘リ關係ガ少イカ

ラ、私モ遠慮シテ居リマシタガ、ドウモ新聞ナドヲ見テモ、皆金融業者バカリ

ノ會合デ、農民側ヲ代表シタ意見ハ此

中ニハ農林省ダケシカハイッテ居ラス、

私ニ對スル先日ノ御答辯ト、濱口總理大臣ノ御答辯トニ、何等ノ矛盾ナシト

農林省ガ尙ホ能ク——今出テ居ル生絲

ノ處分ト云フコトデナシニ、新シク生

今尙ホ御考デアリマスカ、其點ヲ先ヅ御伺ヒ致シマス

産サレル繭ニドウ影響スルカト云フコ

トニ、尙ホ一層慎重ナ御注意ヲ願ヒタ

○安保國務大臣 武田サンノ御質問ニ御答致シマスルガ、先日武田サンノ御

イト思ヒマス

○本田委員長 ソレデハ休憩致シマ

ス、後ハ午後七時三十分ニ始メマス

午後五時十二分休憩

テ見ルト成程御尋ノヤウニ、犬養サンニ對スル御答辯ノ一節デハ、武田サン

ソレヲ所謂艦艇補充ノ方ニ向ケ、其ア
トハ全部減税ニ向ケベキモノデアッテ、
別ニ穴ガアルカラ、ソレヲ埋メル爲ニ
ト云フ意味ノコトハ少シモ謳ッテナイ
カラ、補填ト云フヤウナ意味ニ使フベ
キモノデハナカラウト、斯ウ云フ御質
問デアリマシタケレドモ、是モヤハリ
今申上ゲマシタ潜水艦等ニ不足ガアレ
バ、何等カ他ノ方法ヲ以テ應ズルト云
フノハ、即チ兵力ノ或ル點ニ於テ不足
スル所ハ、他ノ方法ヲ以テ補フト云フ
意味ガアリマスカラ、五億八百萬圓
ノ中ニ艦艇補充ト云フ條約上ノ權利ニ
於テ取ル經費ヲ差引キマシタ其餘剩金
ノ中カラ、當然補填ノ意味ニ於テ航空
隊ノ充實、内容ノ充實ト云フヤウナモ
ノヲ取ッテ、サウシテ其残りノモノガ減
税ニ當ルト云フ事柄ガ、前回此議會ニ
濱口首相ノ答ヘラレタ意味ハ、主ト
シテ減税ニ充テルト云フ意味モアルノ
デアリマスカラ、別ニ違ガナイモノト
諒解シテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒ
マス

○武田委員 私ハ只今海軍大臣ノ御辯
解ニ對シテ、聊カ満足致兼ネルヤウニ
存ズルデアリマス、併シ今海軍大臣ハ
濱口總理大臣ノ私ノ指摘シマシタ御答
辯ニ對シテハ、左様ニ見エルヤウデア
ルケレドモ、他ノ場合ニ於テ之ヲ打消
スニ足ルダケノ答辯ガアッタカラト云
フ御話デゴザイマシタガ、私ハ他ノ場
合ノ答辯ト云フモノヲ、マダ調ベテ居
リマセスカラ、此點ニ付テハ敢テ深ク
此處デ質問致シマセヌ、併シ兎ニ角安
保大將モ既ニ御承知ニ相成リマシタル
如ク、私ノ先日指摘致シマシタ濱口總
理大臣ノ犬養總裁ニ對スル御答辯カラ
言フナラバ、餘リニ明白デアアルデア
リマス、先日モ申上ゲテアルヤウニ、
第一ニ於キマシテハ、帝國ノ保有勢力
ニ依ッテ帝國ノ國防ハ極メテ安固デア
ルト云フノガ第一番デアアル、ソレヲ承
ケテ、既ニ帝國ノ兵力量ハ何等不足ナ
シト言ッタ以上ハ、其所謂補填ト云フコ
トハ、勿論必要ノナイコトト云フコト
ハ極メテ明瞭デアリマス、而シテ第二
段ニ於テ、條約ノ此度ノ保留條項ニ依ッ
テ相當ノ代艦建造線上ノ權利ヲ得テ居
ルノデアリマス、其得マシタ權利ヲ如
何ナル程度マデ行使スベキカ云々ト言
フ以上ハ、既ニ穴ガ無イカラ補填ハ要
ラス、唯條約ニ依ッテ得タル權利ヲ、ド
ノ程度マデ行使スルカト云フキメ方ニ
依ッテ、保留財源ノ額ハキマルノデア
ル、斯様ナ御議論デアリマスカラ、其間ニ
何等疑フベキ餘地ハナイヤウニ思フノ
デアリマスガ、今申上ゲタル如ク、他
ノ場合ニ於テ左様ナ答辯ガアルカラ、
斯様ニ自分ハ諒解スルト、斯様ニ仰シ
ヤルナラバ、ソレハ其程度ニ止メテ、

私ハ其點ハ質問致シマセヌ、唯此場合
伺ッテ置キタイコトハ、海軍大臣ハ倫敦
條約ニ依ッテ、影響サレマシタル程度ニ
於テ、海軍ノ其他ノ費用ハ保留財源デ
支辨シテ宜シイト、先日來ノ御答辯カ
ラ承ルト、左様ニ私ハ諒解致スノデア
リマスルガ、左様諒解シテ宜シウゴザ
イマセウカ

○安保國務大臣 御答申上ゲマス、保
留財源ノ中カラ、權利ヲ得テ居リマス
アルモノ、中デ、倫敦條約ニ於テノ權利
ヲ行使スル爲ニ艦艇補充ノ計畫、サウ
シテソレノ費用ヲ引ッテ後ノ餘剩ノ
中カラ、潜水艦ノ不足等ヲ補フガ爲ニ
或ル施設ヲスル、其航空隊ノ増設トカ
或ハ内容充實ト云フヤウナコトニ、其
五億八百萬圓ノ中餘剩ヲ使用スルト云
フコトハ、當然ノコト、考ヘテ居リマス

○武田委員 其點ハ諒承致シマシタ、
尙ホ私ノ承リタイコトハ、倫敦條約ニ
依ッテ我ガ海軍ニ影響サレタコトヲ償
フベキ場合ト申シタノハ、言葉ガ廻リ
クドイヤウニナッテ、或ハ誤解ヲ生ズル
カモ知レマセスカラ、具體的ニ申シテ
見タ方ガ宜カラウト思ヒマス、即チ倫
敦條約ノ實行ノ結果ト致シマシテ、各海
軍工廠ニ於テ其製艦上ノ仕事ヲ縮小サ
レマシタ、縮小サレタ結果、最近新聞ニ
報ゼラレル所ニ依ルト、八千人以上ノ
職工ヲ解雇ナサルト云フコトニモ承ッ

テ居ルノデアリマス、是ハ倫敦條約ガ
ナケレバ解雇ト云フ必要ハナイコトデ
アラウト思フノデアリマス、前回ノ御
計畫通りニ致シマスレバ、即チ今日剩
餘財源トシテ現レマシタル五億八百萬
圓ヲ以テ豫定ノ計畫通り御遂行ニナレ
バ、此八千人ノ職工ヲ解雇サレル必要
ハ何モナイ、倫敦條約ノ影響トシテ解
雇スルコトニナル以上ハ、此解雇ニ對
スル所ノ手當其他ノモノハ、當然今海
軍大臣ノ御主張カラ申シマスルナラバ、
此五億八百萬圓ノ中カラ御支辨ニナル
ベキ筋合デアラウト思フノデアリマス
ルガ、海軍大臣ハ此點ニ向ッテ如何様ナ
御見解ヲ御持チデアリマセウカ

○安保國務大臣 武田サンノ御説ノ通
リ、倫敦條約ト云フモノガアリマセヌ
ケレバ、主力艦モ當然造ラナケレバナ
ラスト云フコトニナルノデアリマス、
隨テ此工廠ノ作業能力ト云フモノハ、
ヤハリ現在持ッテ居ル所ハ、少クトモ維
持シテ行カナケレバナラスノデアリマ
スカラ、此度整理スルト云フヤウナ必
要ハナイ次第デアリマス、サウシテ此
度整理スルト云フコトニナリマシタ、
ソレヲ何處カラ支出スルカト云フコト
ハ、大藏當局トモ話ヲ致シマシテ、適
當ニソレガ定マリマシタノデ、必ズシ
モソレヲ五億八百萬圓ノ中カラ支出シ
ナケレバナラスト云フ風ニ、私ハ堅ク

ハ取ル必要ハナイト思フテ居リマス

○武田委員 私ハ只今ノ海軍大臣ノ御答辯ニハ極メテ不満足ノ意ヲ表シマス、併シ他ニ私ハ二三重要ナ點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマスルシ、最初委員長ヨリノ御注意モアリマスルカラ、ソレハ同僚諸君ノ質問ニ譲リマシテ、私ハ進ンデ外ノ點ヲ御伺致シタイト思フノデアリマス、此度ノ整備計畫ニハ、先日來ノ御説明ニ依リマシテ、倫敦條約ニ依ッテ與ヘラレタル權利ヲ全部行使スルモノデナイト云フコトハ明白デアリマスガ、是ハ何故ニ權利ノ全部ヲ行使シナイコトニ相成ッタノデアリマセウカ、其點ヲ御伺致シマス

○安保國務大臣 是ハ先日モ申上ゲタカト存ジマスルガ、條約上ノ權利ハアリマスルケレドモ、是ハ必ズシモ全部今日ソレヲ決定シテ行使シナケレバナラストハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、此權利ノ差當リ著手スベキモノ、中デ、殘シテアルモノハ驅逐艦、之ヲ隻數ニスレバ、驅逐艦六艘ガ殘シテアルト云フ意味ヲ申上ゲマシタ、ソレカラ機雷敷設艦ノ五千噸ノガ一艘、是ハ二艘アル中ノ一艘此度造ッテ一艘ヲ殘シテアル、斯ウ云フ意味デアリマス、ソレカラ航空母艦ト云フコトモアリマスルガ、航空母艦ト云フモノハ、寧ろ華盛頓會議ニ於テキメラレタモノガ、今

日尙ホ一萬二千噸程噸數ガ殘ッテ居ル、斯ウ云フノデアリマスケレドモ、此驅逐艦ノ如キハ、是ハ今度十二艘拵ヘルノデアリマス、其十二艘ト大體ニ於テ同ジ型ヲ造ルト云フコトニ致シマスレバ、其船ノ船圖モ出來、船ノ型、所謂木ノ型モ準備ガ出來テ居リマス、ソレニ可ナリ時日モ掛リマスカラ、ソレガ出來テ居リマスレバ、今日我國ニ於キマシテモ、驅逐艦ヲ造ル造船所ト云フモノハ、官民トモ合セテ十箇所以上ニ互ッテ居リマスカラ、六艘位ノ驅逐艦ヲ拵ヘルノハ一年モアレバ出來マス、サウ云フモノハ、所要ノ際ニ急造ガ出來ルモノハ、今日財政ノ狀態カラ鑑ミマシテ、後ニ殘シテモ宜カラウト云フヤウナ意味ニナリマシタノデアリマス、又機雷敷設艦ノ如キハ二艘造ッテ宜イノデアリマスルケレドモ、其中ノ一艘ハ此度造リ、他ノ一艘ハ、丁度今八重山ト云フ艦ガ——機雷敷設艦ヲ今造リツ、アルノデアリマス、ソレデサウ云フ艦ガアリマシテ、尙ホ是ハ暫ク延バシテモ差當リ差支ナイト云フヤウナモノハ之ヲ延バシ、又航空母艦ト云フヤウナモノハ、是ハ華盛頓會議ノデアリマスルガ、是ハ一萬二千噸假ニ拵ヘテ、一萬二千噸ノ中ノ大部分ヲ拵ヘテシマヒマスト、是カラ十年モ十幾年モ其艦齡ガ來ルマデノ間、日本ハ一艘モ造ル

コトガ出來ナイノデアリマス、ソレデ日本ハ亞米利加ニ比較致シマスレバ、航空母艦ト云フモノハ、許サレテ居ル噸數ノ七割確カ四分位ノモノハ既ニ造ッテ居ルノデ、亞米利加ハ恐クハマダ五分幾ラホカ造ッテ居リマスマイ、サウ云フ狀態デアリマスルカラ、此後幾年カノ間ニ航空空艦ト云フヤウナモノハドウ云フ型ニシテ、ドウ云フ風ニシタ方ガ最モ有效ノモノデアアルカト云フヤウナコト等モ、進歩シテ行クノデアリマスルカラ、今急イデ造ッテシマヒマスレバ、モウ日本ハ造ルコトガ十數年出來ナイノデアリマスカラ、サウ云フモノハ暫ク外國ノ狀況ヲ見ル爲ニ延バスコトヲ適當トスル、斯ウ云フ意味

ツアルヲ特ム」ト云フコトハ、是ハ一種ノ金言ノミデハナイ、國防ノ如何ナル場合ニ於テモ、古今ヲ問ハズ、東西ヲ問ハズシテ、是ハ左様ナ心持ガ總テノ兵備ノ根本デアラウト思フノデアリマス、若シ果シテ私ノ斯様ナ見解ヲ海軍大臣ガ御承知ニナリマスルナラバ、既ニ權利ヲ得タルモノハ、之ヲ今御話ノ如ク先以テ根幹ヲ定メ、然ル後枝葉ヲ定メルト云フ順序方法ノ如キハ、或ハ此外國ノ情勢ニ依リ、或ハ財政ノ都合ヲ見ルト云フヤウナ御説明デアリマシタガ、ソレモアリ得ルカモ知レマセヌ、併ナガラ既ニ得タル權利ヲ行使スルニ當ッテ、又海軍大臣御自身ガ海軍國防ノ責任者トシテ、制限外艦艇ニセヨ、斯様ナモノガナケレバナラヌ、即チ國防ノ安全ヲ保持スルト云フノニハ、全體ノ計畫トシテ斯様ナモノガナケレバナラスト云フ、全體ノ計畫ヲ先ヅ御定メニナッテ、サウシテソレヲ四圍ノ狀況ニ鑑ミテ第一期、第二期ヲ定メルト云フナラバ、吾々ハ諒解スルノデアリマス、ケレドモ根幹ダケハ定メタガ、アトハ狀況如何ニ依ッテ決スルノデ、未ダ決定シナイト云フ御説明ガアリマスルカラ、ソレガ私ハ一寸諒解ニ苦シムノデ、左様ナ私ノ考ガ間違ッテ居レバ格別ニ致シマシテ、ドウモ今ノ御説明デハ物足ラヌヤウナ心持ガ致シマスルノ

重山ト云フ艦ガ——機雷敷設艦ヲ今造リツ、アルノデアリマス、ソレデサウ云フ艦ガアリマシテ、尙ホ是ハ暫ク延バシテモ差當リ差支ナイト云フヤウナモノハ之ヲ延バシ、又航空母艦ト云フヤウナモノハ、是ハ華盛頓會議ノデアリマスルガ、是ハ一萬二千噸假ニ拵ヘテ、一萬二千噸ノ中ノ大部分ヲ拵ヘテシマヒマスト、是カラ十年モ十幾年モ其艦齡ガ來ルマデノ間、日本ハ一艘モ造ル

○武田委員 只今海軍大臣ノ御答辯ノ趣旨ハ、豫算委員會其他ニ於テモ同様ナ御説明ノアッタコトヲ速記録ニ於テ承知致スノデアリマス、ソレダケナラバ敢テ茲ニ改メテ御問シナクテモ、大體速記録其他デ承知ハ致シテ居ルノデアリマス、私ガ此場合特ニ此御質問ヲ申上ゲタノハ、私ノ此見解ニ依リマスルト云フト、總テ海軍ニ拘ラズ、國防ノ要點ハ所謂「來ルナキヲ特マズ、待

メニナッテ、サウシテソレヲ四圍ノ狀況ニ鑑ミテ第一期、第二期ヲ定メルト云フナラバ、吾々ハ諒解スルノデアリマス、ケレドモ根幹ダケハ定メタガ、アトハ狀況如何ニ依ッテ決スルノデ、未ダ決定シナイト云フ御説明ガアリマスルカラ、ソレガ私ハ一寸諒解ニ苦シムノデ、左様ナ私ノ考ガ間違ッテ居レバ格別ニ致シマシテ、ドウモ今ノ御説明デハ物足ラヌヤウナ心持ガ致シマスルノ

デ、私ノ心持ヲ申上ゲテ、サウシテ何故根幹デケヲ定メテ、サウシテ其枝葉ト云フモノハ其儘ニシテ置カル、ノデアラウカ、斯様ナコトヲ伺フノデアリマス

○安保國務大臣 御答ヲ致シマスガ、

武田サンノ「來ルナキヲ待タズ、待ツアルヲ待ム」ト云フ御趣意ハ、其ノ通りデアリマス、御説ノ通りデアリマスガ、併ナガラ此兵力、殊ニ海軍ノ兵力ト云フモノハ、所謂國際的威力トシテ兵力ヲ持ツニ當リマシテ、殊ニ攻勢作戰デナクテ、攻勢の防守作戰ト云フコトニナリマスレバ、攻撃シテ來ル方ノ國ガ、ドウ云フヤウニ其權利ヲ行使スルカ、ドウ云フ程度ニ行使スルカ、而シテ行使スル艦ハ何ニ重キヲ置イテ、ドウ云フモノヲ造ルカト云フコトヲ見極メテ、而シテ之ニ對シテ防グニ最も有效ナモノヲ準備スルト云フヤウナコトハ、ドウシテモ必要デアアルノデアリマス、隨テ自守的ニヤラナケレバナラヌモノハ、無論アルノデアリマスルケレドモ、大部分ハヤハリ間ニ合ヒ得ルモノハ、先方ノ造ル狀況ヲ見テ、ソレニ打勝ツダケノ方法ヲ考ヘテ是ガ計畫ヲシ、又建造モスルト云フコトガ當然ノコトデアリマシテ、ソレニ付テ此度ハ若干ノモノガアトニ殘シテアル、斯ウ云フ意味デアリマス

○武田委員

然ラバ更ニ伺ヒマス、新聞紙ノ報ズル所ニ依リマスルト云フト、去ル四日ニ海軍省ノ加藤經理局長ト堀軍務局長ガ、貴族院研究會ノ審査部會ニ海軍ノ補充計畫ノ説明ニオイデ

ニナリマシテ、是ハ唯新聞ノ記事デアリマスルカラ、速記デアリマセヌカラ正確デハナイカモ知レマセヌガ、第二次ノ整備計畫ト云フモノハ、昭和九年度ヨリ第二次計畫ヲ初メタイト云フ希望ヲハッキリ御表明ニナッテ居ルト云フコトデアリマス、斯様ニ年度マデ指示シニナッテ、第二次計畫ヲ施設スルト云フコトヲ御表明ニナッテ居ル以上ハ、今大臣ノ仰シヤッタコトハ、何等ノ計畫モ立タズ、是カラ外國ノ情勢ヲ見、或ハ假想敵國ノ狀況ヲ能ク見テ、然ル後ニ計畫ヲ樹テルト云フコトデアリマスルガ、斯様ナル明白ナル御答辯ハ、公ノ席上デナイカモ知レマセヌケレドモ、兎モ角今議會ガ開ケテ居ル時ニ、研究會ノ審査部會ニ於テ、海軍當局ノ方々ガ斯様ナル明白ナル御答辯ニナッテ居ルト云フコトハ、私ハ一寸諒解ニ苦モノデアリマスカ

○安保國務大臣

堀政府委員ト加藤政府委員ガ、九年度カラ著手スル希望ヲ持ッテ居ルト云フコトノ御話ガアッタト云フコトデアリマスルガ、其點ニ付テ

此處デ私ガソレヲドウト云フコトハ御答致シ惡イケレドモ、是ハ昭和十一年度以前ニ於テ、或ル其先ノ計畫ノモノヲ冠セテヤルト云フヤウナ意味ニ於テ、希望トシテ九年度カラ始メテ——是ハ十年度カラ始マルカ、十一年度カラ始マルカ分ラヌト云フヤウナ意味ニナッテ居リマスガ、九年度ヨリ希望スルト云フコトガアッタカモ知レマセヌガ、ソレガ別ニドウト云フ意味ノコトハナカラウカト存ジマス

○武田委員

是ハ今申ス通り、私ハ新聞ノ傳ヘル所ヲ以テ伺ッタノデアリマスルガ、加藤經理局長御自身オイデニナリマスルカラ、其當時研究會ノ審査部會ニ行ッテ、如何ナル御話ガアッタノデアアルカト云フコトヲ、此處ニ伺ッタ方ガ極メテ明瞭デナイカト存ジマス

○堀政府委員

只今ノ御尋ニ對シマシテ、其時ノ事情ヲ私カラ申上ゲマス、研究會ノ一人ノ方カラ、第二次補充計畫トハ如何ナルモノデアアルカト云フヤウナ御質問ガアリマシタノデ、其時ニ答ヘタコトデゴザイマスガ、丁度ソレハ當院ノ豫算總會ニ於キマシテ、内田サンノ御質問ノ後デ、海軍大臣カラ製艦能力維持ノ爲ニ、一ノ海軍計畫ノ終期ニ於テ、他ノ海軍計畫ニ接續スル所ニ於テハ、幾分重複スル所ガアル、サウ云フヤウナ御話ガアッタ後ト記憶

シテ居リマス、其時ニ私ガ申上ゲマシタノハ、第二次補充計畫ト云フヤウナ言葉ニ對シテハ、觀念上ニツアル、一ツハ只今私カラ申上ゲマシタ製艦能力ヲ維持スル爲ニハ、或一部分ノ職工即チ造船職工ガ手ヲ空シクシテ次ノ計畫ガ來ルノヲ待ツ間ニ、次ノ計畫ガ少シ早ク行ハレテ居ナイト、其處ニ無駄ガ出來ルカラ、造船能力ヲ經濟的ニ維持スル爲ニハ、次ノ計畫ヲ少シ早く頭ヲ出ス必要ガアルト云フ觀念ト、モウ一ツハ條約ノ定メタル權利ヲ施行シタ殘リデアリマスガ、ソレハ内外ノ狀態ニ於テキメルモノデアアル、國防上必要ナル範圍ニ於テキメルモノデアルト云フ、二ツノ觀念ガアルガ、實際ニ於テハ恐ラク造船能力維持ト云ッテモ、今度ハ條約ヲ縛ラレテ居リマスカラ、條約ノ權利内デヤルコトデアアラウケレドモ、觀念トシテハサウ云フ風ニ二ツニ分レテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシタ、サウスレバ何時頃カラ始メルヤウニナルダラウカト云フ御問ニ對シテ、其時ニ使ッタ言葉ハハッキリ覺エテ居リマセヌガ、其當時ノコトヲ今追想致シマシテ、私ノ記憶ニ殘ッテ居ル所ヲ申シマス、今迄ノ重複スル所カラ考ヘマシテ、今新聞ノ記事ヲ御讀ミニナッタ所ヲ以テ見マスレバ、九年度頃カラ、或ハ九年度カラト申シタカ知レマセヌガ、何レ

ニ致シマシテモ、其ニツノ觀念カラ十一年以前ニ於テ、工業能力維持ノ上カラモヤル場合ガアルシ、又國防上ノ必要カラヤル場合モアル、サウ云フコトヲ兩方加ヘテ、第二次計畫ト云フモノヲ行ツタナラバ、ソレハ十一年度以前ニ於テ始メルデアラウ、ソレガ九年度ト新聞ニアリマスレバ、私ハ九年度ト申シタデアリマセウガ、ソレハ要スルニ十一年以前ト云フ意味デアリマス、今ハッキリ記憶ハ致シマセウガ、サウ云フ言葉デ私ハ申シタト思ッテ居リマス

○武田委員 其意味合ノ如何ニ拘ラズ、兎ニ角昭和九年カラ第二次計畫ヲ實行スルノ希望カラ、其計畫ヲ提出致シタイト仰シヤッタコトハ、大體ニ於テ御承認ニナッタモノト私ハ信ジマス、其次ニ御伺フシタイノハ、海軍大臣ノ先程ノ御答辯デハ、第二次計畫ヲ立テルニハ、外國ノ狀況ヲ見ル必要モアルト云フヤウナ御話モアリマシタガ、私ノ知ル限りニ於テハ、昨年ノ十二月ニ米國大統領「フーバー」氏ハ議會ニ教書ヲ與ヘテ居ル、是ハ其當時ノ華盛頓電報デアリマスガ、其當時ノ教書ノ中ニ、亞米利加ハ倫敦條約ノ建艦權利ノ全部ヲ行使スル、更ニ其上ニ空軍ノ大擴張ヲ致スト云フコトガ書イテアル、サウシテ更ニ又東洋方面ニ於ケル攻勢作戰ヲ執ルノ必要上、航空巡洋艦ノ建造、

大型潜水艦「ヴイ」型ノ建造ヲモシナケレバナラスト云フ意味ガ載ッテ居ルト云フコトヲ、當時ノ電報ハ報ジテ居ルノデアリマス、サウシマス米國ノ大統領ハ、其昨年ノ十二月ノ時ニ於テ倫敦條約ニ於テ得タル權利ハ、總テ行使スルト云フ固イ決心ヲ世ノ中ニ表明シタノデアリマス、其條約上ノ權利ヲ全部行使スルノミナラズ、其他ニ今申上ゲマシタヤウニ、東洋方面ニ於テ攻勢作戰ヲ執ルノ必要上、航空巡洋艦モ造リ、大型潜水艦モ造リ、飛行機モ十分ニ造ッテ、空軍ノ大擴張ヲスルト云フコトヲ明言致シテ居リマス、其後華盛頓ヨリノ通信ニ依レバ、米國政府ハ十箇年計畫ニ依リ、十二億五千萬弗ノ費用ヲ以テ、權利ノ行使以外ノ種々ナル計畫ヲシテ居ルト云フ詳細ナ報告モアルノデアリマス、是等ヲ綜合シテ見マスト、勿論日本ノ海軍ハ、單リ米國ノミヲ目標トスルモノデナイカモ知レマセ

スガ、今日對米比率ト云フ事ガ問題ニナッテ居ル以上ハ、我ガ海軍トシテ米國ノ行動ニ深キ注意ヲ與ヘルコトハ當然デアラウト思ヒマス、然ルニ米國ノ態度ガ斯程マデニ明白ニナッテ居ルノニ、我國ガ之ニ對シテ尙ホ將來ノ狀勢ヲ見ルト云フヤウナコトハ、餘リニ怠慢デハナイカト私ハ考ヘルノデアアル、海軍大臣ハ此點ニ向ッテ如何ヤウニ御考ニ

ナリマスカ
○安保國務大臣 大統領ノ言明ノアリマシタト云フコトモ、今武田サンノ仰シヤッタ意味ノ事ヲ承知致シテ居リマス、ソレカラ權利ノ行使ヲスレバ、航空隊ヲ入レテ十二億五千萬弗ノ費用ガ要ルト云フコトハ「フラット」大將モ申シテ居リマシテ、是ハ條約期限內ノ一九三六年迄ト云フノデハ非常ナ經費ニナルカラ、十年計畫トシテヤルコトヲ希望シ、工業能力ト調節ヲ保ッテヤルト云フコトヲ述べマシタコトモ傳ッテ居ルノデアリマスガ、兎ニ角亞米利加ト云フ國ハ、一ツノ計畫ヲ認メマシテモ、ソレヲ豫算ニ現ハシマスニハ、其年度々々ニ於テ必要ナ經費ヲ取ッテ行クノデアリマス、ソレニ依リマス、例ヘバ今年七月カラ來年六月ニ互リマス年度ノ計畫ト云フモノハ、マダ議會ハ通過シテ居ラナイノデアリマシテ、ソレニ依リマシテモ、議題ニナッテ居リマスノハ、航空巡洋艦ト云フモノヲ一艘、ソレカラ七千噸カ七千五百噸ノ巡洋艦一艘、ソレカラ驅逐艦ノ嚮導艦一艘、普通ノ千五百噸ノ驅逐艦十艘、ソレカラ潜水艦三艘、航空母艦一艘、サウ云フヤウナモノデアリマスガ、議會ニ於テハ、其中驅逐艦ハ此際全部削ッタ方ガ宜カラウト云フノデアリ、又航空巡洋艦ノ一萬噸ハ造リマスケレ

ドモ、普通ノ巡洋艦ノ七千五百噸ト云フノハ、此年度ハ削ルト云フ議ガアツテ、マダ上院ト下院トヲ通過シテ居ラスト云フ狀況デアリマシテ、大統領ハ全部權利ヲ行使スルト云フ事ヲ言ヒマシテモ、之ヲ實際ニ豫算化シテ現ハシマスノニハ、中々マダ來年度ニハ相當迂曲ノアルコト、考ヘルノデアリマス、隨テサウ云フ狀況ヲマダ見究メテカラ、コチヲ著手シテ宜イダケノ餘裕ノアル感ジヲ以テ、靜ニ狀況ヲ觀テカラヤッテモ遅クハナイ、斯ウ思ッテ居ルノデアリマス

○武田委員 私只今ノ海軍大臣ノ御答辯ヲ伺ッテ、吾々ハ海軍ノ國防ヲ最モ重視スル國民ノ一人トシテ、甚ダ遺憾千萬ニ感ジマス、先程モ私ノ申上ゲマシタル如ク、吾々ノ此軍備ニ對スル根本ノ觀念ハ、ドウシテモ來ルナキヲ恃マズシテ待ツアルヲ恃ムト云フ精神ハ、何レノ場合ニ於テモ、是ハ動カスベカラザル所ノ鐵則ダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ米國ノ最高權力者タラ大統領ハ公文書ニ於テ、而モ議會ニ與ヘタル所ノ教書ニ於テ、倫敦條約ニ於テ與ヘラレタル權利ノ全部ヲ行使スルハ勿論ノコト、更ニ制限外ノ艦艇ニ於テモ大擴張ヲスルト云フコトマダ言明シテ居ルノミナラズ、更ニ東洋方面ニ於テ攻勢作戰ヲ執ル必要上云々ト

云フ言葉ヲ加ヘテ、更ニ大型潜水艦「ヅ
イ」型モ必要ナル、航空巡洋艦モ必要
ナルト云ツテ、之ヲ實現スルコト云フコ
トヲ言明シテ居ルニモ拘ラズ、我が海
軍ノ當局者ハ、是ハ亞米利加ノ建前ト
シテ計畫ハシテ居ツテモ、年々豫算ヲ取
ルノデアルカラ、果シテ實現スルカシ
ナイカハ、議會デ豫算ノ協賛ヲ經タ結
ヲ見ナイ中ハ分ラヌト云フヤウナ怠慢
ナコトヲ以テ、我國ノ安全ヲ期スル
云フ確信ガアリマス、如何ニモ怠慢
デハナイカト私ハ思フノデアリマス、
是ハ斯様ナルコトニ致シマシタナラ
バ、亞米利加ノ議會デ確定シテ、サウ
シテソレガ實現ヲシナイ中ハ手ヲ著ケ
ナイト云フナラバ、常ニ他國ノ後塵ヲ
拜シ、他國ノ鼻息ヲ窺ツテ居ルト云フ
コトニナルノデアリマセスカ、斯様
ナル事柄ヲ以テ、安保大將ハ我が帝國
ノ國防ノ責任ヲ執ラレト云フ信念ガ
アリマス、アナタノ良心ニ顧ミテ、
我が國民ノ信賴ヲ裏切ラズニ、左様ナ
ルコトガ出來ルノデアリマセウカ、洵
ニ驚キ入タル御答辯ト思フノデアリ
マス、何卒此點ニ向ツテ深ク御考慮ア
ツテ、アナタノ職責ニ顧ミテ、アナタノ
責任ノ重大ナルニ顧ミテ、明白ナル御
答辯ヲ願ヒマス

○安保國務大臣 御答致シマス、私今
申上ゲマシタルヤウニ、能ク此度ノ計

畫ノ内容ヲ御覽下サレバ、倫敦條約ニ
於テ許サレテ居リマスル巡洋艦ト潛
水艦ハ、全部昭和十一年度迄ニ造リ得
ル權利ノモノハ造ツテ居ルノデアリマ
ス、即チ航空巡洋艦ガ全部出來テモ、
是レ以上建造スルコトハ出來ナイノデ
アリマス、著手シ得ベキモノハ、マダ
若干殘ツテ居リマスルケレドモ、完成シ
得ベキモノハ、今度全部網羅シタノデ、
即チ根幹トナルベキモノハ、漏レナク
今度ハ網羅シテ居ルト云フコトヲ申上
ゲマシタノハ、即チソレデアツテ、ソ
レデ殘シテアルモノハ、先程説明致シ
マシタヤウナ意味デアツテ、向フノ狀況
ヲ見テカラヤルコトヲ最モ適當トス
ル、是ノ方ガ國防ト云フコト、ソレ
カラ經費ノ方ト調節ヲシテ行クト云フ
上ニハ、最モ適當ノモノト信ジテ居ル
次第デアリマス

「明瞭」ト呼フ者アリ

○武田委員 極メテ明瞭デアリマセ
ス、亞米利加ノ大統領ハ左様ナルコト
ヲ言ツテ居リマセス、巡洋艦ダケヲ造ル
ト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマ
セス、電報ノ通りニ致シマスレバ、倫
敦條約ニ依ツテ得タル權利ノ總テヲ行
使スルト言ツテ居ルノデアリマス、然ル
ニ安保大將ハ根幹ダケヲ備ヘルト云フ
コトヲ言ツテ、先程モ繰返シテ居ラレ
ルデアリマセスカ、根幹ガアレバ枝

葉ガナクシテ、ドウシテ満足ナ器ト云
フコトガ出來マス、枝葉ノ殘ツテ居ル
ノハ當然デアリマセウ、併シ場合ニ依
テハ、根幹ヨリ枝葉ノ場合ガ必要ナル
コトガ幾ラモアリマス、況ヤ私ノ知リ
得ル限り、後ニ殘サレテ居ル所ノモノ
ハ、噸數ヲ以テ一萬一千噸モ殘ツテ居
ルノデアリマス、又起工ヲ許サレテ居
ルモノハ、四萬四千噸モ殘ツテ居ルノ
デアリマス、是ガ何デソナニ輕々ニ看
過スルコトノ出來ル問題デアリマセ
ウ、枝葉ガ枯レタラ根幹ガドウシテ持
チマス、此極メテ常識デ分ルコトニ
付テ、私ノ質問ニ對シテ何等適當ナル
答辯ニハナツテ居ラスデアリマセス
カ、アナタハ此帝國ノ國防ノ重大ナル
責任者トシテ——亞米利加ノ大統領ハ
斯モ明白ニ言ツテ居ルノデアリマス、而
シテ全體ノ計畫ニ付テ、先程ハ言違ヘ
タカ知レマセスカ、十箇年計畫デ十二
億五千萬弗、即チ我國ノ金デ二十五億
圓ト云フ金ガハイツテ居ル、然ルニア
ナタハ左様ナ怠慢ナル、左様ナ無責任
ナルコトデ、帝國ノ責任ガ取レルト信
ゼラル、ノデアリマス、ソレヲ重ネ
テ伺ヒマス

○安保國務大臣 段々ト話ガアリマシ
タガ、先程モ申上ゲマシタ所デ、私ノ
申上ゲルベキ所ハ盡キテ居ルモノト存
ジマスルガ、十二億五千萬弗ノ通過

シタト云フノハ……（通過シタトハ申
シマセヌ）ト呼フ者アリ）ソレハマア一
ツノ希望ノヤウナ意味ニナツテ居ルノ
デアリマシテ、全部行使スレバ是ダケ
ノ費用ガ掛ル、ソレヲ併シ期限内ニヤッ
テハ非常ニ多過ギルカラ、先ヅ十年計
畫、條約ヨリマダズツト延シタ勘定デ
アリマス、十年計畫デアレバ滑カニ行
クト云フヤウナコトヲ「ブラット」大將
モ述ベテ居リマスルケレドモ、之ヲ今
直グニ別ニ問題ニスルニハ當リマセス
カラ、實際ニ是ガ現レテ來ル所ニ應ジ
テ、此方ガ其方法ヲ執ツテ差支ナイ程度
ノモノハソレデヤルト云フ、併ナガラ
自主的ニ是ダケヤツテ置クコトハ必要
デアルト云フモノハ、既ニ此度網羅シ
テ居ル譯デアリマス、國防上是デ
差支ナイモノト認メテ居ルノデアリマ
ス

○武田委員

此點ニ付テハ何遍繰返シ
テモ同ジ御答辯デアラウト存ジマス、
私ハ先日モ海軍大臣ニ、斯様ナ重大ナ
事ニ對シマシテハ、吾々國民トシテハ
海軍ノ立場ニ十二分ノ同情ヲ表シテ居
ルノデアリマス、廻リクドイ答辯
ヲ爲サルコトハ穩當ナラヌトマデ、再
三注意シテ居ルニモ拘ラズ、ドウシテ
モ要點ニ觸レナイヤウナ答辯ヲシテ居
ル以上ハ、何遍言ツテモ同ジコトデゴザ
イマスカラ、次ノ點ニ移リマス、昭和

十年ニハ御承知ノ如クニ第二ノ倫敦會議ガ開カレコトニナツテ居ルノデアリマス、而シテ華盛頓會議ノ當時ヨリ、軍縮會議ノ基礎ニナルモノハ現有勢力デアアルノデアリマス、是ハ殆ド原則的ニ其時ニ定ツタト、當時ノ文獻ニ於テ私ハ承知シテ居ルノデアリマス、斯様ニ考ヘマスルト云フト、昭和十年ニ於ケル第二ノ倫敦軍縮會議ニ臨ムニ當リマシテ、我國ノ現有勢力ガ充實シテ居ルト否トニ依リマシテハ、此會議ニ於ケル我國ノ位置ニ非常ナ利不利ガアルノデアリマス、此點カラ觀察致シマシテモ

仰シヤイマシタケレドモ、サウ云フコトハナイノデアリマス、艦ハ持つテ居ルノデアリマス、其代リニ新シイ艦ガ出來レバ古い艦ハ捨テ、シマハナケレバナラス、造ラナケレバ相當古イ艦モ殘シテアル、而モ今度殘シテアル艦ハ、ソシナニ古クナイ驅逐艦ガアルノデ、噸數ハ十分アルノデアリマス、現有勢力ハ、今度殘シテアルカラ、日本ノ勢力ガ減ツテ居ルト云フ次第ハナイノデアリマシテ、其點ハ御心配ハ要ラヌト思ヒマス

○武田委員

海軍大臣ノ御答辯ハ益、不親切デアリマス、如何ニ吾々ガ素人

私ハ此場合、即チ千九百三十五年ノ第二軍縮會議ノ開カレルマデニ、我國ハ權利ニ於テ與ヘラレタル所ノモノダケハ充實シテ、サウシテ十分ナル現有勢力ヲ持つテ此會議ニ臨ムト云フコトハ、帝國ノ爲メ帝國海軍ノ爲ニ最モ必要ナコトデアルト思フガ、此點ニ向ツテ海軍大臣ノ御意見ヲ承リマス

○安保國務大臣

御答ヲ致シマスル

ガ、現有勢力ガ會議ニ當ツテ一ツノ要素トシテ極メテ大切デアルコトハ、御説ノ通りデアリマスルガ、此度ノ倫敦會議ハ必ズシモ現有ト云フ意味デハナイノデアリマシテ、サウ云フ點モアリマスルガ、今ノ御話ノ此度造ラズニ、權利ノ中デ若干殘シテアルモノヲ造ラナケレバ、現有勢力ガ減ルヤウナ意味ニ

主トシテ居ル、是ハ當然ノ事デアリマセウ、即チ制限ヲサレタ以外ノ、所謂制限外ノ艦艇ニ於テ、競争ノ形ガ表ハレルカラ、次ノ軍縮會議ニハ制限外ニ落ちタ所ノ製艦ト云フカ、製武器ノ競争ヲ又制限スルト云フ議論ノ出ルノハ當然デアリマス、現ニ此倫敦會議ハ如何ナル狀態ニアリマシタカ、即チ此大巡洋

艦ニ於テハ、我國ガ最モ有利ノ位置ニ立つテ居ッタノデアリマセヌカ、今海軍大臣ハ華盛頓會議ニ於テハ、現有勢力ヲ基本トシタケレドモ、倫敦會議ニハサウデナカッタト云フコトハ、我國ヲ不利ナル狀態ニ置イテノアナタノ御説デアリマス、亞米利加ハ僅ニ大巡洋艦ニ於テ當時一隻シカ持つテ居ナカッタ、一隻ハ起工シテ居ルダケノ狀態デア

立ツテ居ルノデアリマス、故ニ現有勢力ヲ基本トシテ論ズル場合ニハ、亞米利加ハ到底我國ニ敵ハナイノデアアル、然ルニ亞米利加ニ勢力ガアルカラシテ、現有勢力ヲ基本トスルト云フ、我國ニ取ッテ有利ニ華盛頓會議ニ於テ定メタ所ノ原則ヲ、此方ガ打破ラレタノデアアリマセヌカ、左様ナ不利ナ形ニ陥レテ置イテ、是ガ當然ノ事ト論ズルニ至ツテハ何タルコトデアリマスカ、來ルベキ千九百三十五年ノ軍縮會議ニ於テ、飛行機ガ制限ノ問題ニナラヌト云フ説ハ、アナタハ何ニ依ツテソレガ斷言出來マルスカ、アナタガ昨年ノ倫敦會議ノ問題ニナツタ以外ノモノハ、一千九百三十五年ノ軍縮會議ノ問題ニナラナイト云フコトヲ御言明ニナリマスレバ、アナタノ今ノ御議論ヲ私ハ承認致シマス、然ルニ制限外ノ艦艇ヲ若シ我國ガ之ヲ整

備スルコトヲ忘ツテ居ッタナラバ、現ニ亞米利加ハ百五十六機ヲ造ルト云フヤウナ計畫ヲ、殆ドハ確定的ニ實現セントシテ居ル狀態デアリマセヌカ、斯様ナル場合ニ於テ、我國ガ不用意ニシテ一千九百三十五年ノ第二次軍縮會議ニ臨ンダナラバ、如何ナル狀態ニ我國ハ陷リマスカ、餘リニ吾々ヲ素人ダト思ツテ馬鹿ニシタル御答辯ハ、少シ御

○安保國務大臣 御答致シマス、今申上ゲマシタノハ、此條約ノ權利ヲ行使スルセヌト云フヤウナ、艦艇ノ製造ノ噸數ノ方ノ議論ノ續キデアリマシテ、主トシテ艦艇ノ事カラ申上ゲタノデアリマスルガ、其以外ノ航空機ト云フヤウナ問題ニ付テノ御話ガアリマシタガ、是ハモウ御説ノ通りデアリマス、航空機ト云フヤウナモノニ付テハ、此方ガ十分ニ之ヲ持つテ居ルト云フコトガ、會議ニ臨ンデ非常ニ有力ナル一要素ニナルト云フコトハ、御説ノ通りデアアルノデアリマスガ、唯其航空機ガ、次ノ會議ニ航空機制限ト云フヤウナコトノ味カラ、之ヲモットウシテ擴張シテ置イタラ宜カラウト云フヤウナコトハ、是ハ望マシイコトデアリマス、ケレドモ

鬼ニ角兵種ト云フヤウナ關係モアリマ
スシ、ソレト一方ニ於キマシテハ、航
空機ト云フヤウナモノガ、我國ノ現狀
ニ鑑ミマシテ、サウ急激ニ多クスルト
云フ譯ニモ行キ難イ點モアリマスカ
ラ、此度ノ計畫ヲ以テ大體進ンデ行ク
コトヲ適當ト認メマシテ、今度ノ計畫
ヲ立テマシタノデ、會議ニ臨ムガ爲ニ
モウ少シ殖シテ置クト云フコトハ、亞
米利加ノヤウナ經費ヲ伴ハナイ或ル計
畫ダケヲ認メルト云フ場合ナラバ、格
別デアリマスケレドモ、豫算ヲ伴ッテ一
ツノ計畫ヲ立テルヤウナコトニナリマ
スレバ、熟考シテ之ヲ其時ニ適當トス
ルモノニ止メテ置クト云フヨリ外ニナ
イノデアリマスカラ、此度ノ程度ノ航
空隊充實調整計畫ヲ致シテ居ル次第
デアリマス

ゲマス

○武田委員 是ハ意外千萬ナコトヲ承
リマス、吾々ノ質問權ニ對シテ與黨ノ
諸君カラ制限ヲサレル理由ハ何處ニア
リマス、内田君ハ吾々ノ先輩トシテ海
軍ニ通曉シテ居ルコトハ、百モ千モ承
知シテ居ルカラ、吾々ハ適當ノ機會ニ
於テ内田君ニ質問ヲシテ貰フヤウニ心
掛ケテ居ルデアリマス、ソレハアナ
タ方カラ要ラヌオセツカイデアリマス、
吾々ハ吾々ノ仲間デ打合ヲシテ居リマ
ス、何ノ譯ガアッテソナ無禮ナコトヲ
言フノデアリマスカ、人ノ質問ノ權利
ニ喙ヲ出ス要ハ無イノデアリマス

○永田委員 私人質問ノ權利ガア
ルノデアリマス、私ハ只今ノ海軍大臣
ノ御答辯ハ、私ノ質問ノ要領ニ當ッテ居
リマセヌ、私ハ第二倫敦軍縮會議ノ用
意ノ爲ニ、要ラナイ物ヲ御用意ナサル
ト云フコトヲ言ッタノデアリマセヌ、
海軍ガ既ニ必要ダト御認ニナッテ居ル
デアリマセヌカ、第一計畫不足デ
アルカラ、本艦ダケデハ仕様ガナイカ
ラ——既ニ軍務局長モ昭和九年カラ第
二計畫ヲ出スト云フコトヲ、殆ド公ノ
席上ト言ッテモ宜イ所ノ研究會ノ審査
部會ニ於テ言明サレテ居ルデアリマ
セヌカ、第二計畫ヲ出スト云フ御希望
ガアルト言ヘバ、假令其内容ハ御發表
ニナラナクトモ、事實上計畫ガ立ッテ居
ルト云フコトハ、問ハズシテ明カナコ
トデアリマス、故ニ既ニ御計畫ガアル
ナラバ、勿論國防ノ必要上ハ申スマデ
モナク、第二軍縮會議ノ用意トシテモ、
早ク御決定ニナル方ガ宜イデハナイカ
ト云フコトヲ、私ハ質問ヲ致シタノデ
アリマス、然ルニ今ノヤウナ御答辯ハ、
甚ダ奇怪千萬ニ私ハ存ジマス、海軍大
臣ハ如何様ニ御考ニナリマスカ

○安保國務大臣 第二次計畫ト云フヤ
ウナモノヲ、早ク決定スル必要ガアル
ト云フ御話デアリマスガ、是ハ昭和十
一年度以前ニ著手ヲスル必要ガアルト
云フコトヲ認メタト云フコトハ申上ゲ
タノデアリマスガ、今マデ段々申上ゲ
タヤウニ、外國ノ狀況等モ見極メ、技
術ノ進歩變遷等ヲ見テ、色々内外ノ情
勢ニ依ッテ、最モ適當ト思フモノヲ起工
シタ方ガ、日本ノ國防ノ上ニ於テ利益
デアルト云フ立場カラ、今マデ其時期
ト内容トヲキメテ居ラヌト云フコトヲ
申上ゲタ次第デアリマス、ソレヲ適當
ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○武田委員 海軍大臣ノ答辯ハ極メテ
不満足デアリマスケレドモ、私ハ内田
君ト打合ノ時間ニ達シマシタシ、到底
斯様ナ廻リクドイ、要點ヲ避ケルヤウ
ナ御答辯ヲ始終爲スツテ居テハ、中々此
先一時間ヤ三十分デハ到底要領ヲ得ナ
イト思ヒマスルカラ、私ノ質問ハ茲ニ
保留シテ、内田君ニ發言ヲ譲リマス

○内田委員 海軍大臣ニハ先般來各委
員會、本會議等ニ於テ、幾回トナク質
問應答シタニ拘ラズ、今夕夜中再ビ茲
ニ御出席ヲ願ッテ、私ノ質問ヲ更ニ試ミ
ルコトニ付テハ、洵ニ恐縮致シテ居ル
次第デアリマス、就テハ簡單ニ其要領
ヲ擲ンデ御尊致シマスルガ故ニ、海軍
大臣ニ於カレテモ、何卒廻リ諄クナク
要點ヲ摘ンデ、端的ニ御答アラシコトヲ
御願シテ置ク次第デアリマス、今回ノ
御提案ニ相成リマシタル補充計畫、其
艦艇即チ制限内艦艇及ビ制限外艦艇、
其隻數等ハ此間豫算總會ニ於テ御言明
ニナリマシタデスガ、アノ八千五百噸
ノ巡洋艦四隻、以下驅逐艦十二隻、機雷
敷設艦一隻、其他水雷艇等小型ノ物、
此工程表ハ今御持合セデゴザイマセウ
カ、知シ御持合セデアッタナラバ、其巡
洋艦四隻ガ何時出來上ルカ、驅逐艦十
二隻ガ何年ニ何隻出來上ルカト云フコ
トヲ御示ヲ願ヒタイ

○安保國務大臣 マダドノ艦ヲ何年カ
ラ始メテ何時出來上ルカト云フコト
ノハッキリ確定致シタノハナイノデア
リマス、茲ニ持合セハ致シテ居リマセ
ヌ

○永田委員 議事進行ニ付テ……今夕
モ最早九時十五分前ニナッテ居リマス
ガ、與黨ノ者一同及政友會ノ諸君ニ於
カレテモ、今夕ハ海軍ニ最モ權威ノア
ル政友會ノ内田君ノ御質問ヲ拜聽シタ
イ、斯ウ云フコトガ主トナッテ了解シテ
居ルノデアリマス、武田君モ御熱心デ
アリマスカラ、決シテ吾々之ニ彼此レ
申ス譯デアリマセヌガ、又機會モア
ラウト思ヒマス、此際内田君ノ質問ヲ
御許ヲ願ッテ、議事ノ進行ヲ圖ッテ戴キ
タイ、政友會ノ諸君ニモ御相談ヲ申上

○武田委員 私人質問ノ權利ガア
ルノデアリマス、私ハ只今ノ海軍大臣
ノ御答辯ハ、私ノ質問ノ要領ニ當ッテ居
リマセヌ、私ハ第二倫敦軍縮會議ノ用
意ノ爲ニ、要ラナイ物ヲ御用意ナサル
ト云フコトヲ言ッタノデアリマセヌ、
海軍ガ既ニ必要ダト御認ニナッテ居ル
デアリマセヌカ、第一計畫不足デ
アルカラ、本艦ダケデハ仕様ガナイカ
ラ——既ニ軍務局長モ昭和九年カラ第
二計畫ヲ出スト云フコトヲ、殆ド公ノ
席上ト言ッテモ宜イ所ノ研究會ノ審査
部會ニ於テ言明サレテ居ルデアリマ
セヌカ、第二計畫ヲ出スト云フ御希望
ガアルト言ヘバ、假令其内容ハ御發表
ニナラナクトモ、事實上計畫ガ立ッテ居
ルト云フコトハ、問ハズシテ明カナコ
トデアリマス、故ニ既ニ御計畫ガアル
ナラバ、勿論國防ノ必要上ハ申スマデ
モナク、第二軍縮會議ノ用意トシテモ、
早ク御決定ニナル方ガ宜イデハナイカ
ト云フコトヲ、私ハ質問ヲ致シタノデ
アリマス、然ルニ今ノヤウナ御答辯ハ、
甚ダ奇怪千萬ニ私ハ存ジマス、海軍大
臣ハ如何様ニ御考ニナリマスカ

○安保國務大臣 第二次計畫ト云フヤ
ウナモノヲ、早ク決定スル必要ガアル
ト云フ御話デアリマスガ、是ハ昭和十
一年度以前ニ著手ヲスル必要ガアルト
云フコトヲ認メタト云フコトハ申上ゲ
タノデアリマスガ、今マデ段々申上ゲ
タヤウニ、外國ノ狀況等モ見極メ、技
術ノ進歩變遷等ヲ見テ、色々内外ノ情
勢ニ依ッテ、最モ適當ト思フモノヲ起工
シタ方ガ、日本ノ國防ノ上ニ於テ利益
デアルト云フ立場カラ、今マデ其時期
ト内容トヲキメテ居ラヌト云フコトヲ
申上ゲタ次第デアリマス、ソレヲ適當
ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○武田委員 海軍大臣ノ答辯ハ極メテ
不満足デアリマスケレドモ、私ハ内田
君ト打合ノ時間ニ達シマシタシ、到底
斯様ナ廻リクドイ、要點ヲ避ケルヤウ
ナ御答辯ヲ始終爲スツテ居テハ、中々此
先一時間ヤ三十分デハ到底要領ヲ得ナ
イト思ヒマスルカラ、私ノ質問ハ茲ニ
保留シテ、内田君ニ發言ヲ譲リマス

○内田委員 海軍大臣ニハ先般來各委
員會、本會議等ニ於テ、幾回トナク質
問應答シタニ拘ラズ、今夕夜中再ビ茲
ニ御出席ヲ願ッテ、私ノ質問ヲ更ニ試ミ
ルコトニ付テハ、洵ニ恐縮致シテ居ル
次第デアリマス、就テハ簡單ニ其要領
ヲ擲ンデ御尊致シマスルガ故ニ、海軍
大臣ニ於カレテモ、何卒廻リ諄クナク
要點ヲ摘ンデ、端的ニ御答アラシコトヲ
御願シテ置ク次第デアリマス、今回ノ
御提案ニ相成リマシタル補充計畫、其
艦艇即チ制限内艦艇及ビ制限外艦艇、
其隻數等ハ此間豫算總會ニ於テ御言明
ニナリマシタデスガ、アノ八千五百噸
ノ巡洋艦四隻、以下驅逐艦十二隻、機雷
敷設艦一隻、其他水雷艇等小型ノ物、
此工程表ハ今御持合セデゴザイマセウ
カ、知シ御持合セデアッタナラバ、其巡
洋艦四隻ガ何時出來上ルカ、驅逐艦十
二隻ガ何年ニ何隻出來上ルカト云フコ
トヲ御示ヲ願ヒタイ

○安保國務大臣 マダドノ艦ヲ何年カ
ラ始メテ何時出來上ルカト云フコト
ノハッキリ確定致シタノハナイノデア
リマス、茲ニ持合セハ致シテ居リマセ
ヌ

○内田委員 ソレハ茲ニ御持合ガナイノデスカ、出來テ居テ御持合ガナイノデセウカ、マダ其計畫ガ出來テ居ラナイノデセウカ

○安保國務大臣 マダ完全ニ出來テ居リマセヌ、研究ハ致シテ居ル譯デアリマスルケレドモ、私ノ所ニ確實ニ斯ウナルト云フ確定ノ所ニ參ッテ居リマセヌ

○内田委員 是ハ驚イタ、第二次補充計畫ハ——第二次ト申ストオカシウゴザイマスカ、先般第四分科會ニ於テ、倫敦條約ノ權利ハ昭和十一年十二月三十一日マデニ著手スル必要アリト、斯ウ海軍大臣ハ御言明ニナッテ居ル、其外ノ答辯ハ但書ダノ色々ナコトデ、後ハ少シ「カモフラージュ」サレテ居リマスカ、ソレハ即チ權利ハ昭和十一年十二月三十一日マデニ之ヲ行使スルノ希望ト必要ト認メル、但シト、何時モ海軍大臣ノ能ク仰シヤル但シガ付イテ、其内容ト計畫トガマダ不明ダカラシテ、留保財源ヲ取ル必要ガナイト云フノガ何時モ御答辯デアル、政府委員ノ方ニ御參考ニ頁數モ申上ゲテ置キマスカ、二月十三日、第四分科、五十二頁ニ載ッテ居リマスカ、之ニ依ルト其内容ト時期ト云フモノハ云々トアッテ、一番シマイニ、其期限以前ニ著手スル希望ト必要ハ認メテ居ルト云フコトハ、

先程御尋ニナリマシタ通りデアリマスト御答ニナッテ居ル、著手スルト云フコトハモウ但書ナシナノデアアル、是ハ何等拘束スル文句ガ付イテ居ナイ、權利全部ヲ行使スルト云フコトハ、即チ今度ノ權利ハ完成スルモノト著手スルモノト二ツアル、ソレヲ權利ノ全部ヲ行使スルコトニ付テハ程度云々ト云フヤウナ但書ガアルガ與ヘラレタル權利ノ全部ノ工事ニ著手スルト云フコトハ、是ハ何等ノ拘束的條件ナク、端的ニ「其以前ニ著手スル希望ト必要ハ認メテ居ルト云フコトハ、先程御尋ニナリマシタ通りデアリマス」ト言ヒ切ッテ、ソレデオシマイニナッテ居ル、之ニ依ッテ見ルト、倫敦條約上殘サレタル所ノ權利、完成スベキ所ノモノト著手スベキモノト、此二ツ合セテ著手ダケハスルト云フコトハ明カダ、ソレデハ完成スル方ノモノニ付テドウカト言フト、其内容ハ計畫ガマダ不明デ、計畫ガ立ッテ居ラナイカラ、留保財源ハ御取リニナラナイ、是ハ大口君カラモ質問ガアッテ、サウ御答ニナッテ居ル、内容ガ不明、計畫ガ不明ダトアル、所ガ今度第一次補充計畫三億七千四百萬圓、此中艦艇製造費二億四千萬圓、此二億四千萬圓ノ工程費ヲ出セト云ヘバ、其計畫ハマダ立ッテ居ナイカラト言ハレル、計畫ガ立ッテナクテ二億四千萬圓ト云フモノ

ガ出ルト云フノハ、ドウ云フ譯デアルカ、御尋シタイ、唯各年度ノ繼續費ガ出ル譯ガナイ、此艦ハ何時拵ヘテ何時進水スル、此艦ハ何時拵ヘテ何時武裝スルト云フコトガ分ラナケレバ、繼續費ト云フモノハ出テ來ル譯ガナイ、繼續費ノ豫算ノ金額ノ高ハ出鱈目ノ數字ノ羅列ニ過ギナイノデアリマスカ、如何デスカ

○安保國務大臣 此計畫ノ船表ラズツト造リマスカニハ、大體ニ於テ斯ウスレバ宜イト云フコトニナリマスカ、此割當ノ工廠又民間ノ註文トカ種々ノ關係ニ於テ、是ハ愈々本式ニ確定スルト云フコトハ始終研究ノ末ニナルコトハ、内田サンモ御承知ノ通りデアリマシテ、之ヲ大體ニ何ガ何艘、何ガ何艘、大體此年度ニ斯ウ云フモノヲ造ルト云フコトガアッテモ、愈々是ガ何年ニ著手シテ何年ニ竣工スルト云フヤウナコトハ、マダ十分研究ヲ積ンダ上ニ、本式ノモノニ定メルト云フコトハ決シテ遲イ話デハナイト存ジマス

○内田委員 私ハドノ艦ヲ吳デ造リ、ドノ艦ヲ舞鶴トカ藤永田デ造ルカ、サウ云フ造船所ノコトヲ聞イテハ居リマセヌ、併ナガラ毎年此年ハ五百萬圓、此年ハ幾ラ——ト繼續費ヲ出ス以上ハ、或ハ後口ノ大藏省ノ宛ガヒ扶持ノ金額ヲ、ズツト列ベタ譯デハナイト思ヒ

マス、此計畫ハ軍事上ト而シテ財政上ト双方ノ側カラ見テ、此計畫ヲ立テタト云ハレル、比間私ガ國務大臣ノ施政方針ノ演説ノトキニモ、大臣ニ對シテ方針ノ演説ノトキニモ、大臣ニ對シテ私ハ御尋シタ所ガ、井上大藏大臣ハ其通リト御答ニナッテ、軍事上即チ役所ノ側カラ見レバ、海軍省ノ御都合ト大藏省ノ御都合ト、端的ニ云ヘバ、双方カラ御相談シテ茲ニ出來上ッタモノデアル、何處ノ造船所ヘドノ艦ヲ註文スルナント云フヤウナソノコトヲ私ハ聞イテ居ラナイ、數字ヤ金額ガ繼續費トシテズラツト列ベテ出ル以上ハ、何年度ニ於テドノ艦ノ龍骨ヲ据エナケレバナラヌカラ金ガ幾ラ要ル、何年ニドノ艦ガ進水スルカラ幾ラ要ル、何年ニドノ艦ガ出來上ルカラ幾ラ要ル、其工程表ノ金額ト此繼續費ノ金額トガ合ッテ來ナケレバ本當ノ豫算トハ是ハ言ヘナイ、ソレデ私ハ殊ニ第二次補充計畫ノ方ヲ聞ケバ、計畫ガマダ確立シテ居ナイカラ、留保財源ハ取レナイ、ソレニ付テ大口君カラ十二年以後ノモノニ付テ空漠ト六千萬圓取ッテ置キタナラ、ナゼ手近ノ方カラ取ッテ置キタナカト言ハレテ、未ダ計畫ガ確立セスカラ取ッテ置キナイト云フ、ソレカラ今度第一次計畫ノ方ノ工程表ヲ聞ケバ、マダ研究中ダト云フ、此位矛盾シタ御答辯ハナイダラウト思フ(拍手)工程表

ヂヤ言ッチャイカス、併シオ前ダケニ是ハ部外費トシテ、詰リ製造中ノ船ヲ知ッテ居ル以上ハ大體ニ於テ斯ウダ、併シ公開ノ席上デ言ッチャ困ルト言フナラ

ソレモ遠慮シテ、唯參考ダケニ御知ラセテ願ヒタイ、又時ニ依ツテハ祕密會ニナサルコトモ私ハ適當ダト考ヘテ居ル次第デアリマス、兎ニ角二次計畫ガ確立シテ居ラヌカラ、留保財源ヲ取ツテ置ク必要ガナイト言ツテ、第一次計畫ハ部外費ノ流用以外ニ、マダ詳細ニ出來テ居ナイト言フニ至ツテハ、洵ニ矛盾シタル御答辯デアルト謂ハナケレバナラナイノデアリマス、就テハ此新艦船維持費ニハイルノデゴザイマスガ、即チ只今申シタ通り、巡洋艦四隻目下製造中デアル、是ハ無論新艦船維持費ハ大藏省カラ貰ツテ居ラヌコトハ明カデアリマス、是ハ無論製造中ノ艦デアルカラ——是ガ六年度七年度ニ出來ル、是モ軍機事項デハナイ、六年度七年度ノ繼續費ガ六年度七年度デ終リヲ告ゲテ居ルノデアルカラ、是ガ、高雄ハ何年何月ニ出來ル、何ガ何年何月ニ出來ルト云フコトモ、私ハ承知シテ居リマ

スガ、此際遠慮致シマス、兎ニ角巡洋艦四隻ガ六年カラ七年ニ掛ケテ出來ルト云フコトハ豫算面ニ明カデアルノデアリマス、更ニ新計畫ノ八千五百噸四隻出來上^ツテ來ル、是ハ今御尋シタヤツ

ナンデアリマス、サウスルト今度ノ軍縮條約デ、同時ニドウ云フモノガ廢艦ニナルカト云フコトヲ私ハ御伺スル、巡洋艦ハドウ云フモノガ何隻廢艦ニナリマスカ、何噸廢艦ニナリマスカ

矢矧、天龍、龍田、球磨、多摩ノ八隻、ソレハ艦艇表ニ依レバ、海軍大臣ノ仰セノ通り多摩ノ次ガ北上デアリマスカラ、球磨、多摩、北上ノ三隻ガ練習用トシテ殘ル、サウスルト千九百三十六年ニ北上ガ殘サレタトシテモ、千九百三十六年以内ニ於テハ、先刻經理局長ガ御答ニナッタ八隻ノ廢艦ニ非ズシテ、六隻ノ廢艦、斯ウ云フコトニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

ズルニ當ッテ、此間カラモ私ガヤカマシク言フガ、又今後減稅ヲ論ズルニ當ッテハ、昭和十一年度マデノ海軍費ガ幾ラ要ルカト云フコトヲ知ルノニハ、ドノ艦ガ何時廢艦ニナルカト云フ事ヲ究メナケレバナラス、ソレニハ今回ノ計畫ノ四艘ガ何時出來上ルカト云フ事ニ依ッテ決スルト云フ答辯ヲ得タニ於テハ、愈、以テ今回ノ御提案ノ八千五百噸四隻ト云フモノガ何時出來上ルカト云フコトヲ御示ニナラナイデハ、此減稅ノ一億三千四百萬圓ヲ得レラレカ得レラレナイカ分ラナイ、五億八百萬圓デモマダ足りナイカ、全部使ッテ足りナイカ、ソレヲ論ズル上ニ於テ重大ナル影響ガアリマスルガ故ニ、私ハ何卒此四隻ノ竣工期ニ付テ、大體軍機ニ互ラザル範圍ニ於テ、祕密會若クハ極祕ニ御知ラセアランコトヲ願ヒマス、ソレガ分ラナケレバ減稅ノ新規財源ノ取柄ガナイト云フ事ヲ茲ニ言明シテ置ク次第デアリマス

○加藤政府委員 只今御尋ノコトハ、私一寸聽漏シマシタガ、今回ノ計畫ニ依ッテ造リマス四隻ノ代リニドノ船ガ廢艦ニナルカ、斯ウ云フ御質問デアリマスカ

○安保國務大臣 政府委員ニ答辯サセマス

○内田委員 昭和十一年度マデニ出來上ッテ來ル巡洋艦ハ、目下製造中——昭和六年及ビ七年ニ於テ一萬噸級ガ四隻出來上ッテ來ルコトハ豫算面デ既ニ明カデア、既定計畫デア、此外ニ新計畫トシテ、今回御提案ニナッタ八千五百噸四隻、即チ三萬四千噸、合計七萬四千噸ノ新巡洋艦ガ昭和十一年十二月三十一日マデニ完成シテ艦籍ニハイ

○内田委員 昭和十一年度マデニ出來上ッテ來ル巡洋艦ハ、目下製造中——昭和六年及ビ七年ニ於テ一萬噸級ガ四隻出來上ッテ來ルコトハ豫算面デ既ニ明カデア、既定計畫デア、此外ニ新計畫トシテ、今回御提案ニナッタ八千五百噸四隻、即チ三萬四千噸、合計七萬四千噸ノ新巡洋艦ガ昭和十一年十二月三十一日マデニ完成シテ艦籍ニハイ

○安保國務大臣 御答致シマス、條約ニ依ッテ許サレタ巡洋艦カラ廢艦ニナッタ場合ニ練習艦ニナルト云フノハ、今御讀ミニナッタ多摩級デアリマスルガ、今度ハ多摩、球磨ダケハ代艦ニナッテ、千九百三十六年以後ニ於テ今一艘北上デアリマスガ、ソレヲ入レマシテ三艘デアリマスガ、此度ノ千九百三十六年末マデニ於キマシテハ二艘デアリマス、其代リニ淺間級ノ五艘、即チ淺間、磐手、出雲、八雲及ビ春日、ア、云フノガ總テ無クナル、斯ウ云フ意味デアリマス

次ニ驅逐艦、驅逐艦ハ目下製造中ノモノガ八隻、是ガ六年及ビ七年ニ完成スル其噸數ガ一萬三千六百噸ト、一萬六千八百噸、合計三萬四千噸、是ガ出來テ來マスガ、是ハ條約第十六條ニ依ッテ新艦ガ出來テ來レバ出來テ來タケ舊艦ヲ廢艦スレバ宜イ、斯ウ考ヘテ居リマスガ、ソレハサウデゴザイマスカ、

○内田委員 即チ利根、筑摩、平戸、

○安保國務大臣 其通りデゴザイマス

○内田委員 故ニ利根以下六隻ノ廢艦

○加藤政府委員 利根カラ多摩マデト

○内田委員 是カラノ御答辯ハドウゾ

○内田委員 故ニ利根以下六隻ノ廢艦

○内田委員 即チ利根、筑摩、平戸、

○安保國務大臣 其通りデゴザイマス

○内田委員 故ニ利根以下六隻ノ廢艦

○内田委員 即チ利根、筑摩、平戸、

○安保國務大臣 其通りデゴザイマス

○内田委員 故ニ利根以下六隻ノ廢艦

是ハ事務的ニ承リタイ

○安保國務大臣 今ノハ大體サウナルト思ヒマスケレドモ、驅逐艦ノ保有量ハ多ク持ッテ居ルノデアリマスカラ、代換デナシニ減ズルモノガアリマスガ、サウ云フノヲ混ゼテドウ云フコトニナルカト云フコトハ、今調ベテ御答致シマス

○内田委員 兩方御調べ置キヲ願ヒタイガ、ソレハ私ハ心得テ居リマス、十六條ノ規定ニ依レバ、即チ曾テ海軍省カラ御配付ニナッタ此表——若シ御持合セガナカッタラ御貸シテモ、元々海軍省カラ拜借シタモノデスカラ差支アリマセヌ、之ニ依ルト驅逐艦ハ五萬二千七百噸少ナクスルコトニナッテ居リマス、此五萬二千七百噸ヲ少ナクスルト云フコトハ、千九百三十六年十二月三十一日マデニ「スクラップ」スレバ宜シイ、今度與ヘラレタ權利ノ噸數ハ千九百三十六年十二月三十一日ニ於テ日、英、米ハ曩ノ噸數ノ整理ヲスベシト云フノダカラ、ソコデ「スクラップ」シテ與ヘラレタル權利ヲ全部行使シタ時ニ初メテ五萬二千七百噸ヲ廢棄スレバ宜シイ、斯ウ云フコトハ明カナ話デアル、即チ元來日本ハ現有量トシテハ十三萬二千九百六十五噸、ソレニ今製造中ノヤツヲ入レルト、與ヘラレタ噸數ヨリ餘計アリマスケレドモ、餘計アルモノ

ハ十六條ノ末段ノ規定ニ依ッテ出來テ來タモノニ相當スルモノダケヲ壞ハセバ宜イ、斯ウ書イテアルコトハ軍務局長モ御承知デゴザイマセウ、ソレハ十六條ニ書イテアリマス

○堀政府委員 新造艦ガ出來マシテ、ソレヲ加ヘマスト云フト元ヨリ殖エマス、條文ハ漸次減ジテ千九百三十六年末マデニ保有量ニ達スルト云フコトニナッテ居リマスカラ、少ナクトモ出來タダケハ潰サナケレバナリマセヌ、ソレ以上ハ潰サナケレバイカナイノデアリマス、併シ除籍ノ豫定ハ海軍省ノ方デ色々研究シテ居リマスガ、ヤハリ作戰、用兵ノ當局ノ方ト尙ホ協議中デゴザイマシテ、何年度ニ何ヲ除籍スルカト云フコトハマダキマッテ居リマセヌ

○内田委員 ソレハ條約十六條ニ、艦船ニシテ何レカノ艦種ノ總噸數ガ前表ニ示サレタル數字ヨリ超過シタル場合ハ、千九百三十六年十二月三十一日マデノ期間中ニ新艦船ノ完成ニ從ヒ漸次處分セラルベシト斯ウ書イテアルカラ即チ日本ハ與ヘラレタル驅逐艦ノ噸數以上ニ既ニ有シテ居ルノデアアルカラ、此上新シイモノガ出來テ來レバソレニ相當スル舊艦ヲ漸次處分スベシト、斯ウ解釋シテ御答辯シタノデアリマスガ、軍務局長ノ御答辯ト合致シタヤウデアリマスガ、ソウデアリマスネ

○堀政府委員 サウデアリマス

○内田委員 サウスレバ既ニ第二段ノ御答辯ニ於テ軍務局長ハ作戰、用兵ト云フ軍機事項ヲ持出シテ、此方デ以テドウ云フ艦ヲ何時廢艦スルカト云フコトハ研究中ダト、此處デ又軍機事項ニ御隠レニナルガ、是ハ隱セナイ、是ハ軍務局長ガ軍機事項ニ隱レテ廢艦ガ何時出來ルカト云フコトヲ言ハズシテ、逃ゲヤウトシテモ逃サヌヤウニ、海軍大臣ヲ先ニ俘虜ニシテ居ル、ドウ云フ俘虜ニナッテ居ルカト云フト、總理大臣モ一緒ニ俘虜ニシテアルガ、即チ條約上ノ權利ハ、此處ニ鳩山君モ居ラレルガ確ニ聽イテ居ラレタ、又速記録モアル、權利ハ之ヲ拋棄スルカト言ッタル權利ノ拋棄ハ致シマセスト言ッタ、權利ト云フノハ抑、何デアルカ、船ヲ造ルコトバカリガ權利デハナイ、出來テ居ル船ヲ他ニ持ッテ行クノモ權利デアル、千九百三十六年十二月三十一日マデニ持チ得ベキ此現有ノ船ヲ壞サズニ濟ムモノヲ持ッテ行クコトガ權利デアル、權利ニハ積極ト消極ト二ツアリマス、條約上ノ權利ニハ——ソコデ持ッテ居ル船ヲ壞サナクテ宜イモノヲ壞スト云フコトハ權利ノ拋棄デアル、故ニ軍務局長ハサウ御答辯ニナリマシタガ、安保海軍大臣ト幣原首相代理ハ、今回ノ條約ノ權利ヲ拋棄スル意思アリヤ否ヤト

大キク擱ンダ所ガ權利ハ拋棄致シマセスト答辯サレタ、即チ權利ハ新造スル權利デアルト同時ニ、持ッテ居ルコトモ權利デアル、故ニ今更艦船内ノ船ヲ軍機令上ノ方デ、作戰用兵上何時潰スカ分ラナイ、ソナコトヲ言フト、首相代理及ビ海軍大臣ノ答辯ヲ軍務局長ガ御破壞スルコトニナル、ドウカ家ヘ歸ッテ能ク速記録ヲ御熟讀ニナッテ、更メテ出直シテオイデナサイ、頭ガ良イノデアアルカラ一遍讀メバ分リマセウ、日曜日ニ能ク讀ンデイラッシャイ

○安保國務大臣 軍務局長カラ話ガアリマシタケレドモ、此權利ノ行使ト云フ問題モアリマシタガ、今ノ話ハ年齡ノ來ナイモノハ全部潰スト云フコトハアリマセヌ、年齡ノ越エタモノモ、長イモノヲ取ッテ、古イモノカラ漸次ニヤルト云フ趣意ニ於テ、早ク「スクラップ」スルト云フ答辯デアリマスカラ、御承知ヲ願ヒマス

○内田委員 海軍大臣ノ答辯、流石明瞭デアリマス、軍務局長ハ、唯單ニ船ヲ潰スカモ知レナイト言ハレタ、ソレデハ艦齡外ト云フ冠頭詞ガアリマセスケレバ不完全デアル、先般加藤經理局長ガ、財源ニ付テ海軍大臣ノ答辯ヲ裏切ッタ答辯ヲサレマシタガ、是ハ海軍大臣ノ德ヲ傷ケルモノデアアルカラ、私ハ左様ナコトノナイヤウニ舊友ニ向ッテ御

忠告致シマス、サウスルト海軍大臣ノ御答辯ニ依ルト、驅逐艦ハ出來タモノダケガ十六條ノ末項ノ規定ニ依ッテ潰サレテ行クノデアルカラ、特ニ艦齡内ノ船マデモ打潰ス意味デハナイト云フコトガ、明カニナリマシタ結果、驅逐艦ニ於テハ三萬四百噸、ソレカラ廢艦モ亦三萬四百噸——ソレハ五百噸ヤ八百噸ハ、船ヲ半分棄テル譯ニモ行キマセヌカラ、便利モアリマセウガ、併ナガラ大體新造艦ニ相當スル古イ船ガ壞サルベキモノデ、所有驅逐艦ノ噸數ニ於テハ同ジデアアル、艦船維持費ニ於テモ同ジコトニナルト考ヘルガ、如何デスカ

○安保國務大臣 今ノ御話ハ艦齡外ニナッテ居ルモノデ、餘リ役ニ立タナイモノハ若干減ラシマス、今内田君ノ御話ノヤウニ、出來タモノダケニシテ千九百三十六年十二月三十一日ニナッテ餘タモノヲ棄テルノデハナク、若干調節シテ行クコトダケガ混ッテ居リマス、大體ハ御話ノ通りデアリマス

○内田委員 三萬四百噸出來上ッテ來ルノデスカラ——今ノ艦艇表ヲ軍務局長ハ御持チニナッテ居リマス、私ハ持ッテ居リマセヌガ、倫敦會議ニ持ッテ行ッタアノ上ニ番號ノ付イテ居ル艦艇表デ以テ上カラ三萬四百噸御引ニナルト、千九百三十六年即チ條約滿期ノ時

ニ艦齡ガ丁度十六年ニ相當スルダケガ三萬四百噸ト符合シテ來ハシマセヌカ、御調ヲ願ヒマス

○安保國務大臣 此處ニアルノハ違ッタ表デアリマスケレドモ、今ノアナタノ御話ハ書混ゼデアリマセウ、アナタハ表ヲ御持チデスカ

○内田委員 今ハ今艦艇表ヲ持ッテ參リマセヌデシタ、軍務局長ニ御尋シマセウ、古イモノカラ三萬四百噸御引キ下サルト製造年限何年ト云フ所マデ來マスカ

○安保國務大臣 製造年限千九百十二年ノ二月デス、三萬四百噸デス

○内田委員 ソンナコトハナイデセウ、ソレハ竣工デスカ

○安保國務大臣 竣工ハ千九百二十年八月デアリマス

シニナル艦齡ガ來テ居ラナイト承知致シマスガ、艦艇表ヲ見テ如何デアリマスカ、千九百三十五年ニハマダ御壞シニナル必要ハナイ、條約ノ艦齡ニハ影響ナシト大體ニ於テ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○安保國務大臣 今マデ日本デ使ッテ居リマシタ十二年ト云フノデハナク、今ノ條約上ノ新艦齡ノ十六年デスナ

○内田委員 サウデス

○安保國務大臣 艦齡ハ其通りデアリマス

○内田委員 私ハ條約上ノ權利ヲ拋棄シナイト云フ海軍大臣ノ大方針ノ下ニ質問シテ居リマスカラ、艦齡モ條約ノ艦齡デアリマシテ、今マデノ十六年ト云フ日本ダケノ「ブライベート」デナイト云フコトヲ御承知ヲ願ヒマス、總テ條約ニ基テ言ッテ居リマス、條約上ノ權利内ノ艦齡内ノ船ハ棄テナイ、條約ノ艦齡前ノ艦艇ヲ壞スナラバ權利ノ拋棄ニナッテシマフカラ、此間ノ此分科會ニ於ケル總理大臣代理、海軍大臣ノ答辯ヲ裏切ッテシマフ、而モアノ時ナラバ取テ置キテ、豫算通過前ノ答辯ヲ取消スナドト云フコトハ、此間ノ失言取消ヨリモツテムヅカシクナラウ、故ニ私ハ驅逐艦ニ於テハ五百噸ヤ千噸ヤ千五百噸違フコトハ大體差支アリマセヌ、更ニ潛水

艦ニ至ッテハ千六百五十噸ヲ三隻マデ目下製造中デ、六年ニ完成スルモノデアル、此噸數四千九百五十噸、之ニ新計畫九隻千二百七十噸ヲ加ヘテ、一萬六千七十噸ニナリマスガ、是モ亦出來上ッテ來ルモノダケニ相當シテ、十六條末段ノ規定ニ依ッテ廢艦シテ行ケバ宜イノデアッテ、即チ艦船維持費ト云フ上カラ言ヘバ千九百三十六年十二月三十一日マデニ艦船維持費ハ出入ナシ、斯ウ考ヘテ宜シウゴザイマスカ、如何デセウ

○安保國務大臣 今ノ御話ハ丁度餘分ノ噸數——今マデ持ッテ居ルモノニ「ブラス」新シク造ルモノ、ソレダケ餘分ニナルモノハ千九百三十六年ニボカット除ケル、サウ云フ風ニ心得テ宜イカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ヤハリ色々ノ關係上、或モノハ處分ヲシテ實際ニハ參リマス、ソレカラ先程艦齡ト云フコトデアリマシタガ、是ハ十六年ニナリマシタケレドモ、何年以前マデハ前ノ條約ニ依ッテヤルト云ッタヤウナ意味モアリマシテ、是ハ實際上殘シテ置イテモ、ソレ程役ニ立タスト云フヤウナモノハ處分スルト云フモノモ自然混ジッテ居リマシテ、是等ヲ加味シテ計畫ハ立テ、參ル次第デアリマス

○内田委員 艦艇表ハ二段ノ規定ニナッテ居ルコトモ承知シテ居ル、千九百

二十一年後ニ出來タモノト、千九百二十年十二月三十一日マデノ竣工ニ係ルモノハ特ニ艦齡十六年トスト云フ、明確ナル二ツノ規定ノアルコトハ心得テ私ハ御尋シテ居ルノデアル、二ツノ規定ガアルカラト言フケレドモ、ソレハ私ハ知ツテ居ル、知ツテ質問ヲシテ居ル、故ニ私ハ權利ヲ拋棄シナイト云フコトハ、サッキ申上ゲタ通り、船ヲ拵ヘルコトモ權利ダケレドモ、條約上許サレタ船ヲ持ツコトモ權利デアル、アナタガ洋服ヲ買フモ權利デアリマセウガ、自分ノ所有權ヲ維持スルコトモ權利デア、其與ヘラレタル權利ヲ拋棄セスト云フコトハ、所有權モ拋棄シナケレバ、又購買權モ拋棄セスト云フコトデア、故ニ私ハ權利ヲ拋棄シナイト云フ概括的ナ答辯ニ依ツテ……

海軍大臣能ク御聽キ願ヒタイ、時間ヲ與ヘマスカラ、私ノ質問ノ大切ナ所ヲ能ク聽イテ下サイ、ソレカラ緩クリ御調ヲ願ヒマス、國家ノ大事ダカラ、私ハ内股ヲ掬フヤウナコトハシナイ——ソレデ潛水艦ハ千九百三十六年十二月三十一日マデニ艦齡滿期ニナル船ハ一艘モナイ筈デアル、ナイ以上ハ出來テ來タ船ニ相當スル噸數ダケヲ「スクラップ」スレバ宜イト思フ、ソレ以上、艦齡内ノ船マデモ之ヲ廢艦ニスル計畫ガアルナント云フコトハ、是ハ權利ヲ

拋棄スルト云フ意味ニナツテ、前回ノ權利ヲ拋棄セズト云フ大臣ノ答辯ノ大方針ヲ裏切ルコトニナリマセウガ故ニ、潛水艦ニ於テモ私ハ艦船維持費ノ上ニ於テハ出入ナシ、出來テ來タ船——即チ一萬六千六百五十噸ハ期間中ニ漸次出來テ來ルガ、一萬六千六百五十噸出來テ來レバ、ソコデ一萬六千六百五十噸廢艦トスル、キツチリ物差デ量ツタヤウニハ行カヌガ、或ハ千八百噸廢艦トスルカ、二千噸廢艦トスルカ、二艘スルカ三艘スルカ、廢艦ニシテ行キマスカラ多少ノ出入ハアリマセウガ、結局ニ於テ新艦ガ出來タ、ソレニ相當スル舊艦ハ廢艦トナルノデアルガ故ニ、新舊維持費ノ上ニ於テ高低ガナクテ、ソレデヤハリ今持ツテ居ル潛水艦ハ艦齡滿限ニ達シナイカラ、ソレヲズツト昭和十一年マデ持ツテ行ツテ、ソコデ一千九百三十五年ニ會議ガ實際上開カレル、其模様ヲ見テ翌年ノ一千九百三十六年ニソレヲ處分スルト云フコトニナルノガ、誰ガ見テモ公平ナル意見デアリ、又條約ノ條章ニ矛盾シナイ所ノ正シイ意見デアルト思フガ、海軍大臣ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○安保國務大臣 條約上ノ權利ヲ拋棄セスト云フ意味ニ於テ、「スクラップ」スルモノヲ終ヒマデ持ツテ居ツテモ宜イ、權利ハヤハリ同様行使シナケレバナラヌ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、ソレハ其御解釋デ宜イト思ヒマセウガ、實行上ニ當ツテ左程有效デナイヤウナ艦ハソレハ處分ヲスルト云フコト、而モ是ハ今マデ我國ニ於テ何年以内ノ艦齡ト言ツテキメテアッタモノヲ、ソレヲ今度ノ條約デ延バサレテハ非常ニ困ルト云フコトヲ倫敦デモ論ジマシテア、云フ特別ナ規定モ設ケマシタ、元來艦ヲ造ル時分ニ驅逐艦ナラ驅逐艦ハ十二年ノ命デアルトシテ造ッタモノヲ、無理ニ之ヲ十六年マデ持タセルト云フコトニナレバ、非常ナボロ艦ヲ長ク持ツト云フ意味ニナルト云フヤウナ議論モ大分出マシテ、ア、云フヤウナ規定ニナリマシタ意味モアツテ、今度十六年ニ假ニ驅逐艦ト云フモノガ無クナリマシテモ、是非十六年マデ使ハナケレバナラヌト云フ意味ニ非ズシテ、却テサウ云フモノハ豫備艦デ繋イデ居ルヨリ、廢艦ニシタ方ガ宜イト云フヤウナモノハ廢艦ニ致シマス、ソレ等ハ實行上ニ於テ適當ニ按配スル、ソレハ先程軍務局長モ言ハレマシタヤウニ、軍令當局ト相談シテ適當ニ漸次處分シ得ルモノハ處分シテ行クト云フ風ニナル次第デアリマシテ、實行ノ上ニ於テハ今ノヤウニヤルト云フダケヲ御含ミ置キヲ願ヒマス

○内田委員 實行ト答辯ト違ツテハ甚ダ困ル、權利ハ拋棄シナイト言ツテ、艦齡外ニ達シタモノヲ棄テルコトハ御自由ダケレドモ、潛水艦ナドハ今度ノ條約上ノ艦齡ニハ一艘モ達シナイ、サウシテ一萬六千五百噸ノ古イモノハ棄テテモ構ハナイ、新艦ヲ一萬六千五百噸造ル、ソレニ相當スル一萬六千五百噸ハ棄テラレル、何年マデノ艦齡表ニナルカ知リマセウガ、表ヲ御覽ニナレバ分ル、相當古イモノハ棄テラレルノデア、サウシテ千九百三十五年ニハ會議ガアル、次ノ會議ニ臨マナケレバ其先ハ分ラナイト云フ重大ナル所デアリマス、故ニ實際ノ問題トシテ千九百三十五年ニハドウナルカ分ラヌ、次ノ會議ニ臨ンデ其模様ニ依ツテ棄テベキモノハ棄テヤウト云フノガ當リ前ノ話デア、國民ノ膏血ヲ搾ツテ驅逐艦ニシロ、潛水艦ニシロ、一艘五百萬圓モ八百萬圓モ掛ケテ拵ヘタモノデア、ソレヲ次ノ會議ニ行ツテドウナルカ分ラヌ、千九百三十五年ニナラナケレバ分ラナイ、行ツテ見レバ分ル、ソレヲ艦齡内ニアルケレドモ棄テ、シマヘト云ツテボカ——棄テラレタ日ニハ、國民コソ堪ッ事ヲ仰シヤルモノデハナイ、是コソ海軍大臣ノ重大ナル問題ニナツテ來ル、常識上……千九百三十五年ニ會議ガアル、東京ニアルカ倫敦ニアルカ分ラナ

イガ、其會議へ行ッテ見ナケレバ分ラナイ、而シテ條約上棄テナクテモ宜イ艦齡内ノ艦ヲソレマデニ棄テルカモ知レヌ、又棄テルト言フ、ソシナ馬鹿ナ事ハアリ得ベカラザルコトデアル、權利ハ拋棄シナイト云ツタ御答辯ハ、是ハ子供ガ言ツタノデヤナイ、苟モ首相代理ト海軍大臣ガ口ヲ揃ヘテ、條約上ノ權利ハ拋棄セズト言ツタ以上ハ、造ル權利ヲ拋棄シナイト同時ニ、持ッテ居ル權利モ拋棄シナイ、權利ト云フ事ニ於テ條約上ノ權利ト言ツタ以上ハ、全部ヲ包含スルモノデアルト考ヘナケレバナラヌ、先刻カラノ質問應答ニ依ルト海軍大臣ハ案外ドウモ條約文ナドモ御暗誦ニナツテ居ラヌヤウデスガ、新艦船維持費ガ幾ラ掛ルカト云フコトニ依ッテ、初メテ軍縮條約ニ基ク剩餘金ト云フモノガ出テ來ル、艦ヲ幾ラ拵ヘ、ソレガ幾ラ掛ッテ、ソレニ今度其艦ヲ維持スルノニ幾ラ掛ルカ、サウスレバ五億八百萬圓ノ中幾ラ殘ル、之ヲ國民ノ爲ニ減稅スル、是ナラバ分ルケレドモ、其新艦船維持費ハ今算盤ヲ取ッテナイ、新艦船維持費ガ幾ラ掛ルカ分ラナイデ、剩餘金ガ一億三千四百萬圓アルトシテ、減稅ニ海軍大臣ハ御同意ニナッタノデアリマス

ニ贊成シタカ、斯ウ云フ御話ノヤウデアリマシタガ、勿論新艦船經費ハ大體ニ於テハ見當ヲ著ケテ居リマスケレドモ、是ハ約ソ廢艦ニナルモノガ例ヘバ九百萬圓バカリアル……(内田委員)噸數デ願ヒマス專門的ニ呼フ噸數ノ方ハ今——調ベマシテ御答致シマス——新シイ艦ノ内ガ幾ラ、斯ウ云フ大體ノ見當ハ著イテ居リマスケレドモ、新シク段々出來テ行ク艦ニ付テハ從來通り之ヲ要求スルト云フ建前ニシテ、サウシテ行ッテ差支ナイト斯ウ云フ見當ヲ何時カモ申上ゲマシタガ、其趣意ヲ以テマリマシタノデアリマスカラ、ソコデ減稅一億三千萬圓ト云フモノニ付テノコトハ、是ハ其趣意デ差支ナイト斯ウ認メタ譯デアリマス

○内田委員 前ノ方針トカ何トカ云フ抽象的ノ御議論デナク、ドノ艦ガ何時出來上ル、ドノ艦ハ何時廢艦スル、故ニ新艦船維持費ガ差引何年ニハ幾ラ要ル、何年ニハ幾ラ、斯ウ具體的ニ御説明ニナラナケレバ、是ハ此公開ノ席上工合ガ惡ケレバ秘密會ニ願ッテモ宜シウゴザイマスガ故ニ、之ヲ御説明ニナラナケレバ、此減稅ニ幾ラ金ガ廻ルカト云フコトハ、是ハ吾々ハ協賛ヲ與ヘルコトガ出來ナイ、而シテアノ條約上ノ積極的權利デ船ヲ幾ラ完成スルカ、若クハ著手スルカト云フコトニ付テハ、先刻モ御話ノ通

ハ海軍大臣ガ其後ロニ居ル大藏大臣ニ幾ラ請求スルカト云フ自分ノ腹ノ中ト實際ノ算盤ダカラ、内外ノ情勢デモ何デモナイ、ドノ艦ハ何時出來上ル、ドノ艦ハ何時廢艦スルカト云フコトハ、條約面ニ依ッテ明カニ茲ニ出テ來ルノ柄既定額モ取レナイガ、其半分トシテモ是ガ何千萬圓ニナルカト云フコトハ明カニ出テ來ル、之ヲ出シテ始メテ軍縮ノ剩餘金ガ幾ラアル、少シダケレドモ倫敦條約ノ結果茲ニ國防上ニ必要ナル金ヲ拂ッテ、是ダケ殘ッタカラ取ッテ吳レト云フナラバ、些少ナリト雖國民ハ負擔ノ輕減ニ向ッテ政府ニ感謝スル、併ナガラ緊縮ノ結果幾ラ殘ルト云フコトガ分ラズシテ、唯是ダケ持ッテ行ケ、餘ツタカ餘ラヌノカ分ラヌ、國防ヲ削ッテ出シタト云フノデハ、日本國民ハ國防ヲ削ッテ負擔ノ輕減ヲシテ貰ハウナド、云フ者ハ一人モ居ラナイ、故ニ私ハ合理的ニ海軍大臣ガ新艦ヲ製造スル爲ニハ幾ラ金ガ要ル、之ヲ維持スル爲ニハ幾ラ金ガ要ル、而シテ廢艦ニ依ッテ何艦ガ何時廢艦ニナツテ、幾ラ艦船維持費ガ要ラナクナルト云フコトヲチヤント數字ヲ羅列シテ御示ニナラナケレバ、此減稅案ニ吾々ハ協賛ヲ與ヘルコトハ出來ナイノデアアル、仍テ海軍大臣ニ於テハ先刻御話シタ新艦船ノ大體ノ

○安保國務大臣 今ノ御話ハ新艦船經費ガドノ勘定デ行クカ分ラヌノニ減稅

ト云フコトニ付テハ、先刻モ御話ノ通

ト衝突シタ、面舵右ニ十五度取ッタ所ガ、舵ガ廻ラナクテ三番艦ニ衝突シテ、大演習ノ效果ハ空シクナツテ、阿武隈ハマダ修繕ガ出來ナイヤウナ譯デアアル、餘リ値切リ倒シタカラ……緊縮政策ハ何ガ緊縮政策カ分ラナイ、斯ウ云フ有様デアアル、此新艦船維持費二百圓以上ノ規定ガアルガ、是ガ二百年貫ヘナイノハ分ッテ居リマスガ、是ガ幾ラ貰エルカト云フト、其半額ノ百圓ニナルカハ十圓ニナルカト云フコトハ、是ハ内外ノ大勢デモ何デモナイ、是ハ軍艦ヲ維持スル費用、兵ノ衣糧費、造船修理費、行動費トキマッテ居ルノデアアルカラ、是

ニ於テハ先刻御話シタ新艦船ノ大體ノ

コトデ宜イカラ、何年ニ出來上ルカ、主ナ船デ宜シイ、制限内ノ巡洋艦、潛水艦、驅逐艦ニ付テ、祕密會ニシテ御示シ下スツテ、而シテ廢艦ハ何時廢艦スルト云フ表ヲ拵ヘテ、維持費ハ幾ラ請求スル積リダ、艦隊編成ハ斯ウ云フ譯ダカラ斯ウナル、仍テ行動費ガ幾ラニナルカラ新艦維持費ヲ幾ラ要求スル、隨テ昭和十一年マデニ新艦維持費何千萬圓ヲ要スル、斯ウ算盤ヲ取ツテコソ、此減稅案ニ眞面目ニ協賛ヲ與ヘルコトガ出來ルノデアルカラ、先刻來要求シテ居ル諸表ヲ直チニ——成ベク早ク御作製アラシメコトヲ願フノデアリマス、ソレハ何時頃出來マセウカ

○安保國務大臣 今ノ御話ノ新艦維持費ニ付テハ是ハ他ノ場合ニモ申上ゲタノデアリマスガ、新艦船經費ガ新シク艦ガ出來ルニ付テ要ルト云フコトハ當然ノ話デアツテ、ソレガ財源ニ積ツテアルト云フコトハ海軍トシテモ是非共望マシイ次第デアリマスケレドモ、此度ノ計畫ニ於キマシテハ何時カモ大口サンノ時ニ御説明申上ゲタカト存ジマスガ、航空隊ノ維持費ト云フモノガ茲ニ相當ノ額ガ要ルノデアツテ、航空隊ト云フモノハ設備ダケアツテモ維持費ガ無イト意味ヲ爲サヌコトニナルカラ、是ハ設立スルト直グソレヲ貫ハナケレバナラヌト云フ大事ノ金ニナルカラ、

此度ノ計畫ニ於テハ從來十七隊ト云フモノニ對スル維持費ト云フモノハ約二千四百萬圓取ルコトニナツテ居リマスコトハ申スマデモナク、新シイモノニ對シマシテモ之ガ十四隊總テ出來上リマスレバ二千五百萬圓附近ノモノニナリマス、ソレハ今ノヤウニチャント取ツテ居ル、斯ウ云フ意味ニナリマスカラ其航空隊ノ維持費トシテ今ノ十七隊、今度十四隊、合セテ五千萬圓ニナリマス、ソレノ維持費ハ明カニ取ツテアリマス、サウ云フコトニナリマスカラ艦ノ方ノ維持費モ其以外ニ相當ノ額ヲ取ルト云フコトハ、最モ望マシイ事デアリマススケレドモ、サウ云フ意味ニモ中行キ兼ネルカラ、ソレハ新艦維持費ノ方ハズツト前カラヤツテ來マシタヤウニ、其都度必要ノモノヲ新規事業ト同様ニ要求シタル、ドウシテモ要求スルダケ取レナクテモ、是ハ從來ノモノガアリマスカラ、若干繰合セモ付クト云フ意味ニ於テ、我慢シ得ル程度ノモノダカラ、サウ云フ意味ニ於テ……斯ウ云フ事ヲ申上ゲマシタ、今日モヤハリ其考デアリマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス、ソレカラ只今内田サンカラ表ニ付キマシテハ、日時ヲ切ツテハ申上ゲ兼ネマスガ、是カラ出來ルダケ能ク分ルヤウニ御覽ニ入レタイト思ヒマス

○内田委員 ソレハ海軍大臣ニ申上ゲマスガ、其航空隊ノ維持費ハ今度留保スル必要ガアツテ留保シタ、ガ、軍艦ノ方ノ維持費ハ留保スル必要ガ詰リナイ、仍テ留保シテ居ラナイト云フ御話ノヤウニ聽キマシタケレドモ、其留保スル必要ノ有ル無イハ今私ハ論ジナイデ置イテ、端的ニ此新シイ船ガ何時出來上ツテ來ル、同時ニ之ニ相當シテ條約面ニ依ツテ廢艦スル義務ガアル船ヲ棄テル、此外ニ谷口軍令部長ト相談シテ權利ノ内ヲ是ダケ棄テルト云フコトハ是ハ條約以外ノモノデアルカラ、ソレ程必要デハナイガ、條約上ノ義務トシテドノ船ヲ何時廢艦スル、是ハ條約面カラビタリト出來ル、是ハ何デモナイ話、其表ヲ作ツテ私ニ御示アラシメコトヲ願フノデアリマス、其財源ニ付テハ後ロニ井上大藏大臣ガ居ラレルカラ、私井上サンノ方ヘ鋒ヲ向ケマスカラ、私ト海軍大臣ノ方ノ質問デナク、是ハ大口サント井上サント又口戰ヲ交ヘルコト、存ジマスカラ、其方ニ譲ツテ、私ト海軍大臣ハソコダケ質問應答ヲ重ネマスカラ、其表ヲ成ベク早く御願致シマス

艦ト潛水艦ニ關スル限り控除シタノダ、唯驅逐艦ニ於テノミ之ヲ殘シテ居ル、斯ウ云フ御答辯デアル、是ハ私モ承認致シマス、併ナガラ、故ニ國防ハ大層安全デアルト云フヤウニ一寸聽クト聽エマスガ、是ハ大變ナ間違デアル、他ノ方モドウゾ能ク聽イテ戴キタイ、是ハ間違デアル、千九百三十六年ノ末マデニ日本ガ餘計持ツテ居ル潛水艦ヤ驅逐艦ハ廢艦スレバ宜イノデ、而シテ例ノ問題ノ八時巡洋艦ト雖モ尙ホ千九百三十五年ハ七割二分、三十六年ハ六割七分七厘、三十七年カラ三十八年ヘ行ッテ六割ニ落チテシマッタノデアアルカラシテ、三十六年ノ期限マデハ比較的日本ノ國防ハマダ——安全デアル、三十六年マデハ八時巡洋艦ニ於テモ六割七分七厘ヲ有スルシ、潛水艦モ七萬六千ヲ持ツ權利ガアル、ソコニ行ッテ潰セバ宜イノデアアル、ソレダカラ其期限中ハ比較的安全デアアルガ、最モ日本ノ國防ガ危機ニ瀕スルト云フノハ千九百三十七年、三十八年、コイツガ一番危機ニ瀕スル、比率ガ惡イ、斯ウ云フコトハ御承認ニナリマスガ

○安保國務大臣 ソレハ内田サンノ御話ノ通りデアリマス、ソレガ爲ニ其三十六年マデニ有力ノ巡洋艦ヲ造ツテ置ク、斯ウ云フ意味デアリマス

○内田委員 ソレデアアルカラ、三十七

年、三十八年ガ最モ比率ガ悪クナルノ
デアルカラシテ、此三十六年、三十七
年頃ニ出來ル艦ガ最モ危險デアル、ソ
レ故ニ先程堀軍務局長ガ研究會ノ人ニ
昭和九年カラ始メタイト云フ希望ヲ仰
シヤッタガ、其堀軍務局長ノ「ブライベ
ート」ノ御言葉ヲ以テ私ガドウスウ言
フノデハナイガ、是ガ眞意ヲ語ッテ居ル
モノデアル、即チ昭和十二年、十三年
ガ日本ガ一番率ガ悪クナルノデアルカ
ラシテ、昭和九年ニ起工スルト、十、
十一、十二年ニ——巡洋艦ハ三年デ出
來上リマスカラ、此出來上ッテ來ル比
率ガ悪クナル時ニ、出來上ルコトガ必
要デアルカラシテ、今度ノ條約中ノ權
利ハ期限内ニ完成スルモノヨリ寧ロ其
ノ端境期、昭和九年、昭和十年ニ起工シ
テ十二年ニ出來上ル艦ガ、最モ日本ノ
危機ヲ救フモノデナケレバナライ、是
ハ理窟上之ニ違ヒナイト思フ、是ハ御
承認下サルデセウ、故ニ此千九百三十
六年前、即チ昭和十一年前ニ起工ニ著
手スルト云フノガ、之ガ最モ重要ナル海
軍政策デナケレバナライ、ソコニ於
テ軍務局長ノ「ブライベート」ノ御言葉
ガアッタ同時ニ、先刻モ引用致シマシ
タガ、海軍大臣ノ分科會ニ於ケル御答
辯ガ何等ノ拘束的條件ヲ附セズシテ、
倫敦條約ノ權利ハ昭和十一年十二月三
十一日マデニ著手スル必要アリト、斯
ウ言明サレタ、先刻モ申上ゲタ通りニ、
二月十三日第四分科會ノ五十二頁ニ
ハッキリト書イテアル、ソレデ分科會ノ
質問ハ打切ニナッテ居ル、サウスルト與
ヘラレタル權利ハ期限内ニ全部之ガ製
造ニ著手スル、艦ガ完成スルカシナイ
カハ第二ノ問題トシテ、著手ダケハス
ルト云フコトハ第四分科會ノ此明カナ
ル答辯ニ依ッテ明カデアル、是ハマサカ
御否定相成ルマイト思フ、御否定サレ
タ日ニハ——豫算ガ通過シタ後デ否定
サレテハ堪ッタモノデハナイカラ、
ソコデ權利ノ行使、製造ニ著手スルト
云フ以上ハ、海軍工廠デ工事ニ著手ス
ルヤ、材料ヲ買求メナケレバナラヌ、
材料ヲ買求メナケレバ機械ハ据付ケラ
レナイ、又民間ニ注文ヲ出ス、半分ハ
大體民間ニ注文ヲ出シテ今回モ適當ニ
按配スルト仰シヤッタガ、之ヲ民間ニ註
文ヲ出セバ、從來ハ四割モ拂ッテ居ッ
タガ、今日デモ少クトモ二割ヤ三割ハ前
拂金ヲ必要トスル、サウスルト其著手
ニ要スル費用ハ當然期限内ニ支出ノ必
要アルト云フコトヲ、海軍大臣ハ無論
御認め下サルト思ヒマスガ、如何デゴ
ザイマス。

○安保國務大臣 今ノ御話デ、權利デ
アルモノハ全部著手スルト云フヤウニ
御話ニナリマシタケレドモ、是ハ御承
知ノ通り、或ル計畫トスレバ總テ頭ヲ
揃ヘテ同時ニヤルコトノナイト云フコ
トハ御承知デアリマスカラ、ソレデ
以テ著手スルモノハ全部十一年度以前
ニアルカドウカハ、ソレハ今ノヤウニ
斯ウ云フ風ニナッテ段々ト斯ウヤッテ
行キマスカラ、其内容ト時期ニ付テハ
申上ゲマセスト言ヒマシタ中ニ、無論
含ンデ居ルコトヲ御承知願ヒマス。

○内田委員 ソレハ違ヒマセウ、私ハ
茲ニ分科會ノ速記録ヲ持ッテ來テ居ル
ガ、ハッキリ書イテアル、ソレハ三十五
頁ヲ御讀ミ下サレバ、他ノ所ハ皆、但シ
内容ト時期ニ付テハマダ分リマセスト
書イテアルガ、此處ノ所デハ、其以前
ニ著手スル希望ト必要ハ認めテ居ルト
云フコトハ先程御尋ニナリマシタ通り
デアリマスト言ヒ切ッテ居ル、チャン
アル、幣原君ガ豫算總會デ海軍大臣ノ
答辯ヲ承認シタノハ、アレハ但書ガ付
イテ居ルノ承認シタ、デスケレドモ
是ハ權利ハ著手スル必要ト希望トヲ認
ム、斯ウ言ッテ居ルガ、是ハチャン「リ
ベート」ヲ打ッテアルノダカラ、今更動カ
ス譯ニハ行カス、サウスルト權利ハ著手
スルト言ッタガ、サウスルト海軍大臣ハ
此間中カラ、私ガ船ト云フモノハ雁行
シテ拵ヘルモノデアルト云フコトヲ申
上ゲタノデ、ソレヲ逆ニ御引用ニナッテ
居ルガ、固ヨリソレハサウデアル、權
利ハ全部著手スル、權利ハ著手シテ雁
行スル必要アリト仰シヤッタ、海軍大臣
ハ雁行サセテ十艘著手スレバ五艘ヲ早
ク造ル、五艘早ク造レバ先ニ延バサナ
クテモ雁行スルヤウニ出來ル、十艘拵
ヘテ全部完成シテハイケナイト云フ規
則ハ一ツモナイカラ、工廠ノ都合ノ好
イヤウニ千九百三十六年、即チ昭和十
一年マデニ著手スルト云フノデアルカ
ラ、ソレマデニ工事ニ著手シテ、工廠
ノ都合ノ好イヤウニ雁行サシタケレバ
七年カラ造リ始メテ全部著手スレバ、
チャント雁行スルヤウニ出來ル、私ハ
雁行サシタイケナイトハ言ッテ居ナイ、
海軍大臣ハ著手スルガ雁行シテ行クト
困ルト言フ、雁行サセルヤウニナスッ
タラ殘ッタ權利ハ總テ三萬二千九百噸、
ハ完成サシテハイケカヌケレドモ、後ノ
權利ハ完成サスコトヲ得ルカラ、ソレ
ダケハ期限内ニ完成サシタラ宜イ、權
利ハ今更但書ヲ此處デクッ付ケラレテ
ハソレハ責任問題、斷ジテ出來ナイ、
ソコナコトハナラヌト言ッタテ、海軍
大臣ガ權利ハ之ヲ期限内ニ著手スル希
望ト必要トヲ認めムルト言ッテ居リマ
スカラ、是ハ二月十三日ノ速記録ヲ一週
間モ經ッテ、今日豫算ノ通過シタ後デ、
サウスルト意味デヤナイト言ッテモソレ
ハ通用致サヌ。

○安保國務大臣 今内田サンカラサウ
云フ御話ガアリマシタケレドモ、ソコ

ノ所ダケハソコデ或ハ切レテ居ルカモ知レマセスケレドモ、其前後ニ當ッテ、幾度モ斯ウ云フ譯ダト申シテ居リマシタ、ソレヲ總テ打消シテ、ソコノ所ダケ但書ガナイカラト云フ意味ニハ承服致シ兼ネマスカラ、ソコハ御含ミヲ願ヒタイ

〔拍手〕

○内田委員 手ヲ叩クノハマダ早イ、工程表ガ出テカラ……

○本田委員長 内田君、少シアナタノ話ハマダ繼續スルヤウデスカラ、此程度デ今日ハ散會シタイト思ヒマス

○内田委員 私ハモウ少シ申シタイ、アノ但書ト云フヤツハ、全部ノ權利、權利ニハ御承知ノ通りニツアル、完成スベキ權利ト起工ニ著手スル權利ト二ツアル、權利ノ行使ノ希望ト必要トアルカト言ッたら、希望ト必要ガアル、斯ウ言ッタ、今度著手スルト云フモノニ付テハ但書ガ一ツモナイ、著手ト云フコトハ全速記録ヲ私ハ昨日カラ讀ンデ見マシタガ、豫算總會分科會ヲ通ジテ權利ノ全部ノ行使ト云フコトハ秦君ヤ其他カラモ幾多論ジテ居ッテ、何時モ但書但書デ來マシタガ、權利著手ト云フコトハ是シカナイ、故ニ完成スルト云フ方ニ對シテハ但書ガ附イテ居ルガ、權利ノ著手ニ付テハ今飛ダコトヲ言ッタト云フヤウナ顔ヲシテキラッシャルケレ

ドモ、書イテアルカラ仕方ガナイ、故ニ手ヲ叩クコトハ早イト申上ゲタノハ其所デアル——ソレデハ工程表ガ來テカラ後ハ伺ヒマス

○大口委員 私材料ヲ要求シテ置キタイガ、大藏省デ御分リダラウト思ヒマスガ、昭和六年度以後ノ、成ダケ先マデ、恩給ノ自然増加表ヲ要求シタイ、恩給ガ自然ニ當然増加シテ來ル數字ガ大體分ッテ居ル筈デアリマスカラ、ソレヲ表ニシテ御出シヲ願ヒタイ

○川越政府委員 將來ドノ位増加スルダラウカト云フ豫測ノ方ハ一寸出來兼ネマスガ、過去ノ実績ナラ分リマス

○大口委員 過去ノ実績表デ宜シウゴザイマス、數年ノヲ一ツ願ヒタイ

○本田委員長 本日ハ之ニテ散會致シマス、次ハ月曜日ノ午前十時カラ開キ

午後十時五分散會

昭和六年二月二十一日印刷

昭和六年二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社